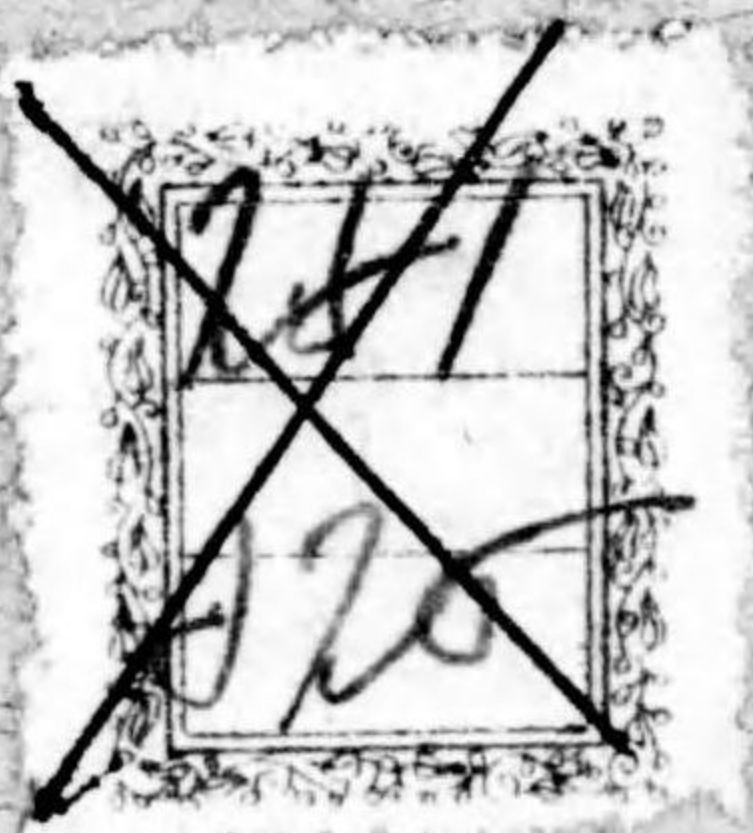
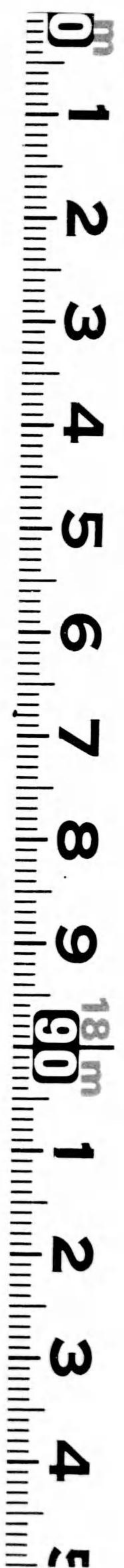


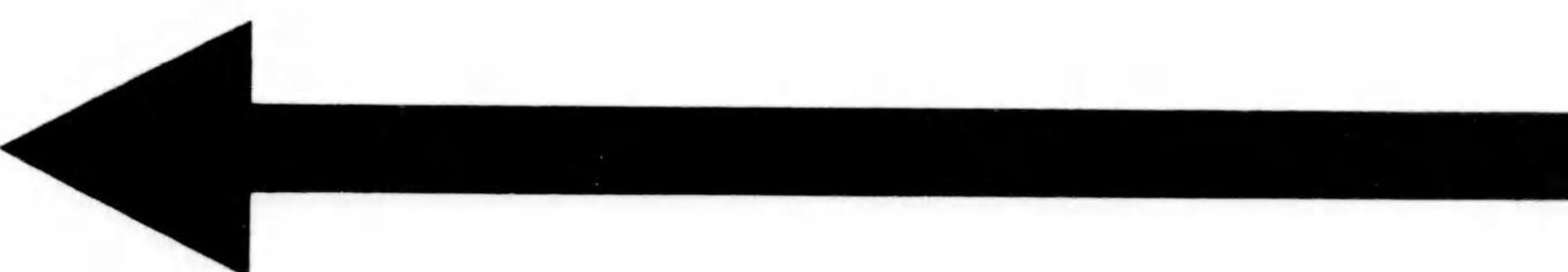
林務法令

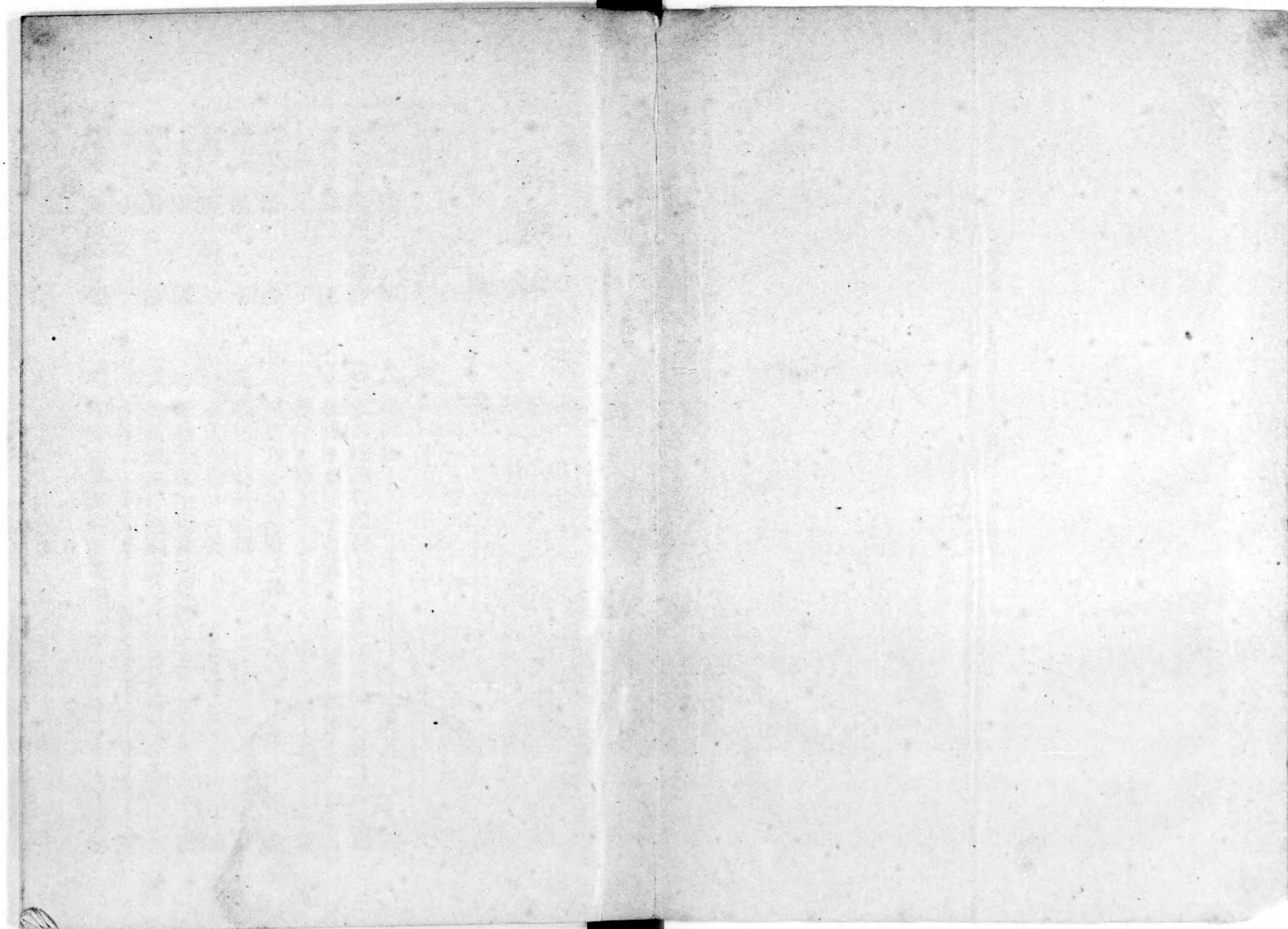


特



始





特100
451

林務法令

目次

年月	號	次	頁
四、四	三	森林法	一
四、三	二	森林法施行規則	二
四、七	一	森林法第三十七條ノ二ニ依リ地方長官内 委任ノ件	七
四、七	七〇三	管理方法届提出ノ件	五
四、九	八	森林法施行細則	六
四、八	三三	火入ニ關スル件	七
七、九	七	森林警察主任設置規程	七〇
四、二	一	森林法施行細則第七條ノ認可申請ニ關スル件	七〇
四、七	三	保安林特別補償規則	七〇

正 24
交 8
頁

四、四 通	三、五 保安林異動届ニ圖面添附ノ件	一五
元、三 同	七、七 保安林ノ施業方法ニ關スル件	一七
四、三 勅	三、七 地方森林會規則	一七
四、九 縣	八、七 地方森林會ニ於テ裁決ニ關シ要スル費用算定規程	一八
四、四 法	三、三 立木ニ關スル法律	一五
四、四 法	五、五 立木ノ先取特權ニ關スル法律	一四
四、四 司法省令	五、五 立木登記規則	一五
四、三 勅	三、四 森林組合令	一〇九
四、四 農商務省令	五、五 森林組合設立獎勵規則	一三〇
四、六 通	三、五、一 森林組合設立獎勵ニ關スル件	一三七
四、一 司法省令	一、一 森林組合登記取扱手續	一三九
四、一 同	二、二 森林組合登記簿ノ謄本抄本手数料ノ件	一四六
四、六 縣	四、六 公有林野造林補助規則	一四六
四、八 通	七、五 公有林野植樹其他補助金下付申請書提出期限ニ關スル件	一五三

元、九 同	七、七 公有林野造林補助取扱ニ關スル件	一五三
四、六 縣	四、〇 荒地復舊費補助金交付規程	一五五
四、一 大藏省令	八、一 造林地ノ地租免除申請方ノ件	一六〇
三、一 縣訓令甲	三、二 公有林野整理規則	一六〇
四、二 同	一、〇 公有山林整理認可申請書々式	一六二
八、八 同	三、四 公有林野ノ地番分合ニ關スル件	一六九
八、六 縣令	四、六 公有林野整理ニ關スル補助規則	一六九
七、九 縣訓令甲	四、〇 公有林施業案編成ノ件	一七〇
七、九 通	二、三 同上	一七〇
四、一 同	四、七 公有林野測量及設計ニ關シ技術員派遣ノ件	一七二
四、三 同	四、五 公有林野整理規則ニ依リ認可ヲ受ケタル土地ノ處分ニ關スル件	一七二
四、二 縣訓令甲	九、九 公有山林及社寺有山林開墾取扱規程	一七三
四、七 同	四、二 社寺有林除外申請ノ件	一七六
四、三 通	四、四 除外ノ認可ヲ受ケタル社寺有山林ノ開墾	一七六

四、二 同 上	九、五 公有林野整理並部落有財産統一ニ付督勵並進行状況報告ニ關スル件	一八〇
四、三 同 上	六、五 公有林立木賣却處分ニ關スル件	一八〇
四、八 縣訓令甲	二、四 同上	一八一
四、八 同 上	一、八 森林被害報告ニ關スル件	一八一
四、七 同 上	一、六 林業講習報告ノ件	一八三
八、七 縣令	二、四 森林臺帳規程	一八五
二、〇 縣告示	三、樹苗養成補助規則	一八九
八、七 縣令	三、二 杉赤枯病ニ關スル件	一九四
四、七 縣諭令	吾 竹林造成補助規則	一九五
六、八 通令	一、二 竹林ノ病蟲害豫防ニ關スル件	一九八
八、七 同 上	二、五 竹林造成ニ關スル件	二〇〇
三、九 縣令	八、六 林業補助ニ關スル件	二〇〇
二、八 同 上	三、移扁柏種子採取及販賣取締規則	二〇〇
	吾 五倍子取締規則	二〇七

三、六 通 牒	七、一 製炭傳習規程	二〇八
三、三 法 律	四、鑛業法	二〇九
三、六 農商務省令	一、七 鑛業法施行細則	二二六
四、三 法 律	三、砂鑛法	二六三
四、六 農商務省令	二、六 砂鑛法施行細則	二六九
八、八 縣訓令甲	二、九 鑛業又ハ砂鑛業ノ出願ニ關スル取調ノ件	二八一
三、八 勅 令	三、一 社寺保管林規則	二八二
三、八 農商務省令	二、五 國有林野法施行規則拔萃	二八五
三、三 法 律	二、九 砂防法	二九〇
三、〇 勅 令	三、二 砂防法施行規程	三〇三
三、七、九 縣 令	三、砂防法施行ノ土地ニ對スル一定ノ行爲禁止制限事項ノ件	三〇五

(參照)
地租條例

第三條 有租地ヲ區別シテ二類ト爲ス

第一類 田、畑、郡村宅地、市街宅地、塩田、鑛泉地

第二類 池沼、山林、牧場、原野、雜種地

第一類中又ハ第二類中ノ各地目變換スルモノヲ地目變換ト謂フ

第二類地ニ勞費ヲ加ヘ第一類地ト爲スモノヲ開墾ト謂フ

第一類地又ハ第二類地ノ山崩、川闕、押堀、石砂入、川成、海成、湖水成等ノ如キ天災ニ罹リ地形ヲ變シタルモノヲ荒地ト謂フ

第四條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定シタル森林所有者、森

林立木竹所有者又ハ土地ノ所有者若ハ占有者ノ權利義務ハ森林若ハ森

林立木竹又ハ土地ノ所有權若ハ占有權ト共ニ其ノ承繼人ニ移轉ス

第五條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ爲シタル手續其

ノ他ノ行爲ハ森林所有者、森林林立木竹所有者又ハ土地ノ所有者若ハ占

有者ノ承繼人ニ對シテモ其ノ効力ヲ有ス

第六條 民法第二百五十六條ノ規定ハ共有ノ森林ニ之ヲ適用セス但シ各

共有者持分ノ價格ニ從ヒ其ノ過半數ヲ以テ分割ノ請求ヲ爲スコトヲ妨

ケス

(參照)

民法

第二百五十六條 各共有者ハ何時ニテモ共有物ノ分割ヲ請求スルコトヲ得但五年ヲ超

エサル期間内分割ヲ爲ササル契約ヲ爲スコトヲ妨ケス

此契約ハ之ヲ更新スルコトヲ得但其期間ハ更新ノ時ヨリ五年ヲ超ユルコトヲ得ス

第七條 公園、社寺境内及命令ヲ以テ定ムル土地ニ付テハ本法ヲ適用セ

ス但シ命令ニ別段ノ規定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ書類ヲ送付スヘ

キ場合ニ於テ送付ヲ爲スコト能ハサルトキハ官報又ハ行政廳慣行ノ公

布式ヲ以テ之ヲ公示シ其ノ公示ノ日ヨリ三十日ヲ經過シタルトキハ其

ノ末日ニ於テ送付アリタルモノト看做ス

第二章 營林ノ監督

第九條 地方長官ニ於テ必要アリト認ムルトキハ公共團體又ハ社寺ノ代

表者ヲシテ森林又ハ森林トシテ管理スヘキ土地ニ付施業案又ハ施業要

領ヲ定メ其ノ認可ヲ受ケシムルコトヲ得

地方長官ニ於テ必要アリト認ムルトキハ前項ノ施業案又ハ施業要領ノ

變更ヲ命スルコトヲ得

第十條 公有林、社寺有林又ハ私有林ニシテ荒廢ノ虞アルトキハ地方長官ニ於テ施業ノ方法ヲ指定スルコトヲ得

前項指定ノ方法ニ違反シ伐木ヲ爲シタル者ニハ地方長官其ノ伐採ヲ停止シ伐木跡地ニ造林ヲ命スルコトヲ得

第二十五條第二項ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十一條 前條第二項ニ依リ造林ノ命令ヲ受ケタル者造林ヲ怠リタルトキハ行政官廳ニ於テ自ラ義務者ノ爲スヘキ行爲ヲ爲シ又ハ公共團體ヲシテ之ヲ爲サシムルコトヲ得

前項造林ニ要シタル費用ハ行政官廳ニ於テ國稅徵收法ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得

第十二條 本法施行以前ヨリ荒廢ニ屬シタル森林ニ付新ニ造林シタルトキハ其ノ納稅義務者ノ申請ニ依リ其ノ造林シタル部分ニ限リ三十年以内地租ヲ免スルコトヲ得

前項ノ規定ハ原野、山岳又ハ荒蕪地ニ新ニ造林シタル場合ニ之ヲ準用ス

府縣市町村其ノ他ノ公共團體ハ前二項ニ依リ地租ヲ免セラレタル土地ニ對シ租稅其ノ他ノ公課ヲ課スルコトヲ得ス

第十三條 公有林、社寺有林又ハ私有林ニ付キ地方長官ハ土地ノ狀況ニ依リ箇所及期間ヲ指定シ落葉、落枝、柴草、土石、樹根、草根、切芝ノ採取若ハ採掘ニ關スル制限又ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

第三章 保安林

第十四條 主務大臣ハ左ニ掲クル場合ニ於テ森林ヲ保安林ニ編入スルコトヲ得

- 一 土砂ノ壞崩、流出ノ防備ノ爲必要ナルトキ
- 二 飛砂ノ防備ノ爲必要ナルトキ
- 三 水害、風害、潮害ノ防備ノ爲必要ナルトキ
- 四 頽雪又ハ墜石ニ因ル危險ノ防止ノ爲必要ナルトキ
- 五 水源涵養ノ爲必要ナルトキ
- 六 魚附ノ爲必要ナルトキ
- 七 航行ノ目標ノ爲必要ナルトキ
- 八 公衆ノ衛生ノ爲必要ナルトキ

九 社寺、名所又ハ舊跡ノ風致ノ爲必要ナルトキ

六

第十五條 主務大臣ハ公益上必要アリト認ムルトキ又ハ保安林トシテ存置スルノ必要ナシト認ムルトキハ保安林ヲ解除スルコトヲ得

第十六條 保安林ノ編入解除ハ其ノ森林所在ノ府縣市町村又ハ之ニ準スヘキ者其ノ他直接利害ノ關係ヲ有スル者ヨリ地方長官ヲ經由シ主務大臣ニ申請スルコトヲ得

前項ノ申請ニ係ル森林ニ付不編入又ハ不解除ノ處分アリタルトキハ實地ノ狀況ニ著シキ變更ヲ生シタル場合ニ非サレハ同一理由ニ依リ再ヒ之ヲ申請スルコトヲ得ス

第十七條 保安林ノ編入解除ノ申請アリタル場合ニ於テ前條第一項ノ條件ヲ具備セス又ハ同條第二項ノ規定ニ違反シタルモノト認ムルトキハ地方長官ハ申請書ヲ却下スルコトヲ得

前項ノ處分ニ對シ不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得

第十八條 保安林ノ編入解除ヲ爲サムトスルトキ又ハ地方長官其ノ申請ヲ受理シタルトキハ地方長官ニ於テ其ノ旨ヲ森林所有者、土地所有者其ノ他土地ニ付登記シタル權利ヲ有スル者ニ通知シ且慣行ノ公布式ヲ

以テ之ヲ告示シ森林所在ノ市町村役場ニ之ヲ揭示スヘシ

地方長官ハ前項告示ノ日ヨリ三十日ヲ經過シタル後保安林ノ編入解除ヲ地方森林會ノ議ニ付スヘシ

第十九條 地方森林會ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十條 第十八條ノ告示ニシテ保安林編入ニ關スルモノナルトキハ其ノ告示ノ日ヨリ第二十三條ノ告示ノ日迄其ノ森林ニ於テ木竹ノ伐採、開墾又ハ土石、切芝、樹根、草根、埋木ノ採取若ハ採掘ヲ爲スコトヲ得ス但シ地方長官ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條 保安林ノ編入解除ニ關シ直接利害ノ關係ヲ有スル者其ノ編入解除ニ異議アルトキハ第十八條ノ告示ノ日ヨリ二十五日以内ニ意見書ヲ地方長官ニ提出スルコトヲ得

第二十二條 地方長官ハ保安林ノ編入解除ニ關スル地方森林會ノ決議書其ノ他ノ關係書類ニ意見書ヲ添ヘ之ヲ主務大臣ニ差出スヘシ但シ第三十七條ノ二ノ規定ニ依リ委任ヲ受ケタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第二十三條 主務大臣ニ於テ保安林ノ編入解除ニ關スル處分ヲ爲シタルトキハ官報ヲ以テ之ヲ告示シ地方長官ヲシテ其ノ森林所有者ニ其ノ旨

七

ヲ通知シ且所在ノ市町村役場ニ揭示セシムヘシ
地方長官ニ於テ第三十七條ノ二ノ規定ニ依リ保安林ノ編入解除ニ關ス
ル處分ヲ爲シタルトキハ前項ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十四條 保安林ノ編入解除ニ關シ直接利害ノ關係ヲ有スル者其ノ編
入解除ニ關スル處分ニ不服アルトキハ訴願ヲ提起スルコトヲ得違法ニ
權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ前條告示ノ日ヨリ六十日以内ニ行
政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二十五條 地方長官ニ於テ保安林ノ編入ニ關シ必要アリト認ムルトキ
ハ其ノ森林ニ於ケル木竹ノ伐採ヲ停止スルコトヲ得但シ其ノ停止期間
ハ一箇年ヲ超ユルコトヲ得ス

前項ニ依リ木竹ノ伐採ヲ停止セラレタル森林ト雖保育ノ爲必要ナルト
キ又ハ已ムコトヲ得サル事由アルトキハ地方長官ノ許可ヲ得テ之ヲ伐
採スルコトヲ得

第二十六條 保安林ニ於テハ地方長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ木竹ノ伐
採、傷害、開墾又ハ土石、切芝、樹根、草根、埋木ノ採取若ハ採掘ヲ
爲シ又ハ家畜ヲ放牧スルコトヲ得ス

第二十七條 主務大臣ハ保安林ノ所有者ニ對シ前條ノ外其ノ使用收益ヲ
制限若ハ禁止シ又ハ施業若ハ保護ノ方法ヲ指定スルコトヲ得

第二十八條 木竹ノ伐採ヲ禁止セラレタル保安林ノ所有者又ハ立木竹ノ
所有者ハ之ニ因リテ生シタル直接ノ損害ニ限り其ノ補償ヲ求ムルコト
ヲ得

前項保安林ノ所有者カ前條ノ指定ニ依リ造林ヲ爲シタルトキハ其ノ造
林ノ費用ハ前項ノ損害ト看做ス

前二項ノ損害ハ政府之ヲ補償ス但シ政府ハ保安林編入ニ因リ特ニ利益
ヲ受クル公共團體若ハ私人ヲシテ其ノ全部又ハ一部ヲ負擔セシメ國稅
徵收法ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得

第一項及第二項ノ損害ノ算定方法及其ノ補償請求期間ハ命令ヲ以テ之
ヲ定ム

第二十九條 前條第三項ニ依ル政府ノ補償金額ニ付不服アル者ハ其ノ補
償金額ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ九十日以内ニ通常裁判所ニ出訴スルコ
トヲ得

前條第三項但書ニ依ル負擔ニ付不服アル者ハ訴願ヲ提起スルコトヲ得

第三十條 先取特權、質權又ハ抵當權ハ第二十八條第一項ニ依リ受クヘキ補償金ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得但シ其ノ拂渡前ニ差押ヲ爲スヘシ

第三十一條 國有地ノ上ニ存在スル森林ニシテ保安林ニ編入セラレタルトキハ政府ハ其ノ借地料ヲ免ス

第三十二條 主務大臣國土保安上必要アリト認ムルトキハ保安林以外ノ森林ニ付區域又ハ箇所ヲ定メテ開墾ヲ制限又ハ禁止スルコトヲ得

第三十三條 第二十六條ノ規定ニ違反シ、第二十七條又ハ前條ノ制限、禁止若ハ指定ニ違反シタル者アルトキハ地方長官ハ造林其ノ他復舊ニ必要ナル行爲ヲ命スルコトヲ得

第三十四條 第十一條ノ規定ハ前條ニ依リ造林ノ命令ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十五條 保安林ノ編入解除ニ關スル調査及國土保安ニ關シ地方長官ノ行フ調査ニ要スル費用ハ府縣ノ負擔トス但シ北海道ニ於テハ北海道地方費、沖繩縣ニ於テハ國庫ノ負擔トス

第三十六條 主務大臣ニ於テ必要アリト認ムルトキハ原野、山岳其ノ他

ノ土地ニシテ第十四條第一號乃至第五號ノ場合ニ該當スルモノニ付本章ノ規定ヲ準用スルコトヲ得

第三十七條 第十八條第二項、第二十八條乃至第三十條ノ規定ハ御料林及國有林ニ之ヲ適用セス

第三十七條ノ二 主務大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本章ニ規定シタル職權ノ一部ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第四章 土地ノ使用及收用

第三十八條 本章ニ於テ關係人ト稱スルハ第四十條第二項ニ依ル通知前使用又ハ收用スヘキ土地ニ關シテ權利ヲ有スル者及其ノ通知後ニ於テ通知前ヨリ既存セル權利ヲ承繼シタル者ヲ謂フ

第三十九條 本章ニ於テ補償金ト稱スルハ對價、使用料其ノ他土地所有者及關係人ノ通常受クヘキ損失ニ對スル補償金ヲ總稱ス

第四十條 森林ヨリ其ノ產物ヲ運搬スル爲又ハ運搬ニ關スル設備ノ爲必要アルトキハ地方長官ノ許可ヲ得テ他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得但シ御料局又ハ政府ノ使用ニ係ルトキハ當該官廳ハ之ヲ地方長官ニ協議スヘシ

地方長官ハ前項ノ許可ヲ與ヘ又ハ協議調ヒタルトキハ之ヲ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

第一項ニ依リ土地ヲ使用セムトスル者ハ前項通知ノ後其ノ土地ニ關スル權利ヲ取得スル爲土地所有者及關係人ニ協議スヘシ

第四十一條 前條第二項ノ通知後一箇年以内ニ同條第三項ノ協議ヲ爲ササルトキハ同條第一項ノ許可及協議ハ其ノ効力ヲ失フ第五十五條第一項ニ依リ地方森林會ノ裁決ヲ求メサルトキ亦同シ

第四十二條 土地ノ使用三箇年以上ニ亘ルトキ又ハ土地ノ形質ヲ變更スルトキハ所有者ハ其ノ收用ヲ請求スルコトヲ得

第四十三條 土地ノ一部ヲ收用スルニ因リテ殘地ヲ從來用井タル目的ニ供スルコト能ハサルトキハ土地所有者ハ其ノ全部ノ收用ヲ請求スルコトヲ得

第四十四條 土地ヲ使用又ハ收用スルトキハ土地所有者及關係人ニ補償金ヲ拂渡スヘシ

第四十五條 土地ノ一部ヲ使用又ハ收用スルニ因リテ殘地ノ價格ヲ減シ其ノ他殘地ニ關シ損失ヲ生スヘキトキハ其ノ補償金ヲ拂渡スヘシ

第四十六條 土地ヲ使用又ハ收用スルニ因リテ通路、溝渠、墻柵其ノ他ノ工作物ノ新築、改築、増築又ハ修繕ヲ爲スノ必要ヲ生シタルトキハ其ノ補償金ヲ拂渡スヘシ

第四十七條 第四十條第二項ノ通知後土地ノ形質ヲ變更シ、工作物ノ新築、改築、増築若ハ大修繕ヲ爲シ又ハ物件ヲ附加増置セムトスルトキハ土地所有者又ハ關係人ハ地方長官ノ許可ヲ受クヘシ許可ヲ受ケスシテ之ヲ爲シタル者ハ之ニ關スル補償金ヲ請求スルコトヲ得ス

第四十八條 第四十條第二項ノ通知後同條第一項ノ目的ニ土地ヲ使用スルコトヲ廢止シタル者ハ土地所有者又ハ關係人ノ受ケタル損失ニ對シ其ノ補償金ヲ拂渡スヘシ

第四十九條 土地所有者及關係人ハ土地ノ使用者若ハ收用者ヲシテ補償金ニ付相當ノ擔保ヲ供セシムルコトヲ得但シ土地ノ使用者若ハ收用者カ御料局、政府、府縣市町村及之ニ準スヘキモノナルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五十條 第五十五條第一項ノ裁決アリタルトキハ土地ノ使用者又ハ收用者ハ其ノ裁決ニ依ル補償金ヲ供託シ又ハ擔保ヲ供シテ土地ヲ用ウル

コトヲ得但シ土地ノ使用者又ハ收用者カ御料局、政府、府縣市町村及之ニ準スヘキモノナルトキハ補償金ノ供託及擔保ノ提供ヲ要セス

第五十一條 前數條ニ依ル補償金ノ拂渡若ハ供託ヲ爲サス又ハ擔保ヲ供セサルトキハ土地所有者及關係人ハ土地ヲ用ウルコトヲ拒ムコトヲ得

第五十二條 土地ヲ收用スルトキハ收用ノ時期ニ於テ所有權ハ收用者之ヲ取得シ其ノ他ノ權利ハ消滅ス

土地ヲ使用スルトキハ使用ノ時期ニ於テ土地ノ使用者其ノ使用權ヲ取得シ其ノ他ノ權利ハ使用ヲ妨ケサル範圍ニ制限セラルルモノトス

第五十三條 土地ノ使用者其ノ使用ヲ終リタルトキハ土地ヲ原形ニ復シ又ハ原形ニ復セサルニ因リテ生スル損失ニ對シ補償金ヲ拂渡シテ之ヲ返還スヘシ

第五十四條 第三十條ノ規定ハ本章ノ補償金ニ之ヲ準用ス

第五十五條 土地ノ使用若ハ收用、補償金又ハ擔保ニ付協議調ハサルトキ又ハ協議ヲ爲スコト能ハサルトキハ第四十條第二項ノ通知後一箇年以内ニ地方森林會ノ裁決ヲ求ムルコトヲ得

前項ノ裁決中土地ノ使用又ハ收用ニ關スルモノニ付不服アル者ハ主務

大臣ニ訴願ヲ提起スルコトヲ得違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得但シ裁決ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ六十日ヲ經過シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第一項ノ裁決中補償金又ハ擔保ニ關スルモノニ付不服アル者ハ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得但シ裁決ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ九十日ヲ經過シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五十六條 土地收用法第六十四條、第六十六條及第六十七條ノ規定ハ本章ニ依リ使用又ハ收用セラレタル土地ニ之ヲ準用ス

第五十七條 土地ノ使用、收用ニ關スル規定ハ水ノ使用ニ關スル權利其ノ他土地ニ關スル所有權以外ノ權利ノ使用又ハ收用ニ之ヲ準用ス

第五十八條 森林ヨリ其ノ產物ヲ運搬スル爲又ハ運搬ニ關スル設備ノ爲必要アルトキハ地方長官ノ許可ヲ得テ水流ニ於ケル他人ノ工作物ヲ使用シ、變更シ又ハ除却スルコトヲ得但シ御料局又ハ政府カ之ヲ行フトキハ地方長官ニ協議スヘシ

前項工作物ノ使用、變更又ハ除却ニ因リテ損害ヲ生スヘキトキハ補償金ノ拂渡ヲ爲スヘシ

第四十條第二項第三項、第四十一條、第四十六條乃至第五十一條、第五十二條第二項、第五十三條乃至第五十五條ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五十九條 流木竹ノ爲必要アル場合ニ於テハ沿岸ノ土地ニ立入ルコトヲ得此ノ場合ニ於テ損害アリタルトキハ賠償ヲ爲スヘシ

第六十條 前數條ノ外流木竹ニ付土地又ハ水ノ使用ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第六十一條 森林又ハ森林ノ事業ニ關シ實地調査ノ爲必要アルトキハ地方長官ノ許可ヲ得テ他人ノ土地ニ立入り、目標ヲ設置シ又ハ支障木竹ヲ伐採スルコトヲ得但シ御料局又ハ政府ニ於テハ地方長官ニ通知シテ之ヲ行フコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ損害アリタルトキハ賠償ヲ爲スヘシ
第一項ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ土地ノ所有者又ハ占有者ニ通知スヘシ

第五章 森林組合

第六十二條 森林組合ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ必要ナル事業ヲ爲ス爲一定ノ地區ヲ限リ之ヲ設立スルコトヲ得

一 國土保安ノ爲又ハ森林ノ荒廢ヲ防止シ若ハ荒廢セル森林ヲ回復スル爲必要ナルトキ

二 森林カ所有者ヲ異ニシ協同シテ施業ヲ爲スニ非サレハ其ノ利用ノ目的ヲ達スルニ困難ナルトキ

三 森林產物ノ運搬ニ必要ナル工事ヲ爲シ又ハ之ヲ維持スル爲關係者ノ協同ヲ必要トスルトキ

四 森林ノ危害防止ニ付關係者ノ協同ヲ必要トスルトキ

第六十三條 森林組合ハ營利ヲ目的トセサル社團法人トス
第六十四條 森林組合ヲ設立スルニハ定款ヲ定メ地方長官ノ許可ヲ受クヘシ

第六十五條 森林組合ノ組合員ハ其ノ地區内ニ於ケル森林ノ所有者ニ限ル

第六十六條 森林組合ヲ設立スルニハ左ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス
一 組合員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意アルコト
二 前號同意者ノ所有スル森林ノ面積カ地區内ニ於ケル森林ノ總面積ノ三分ノ二以上ナルコト

第六十七條 森林組合設立シタルトキハ組合員タル資格ヲ有スル者ハ總テ組合員トス但シ命令又ハ定款ニ於テ加入ノ義務ナシト定メタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第六十八條 定款ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

- 一 目的及事業
 - 二 地區
 - 三 名稱
 - 四 事務所
 - 五 出資又ハ費用分擔ノ方法
 - 六 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由前項ノ外定款ニ定ムルコトヲ要スヘキ事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム
- 定款ノ變更ハ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ効力ヲ生セス
- 第六十九條 森林組合ノ設立ハ其ノ主タル事務所ノ所在地ニ於テ登記ヲ受クルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス
- 第七十條 組合員ハ組合ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ新ニ地區内ノ森林又ハ森林產物ニ付組合ノ事業ヲ妨クヘキ行爲ヲ爲スコトヲ得ス

第七十一條 森林組合ハ主務大臣及地方長官之ヲ監督ス

監督官廳ハ何時ニテモ組合ノ事業ニ關スル報告ヲ徴シ、事業ニ付認可ヲ受ケシメ、事業及財産ノ狀況ヲ検査シ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

七十二條 總會ノ決議又ハ役員ノ行爲ニシテ法令、監督官廳ノ命令若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ監督官廳ハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

- 一 決議ノ取消
- 二 役員ノ解職
- 三 組合ノ解散

第七十三條 森林組合ニ於テ本章又ハ之ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違反シタルトキハ其ノ役員ヲ二圓以上百圓以下ノ過料ニ處ス

前項ノ過料ニ付テハ非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ヲ準用ス

(參照)

非訟事件手續法

第二百六條 民法第八十四條、第一千七百七條及ヒ民法施行法第二十二條及ヒ商法第十八條第二項、第二百六十一條、第二百六十二條、第五百三十六條及ヒ商法施行法第十一條第二項、第二十七條、第三十九條第二項、第五十四條、第六十條第二項、第六十九條、第七十五條第三項、第八十七條ニ定メタル事件ハ過料ニ處セラルヘキ者ノ住所ノ地方裁判所ノ管轄トス

第二百七條 過料ノ裁判ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

裁判所ハ裁判ヲ爲ス前當事者ノ陳述ヲ聽キ檢事ノ意見ヲ求ムヘシ
當事者及ヒ檢事ハ過料ノ裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ効力ヲ有ス

手續ノ費用ハ過料ニ處スル言渡アリタル場合ニ於テハ其ノ言渡ヲ受ケタル者ノ負擔トシ其ノ他ノ場合ニ於テハ國庫ノ負擔トス

抗告裁判所カ當事者ノ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタルトキハ抗告手續ノ費用及ヒ前審ニ於テ當事者ノ負擔ニ歸シタル費用ハ國庫ノ負擔トス

第二百八條 過料ノ裁判ハ檢事ノ命令ヲ以テ之ヲ執行ス此命令ハ執行力ヲ有スル債務名義ト同一ノ効力ヲ有ス

過料ノ裁判ノ執行ハ民事訴訟法第六編(強制執行)ノ規定ニ從ヒテ之ヲ爲ス但シ執行ヲ爲ス前裁判ノ送達ヲ爲スコトヲ要セス

第七十四條 造林ノ用ニ供スル土地ハ本章ノ適用上之ヲ森林ト看做ス

第七十五條 本法ニ規定スルモノノ外森林組合ノ設立、管理、解散、清

算其ノ他組合ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六章 森林警察

第七十六條 地方長官ニ於テ必要アリト認ムルトキハ左ノ命令ヲ發シ若ハ處分ヲ爲スコトヲ得

一 森林產物ニ使用スル記號又ハ印章ヲ定メ所轄警察官署ニ届出テシメ森林產物ノ搬出前之ヲ使用セシムルコト

二 前號ニ依リ届出テタル記號印章ト同一又ハ類似ノ記號若ハ印章ノ使用ヲ禁止スルコト

三 前二號ノ規定ニ違反シタル者ニ對シ森林產物ノ運搬ヲ停止スルコト

四 森林產物ニ關スル營業者ヲシテ帳簿ヲ設ケ其ノ產物ノ出所、種類、數量及仕向先ヲ記載セシムルコト

五 前各號ノ外森林ノ危害防止ニ關スルコト

第七十七條 森林官吏、警察官吏又ハ犯罪捜査ニ付職權ヲ有スル官吏、公吏其ノ職務ヲ行フ爲必要アリト認ムルトキハ森林產物又ハ森林產物ニ關スル營業者ノ手板、帳簿及器具ニ付檢査ヲ行フコトヲ得

第七十八條 森林、原野、山岳又ハ荒蕪地ニ於テハ地方長官ニ於テ必要ト認メ主務大臣ノ認可ヲ得テ指定シタル場合ヲ除クノ外火入ヲ爲スコトヲ得ス

前項指定ノ場合ニ於テ火入ヲ爲サムトスルトキ又ハ前項以外ノ土地ニシテ森林ニ接近セル土地ニ火入ヲ爲サムトスルトキハ森林官吏又ハ警察官吏ノ許可ヲ受クヘシ

第七十九條 前條ノ火入ヲ爲サムトスルトキハ豫メ防火ノ設備ヲ爲シ且接近セル森林ノ所有者又ハ管理者ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第八十條 森林害蟲發生シ又ハ發生ノ虞アルトキハ其ノ害蟲發生シ又ハ發生ノ虞アル森林ノ所有者之ヲ驅除豫防スヘシ

前項ノ場合ニ於テ必要アルトキハ森林所有者ハ警察官署ノ許可ヲ得テ他人ノ土地ニ立入り森林害蟲ノ驅除豫防ヲ爲スコトヲ得

第八十一條 森林害蟲蔓延シ又ハ蔓延ノ虞アル場合ニ於テ地方長官ハ森林害蟲ノ驅除又ハ豫防ノ爲必要ナル處置ヲ利害關係アル森林ノ所有者ニ命シ又ハ自ラ之ヲ行フコトヲ得蟲類以外ノ動物又ハ微菌ヲ驅除豫防スルニ付主務大臣ノ認可ヲ得タル場合亦同シ

前項驅除豫防ノ費用ハ其ノ利害關係アル土地ノ面積又ハ地價ヲ準率ト爲シ森林所有者ノ負擔トス但シ地方長官自ラ驅除豫防ヲ行ヒタル場合ヲ除クノ外費用ノ負擔者ニ於テ別段ノ定ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

地方長官第一項ニ依リ自ラ驅除豫防ヲ行ヒタル場合ニ於ケル費用ノ徵收ニ付テハ行政執行法第六條ノ規定ヲ準用ス

第八十二條 害蟲驅除豫防法第七條及第八條ノ規定ハ前二條ニ依ル驅除豫防ニ之ヲ準用ス

(參照)

害蟲驅除豫防法

第七條 驅除豫防ノ必要ヨリ生シタル損害ニ對シ被害者ハ賠償ヲ要求スルコトヲ得ス

第八條 土地所有者管理者又ハ使用者ハ官吏及其指揮ヲ承クル者ノ其ノ地ニ入り驅除豫防ニ從事スルヲ拒ムコトヲ得ス

第七章 罰則

第八十三條 森林ニ於テ其ノ產物ヲ竊取シタル者ハ森林竊盜トシ三年以下ノ重禁錮又ハ贓額以上贓額二倍以下ノ罰金ニ處ス其ノ產物ニシテ人工ヲ加ヘタルモノニ係ルトキ亦同シ

第八十四條 森林竊盜ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ二月以上三年以下ノ重禁錮及贓額以上贓額二倍以下ノ罰金ニ處ス

一 根株ヲ掘採、毀壞、燒燬若ハ隱蔽シ其ノ他罪跡ノ湮滅ヲ圖ルノ行為アリタルトキ

二 贓物ヲ原料トシテ木炭、樟腦、椎茸、松根油其ノ他ノ物品ヲ製シタルトキ

三 贓物ヲ燃料トシテ鑛物ノ採取、精製若ハ石灰、煉瓦石、瓦其ノ他ノ物品ノ製造ニ使用シタルトキ

四 贓物ヲ運搬スル爲馬、牛、船舶、車輛若ハ橇ヲ使用シ又ハ運搬、造材ノ設備ヲ爲シタルトキ

五 保安林ニ於テ犯シタルトキ

六 森林產物採取ノ權利ヲ行使スルニ際シ犯シタルトキ

七 二人以上共同シ又ハ他人ヲ雇使シテ犯シタルトキ

八 森林保護ノ義務ヲ有スル者犯シタルトキ

九 差押ノ贓物ヲ隱匿、消費、滅却又ハ放棄シタルトキ

十 夜間犯シタルトキ

第八十五條 前條第二號ニ依リ製シタル物品ハ之ヲ森林竊盜ノ贓物ト看做ス

第八十六條 民法第九十六條ノ規定ハ森林竊盜ノ贓物ノ回復ニ之ヲ適用セス但シ善意ノ取得者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

(參照) 民法

第九十六條 占有者カ占有物ヲ返還スル場合ニ於テハ其ノ物ノ保存ノ爲ニ費シタル金額其ノ他ノ必要費ヲ回復者ヨリ償還セシムルコトヲ得但占有者カ果實ヲ取得シタル場合ニ於テハ通常ノ必要費ハ其負擔ニ歸ス

占有者カ占有物ノ改良ノ爲ニ費シタル金額其他ノ有益費ニ付テハ其價格ノ增加カ現存スル場合ニ限り回復者ノ選擇ニ從ヒ其費シタル金額又ハ増價格ヲ償還セシムルコトヲ得但惡意ノ占有者ニ對シテハ裁判所ハ回復者ノ請求ニ因リ之ニ相當ノ期限ヲ許スルコトヲ得

第八十七條 森林竊盜ノ贓物ナルコトヲ知リテ之ヲ受ケ又ハ寄藏故買シ若ハ牙保ヲ爲シタル者ハ一月以上三年以下ノ重禁錮及贓額以上贓額二倍以下ノ罰金ニ處ス

第八十八條 第八十三條、第八十四條及前條ノ贓額ノ二倍カ二圓ニ滿タサルトキト雖其ノ罰金ハ二圓以下ニ下スコトヲ得ス

第八十九條 他人ノ森林ニ放火シタル者ハ輕懲役ニ處ス因テ主產物ヲ燒燬シタル者ハ重懲役ニ處ス

自己ノ森林ニ放火シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス因テ他人ノ森林ノ主產物ヲ燒燬シタル者ハ五年以下ノ重禁錮ニ處ス

第九十條 第八十三條、第八十四條及前條第二項ノ罪ヲ犯サムトシテ未タ遂ケサル者ハ刑法未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第九十一條 森林ノ爲設ケタル標識ヲ移轉、汚損シ又ハ毀壞シタル者ハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス但シ刑法第四百二十條ノ適用ヲ妨ケス

第九十二條 立木竹、木材又ハ根株ニ附シタル他人ノ記號印章ヲ變更又ハ消除シタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十三條 他人ノ森林内ニ工作物ヲ設ケタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス他人ノ森林ヲ開墾シタル者亦同シ

前項ノ犯罪ニシテ保安林、開墾禁止ノ森林ニ係ルトキハ六月以下ノ重禁錮及二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十四條 他人ノ森林内ニ於テ放牧シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

ス

第九十五條 第十三條ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十六條 第二十條ニ違反シ又ハ第二十五條第一項ノ停止ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十七條 第二十六條ニ違反シ又ハ第三十二條ノ制限若ハ禁止ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十八條 第二十七條ノ制限、禁止又ハ指定ニ違反シタル者ハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十九條 前三條ノ場合ニ於テ木竹ヲ伐採又ハ傷害シタル者ニ對スル罰金ハ其ノ伐採又ハ傷害シタル木竹ノ價格ノ二倍ニ達セシムルコトヲ得

第一百條 第七十六條第二號又ハ第三號ニ依ル命令又ハ處分ニ違反シタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第一百一條 第七十七條ノ検査ヲ拒ミタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス其ノ刑法ニ正條アルモノハ刑法ニ依ル

第二百二條 第七十八條又ハ第七十九條ニ違反シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス因テ他人ノ森林ヲ燒燬シタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス他人ノ森林内ニ於テ焚火ヲ爲シタル者亦同シ

第二百三條 第七十六條第一號第四號若ハ第五號又ハ第八十一條第一項ニ依ル命令又ハ處分ニ違反シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

第二百四條 第三十六條ニ依ル土地ハ本章ノ適用上之ヲ森林ト看做ス

第八章 附則

第二百五條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(參照)

勅令第三百四十六號(明治四十年十二月二十五日)

森林法ハ明治四十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二百六條 北海道、沖繩縣其ノ他勅令ヲ以テ指定スル島嶼ニ付テハ本法中保安林ニ關スル規定ニ限り之ヲ施行ス

前項ノ外本法ノ規定ヲ施行スルノ必要アルモノハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

前二項ノ場合ニ於テハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第二百七條 本法施行前森林タリシモノニシテ本法施行以前ヨリ荒廢ニ屬

シタルモノハ地方長官ニ於テ造林ヲ命スルコトヲ得

前項ニ依リ造林ノ命令ヲ受ケタル者カ造林ヲ怠リタル場合ニ付テハ第十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百八條 舊法第三十條ニ依リ保安林ト爲シタルモノニシテ本法施行ノ際現ニ保安林タルモノハ之ヲ保安林トス

(參照)
舊法

第三十條 從來ノ禁伐林、風致林又ハ伐木停止林ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ保安林トシ其ノ森林ニ對スル從來ノ制限ハ仍其ノ効力ヲ有ス

第二百九條 公有林又ハ社寺有林ニ付本法施行前地方長官ノ認可ヲ受ケ又ハ地方長官ニ届出ラタル施業案又ハ施業要領ハ第九條ニ依ル認可ヲ受ケタルモノト看做ス

第三百十條 舊法又ハ舊法ニ基キテ發シタル命令ノ規定ニ依リテ爲シタル處分、議決、申請、請求、手續其ノ他ノ行爲ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス但シ本法ニ基キテ發スル命令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三百十一條 舊法ニ依リ本法施行前ニ進行ヲ始メタル期間カ本法中之ニ

相當スル期間ヨリ長キトキハ舊法ノ規定ニ從フ但シ其ノ殘期カ本法施行ノ日ヨリ起算シ本法中之ニ相當スル期間ヨリ長キトキハ本法施行ノ日ヨリ起算シテ本法ノ規定ヲ適用ス

第百十二條 舊法第二十六條ニ依ル補償ノ請求ハ本法施行ノ日ヨリ一箇年ヲ經過スルトキハ之ヲ爲スコトヲ得ス

(參照)

- 一 訴願法 二十三年十月法律第百五號
- 一 行政裁判法 二十三年六月法律第四十八號
- 一 供託法 三十二年二月法律第十五號
- 一 供託物取扱規程 三十二年三月大藏省令第六號
- 一 國稅徵收法 三十年三月法律第二十一號
- 一 刑法 四十年四月法律第四十五號

○森林法施行規則

明治四十年十二月 改正 四十四年七月
農商務省令第二一號 第二七號

第一條 公共團體又ハ社寺カ森林ヲ得喪シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ代表者ハ遲滯ナク第一號様式ニ準シテ屆書ヲ作り之ヲ地方長官ニ差出スヘシ

公共團體又ハ社寺ニ屬スル土地カ森林タルニ至リシトキハ其ノ代表者ハ遲滯ナク第二號様式ニ準シテ屆書ヲ作り之ヲ地方長官ニ差出スヘシ
第二條 公共團體又ハ社寺ノ代表者ハ其ノ公共團體又ハ社寺ニ屬スル原野、山嶽、荒蕪地又ハ森林タリシモノニシテ現ニ荒蕪セルモノニ付森林トシテ管理スヘキモノト否トヲ區分シ第三號様式ニ準シテ區分書ヲ作り地方長官ノ定メタル期間内ニ之ヲ地方長官ニ差出シ認可ヲ受クヘシ

地方長官ハ區分ヲ更正シテ前項ノ認可ヲ與フルコトヲ得
前二項ニ依リ認可ヲ受ケタル區分ヲ變更セムトスルトキハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第三條 公共團體又ハ社寺ノ代表者ハ其ノ公共團體又ハ社寺ニ屬スル森林又ハ森林トシテ管理スヘキ土地ニ付第四號又ハ第五號様式ニ準シテ管理ノ方法ヲ記載シタル屆書ヲ作り地方長官ノ定メタル期間内ニ之ヲ地方長官ニ差出スヘシ但シ保安林及地方長官ニ於テ森林法第九條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケシムルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス
前項ニ依リ届出テタル方法ヲ變更シタルトキハ公共團體又ハ社寺ノ代

表者ハ遲滞ナク其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第四條 第十條ノ規定ハ森林法第十條ノ規定ニ依リ施業方法ヲ指定シ若ハ造林ヲ命シタル者ニ之ヲ準用ス

第五條 森林法第十一條ノ規定ニ依ル行政官廳ノ職權ハ地方長官之ヲ行フ

第六條 森林法第十三條ノ規定ニ依ル制限又ハ禁止ハ慣行ノ公布式ヲ以テ之ヲ告示シ且之ヲ森林所有者ニ通知スヘシ

第七條 保安林編入解除ノ申請書ハ第六號様式ニ準シテ之ヲ作り第七號又ハ第八號様式ニ準シテ作りタル圖面ヲ添附スヘシ但シ全部ノ解除ニ付テハ圖面ノ添附ヲ要セス

第八條 森林法第十七條ノ規定ニ依リ申請書ヲ却下スル場合ニ於テハ理由ヲ附シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第九條 保安林ノ編入解除ニ關スル處分ノ告示アリタルトキハ地方長官ハ遲滞ナク森林法第二十三條ノ通知及揭示ヲ爲スヘシ但シ其ノ處分カ一筆中ノ一部ニ係ルトキハ通知書ニ其ノ區域ヲ明示シタル圖面ヲ添附スヘシ

第十條 保安林ニ關シ左ノ各號ノ一ニ該當スル事項發生シタルトキハ其ノ所有者ハ其ノ都度之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ森林法第十八條ノ規定

ニ依ル告示アリタル森林ニ關シテモ亦同シ

一 森林所有者ノ變更

二 地番ノ分合

三 地形又ハ林相ノ異動但シ輕微ナルモノヲ除ク

前項第一號ノ届出ハ新ニ所有者トナリシ者ニ於テ之ヲ爲シ届書ニ其ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第十一條 農商務大臣ニ於テ森林法第二十七條ノ規定ニ依リ制限、禁止又ハ指定ヲ爲ス場合ニ於テハ地方長官ヲシテ之ヲ保安林所有者ニ通達セシムヘシ

第十二條 森林法第二十八條ノ規定ニ依ル補償ハ農商務大臣ノ認可ヲ得テ地方長官之ヲ行フヘシ

第十三條 森林法第二十八條第一項ノ規定ニ依リ補償スヘキ損害ハ其ノ伐採禁止ノ當時存在スル森林立木竹ヲ普通保安林ノ立木竹トシテ價額ヲ見積リ其ノ價額ノ年利五厘ニ相當スル金額ヲ以テ毎年ノ直接損害額

ト看做シ之ヲ算定スヘシ
前項損害ノ算定ニ付テハ其ノ既ニ伐期ニ達シタル森林ニ在リテハ伐採
禁止ノ當時其ノ未タ伐期ニ達セサル森林ニ在リテハ其ノ伐期ニ達シタ
ル當時ノ立木竹ノ時價ヨリ三割ヲ減シタルモノヲ以テ普通保安林ノ立
木竹ノ價額ト看做ス但シ地方長官ニ於テ必要ト認メタルトキハ時價ニ
對スル割引ノ歩合ヲ増減スルコトヲ得

第十四條 伐期ニ達セサル森林ニ付テハ樹種、作業別及地方ノ慣行等ヲ
斟酌シテ定メタル伐期ニ達シタル年ヨリ前條ノ補償ヲ爲スモノトス
前項ノ伐期ハ伐採禁止ノ際地方長官ニ於テ之ヲ保安林所有者ニ通達ス
ヘシ

第十五條 森林法第二十八條第二項ノ規定ニ依ル損害額ハ造林ニ要シタ
ル實費額ニ依ルモノトス

第六條 森林法第二十八條第一項ノ規定ニ依ル損害ノ補償請求期間ハ
其ノ既ニ伐期ニ達シタル森林ニ在リテハ伐採禁止ノ命令ヲ受ケタル日
ヨリ九十日、其ノ未タ伐期ニ達セサル森林ニ在リテハ第十四條第二項
ノ規定ニ依リ定マリタル伐期ニ達シタル年ノ初日ヨリ末日迄トス

森林法第二十八條第二項ノ規定ニ依ル損害ノ補償請求期間ハ各年分ニ
付翌年三月三十一日迄トス

第十七條 森林法第二十八條ノ規定ニ依ル補償ヲ請求セムトスル者ハ請
求書ニ損害算定書ヲ添附シ之ヲ地方長官ニ差出スヘシ

前項ノ請求者ニシテ立木竹ノミノ所有者ナルトキハ其ノ所有ヲ證スヘ
キ書面ヲ請求書ニ添附スヘシ

第十八條 森林法第二十八條第三項但書ノ規定ニ依ル負擔ノ要否及其ノ
金額ハ農商務大臣ノ認可ヲ得テ地方長官之ヲ決定スヘシ

前項ノ負擔金額ハ地方長官ニ於テ之ヲ徵收ス

第十九條 森林法第三十二條ノ處分アリタルトキハ地方長官ハ地方慣行
ノ公布式ヲ以テ之ヲ告示シ且土地所在ノ市町村役場ニ揭示スヘシ

簡所ヲ指定シテ前項ノ處分ヲ爲シタルトキハ地方長官ハ前項ノ手續ヲ
爲スノ外其ノ旨ヲ土地所有者ニ通達スヘシ

第二十條 森林法第四十條ノ規定ニ依リ土地使用ノ許可ヲ受ケムトスル
者ハ申請書ニ事業計劃書及圖面ヲ添付シ之ヲ地方長官ニ差出スヘシ
前項ノ申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 使用スヘキ土地ノ所在、地番、種目、所有者及關係人ノ氏名、名稱、住所
 - 二 使用面積
 - 三 使用ノ時期及期間
 - 四 使用ノ目的
- 第二十一條 使用スヘキ土地内ニ左ニ掲ケタル土地アルトキハ其ノ土地ニ關スル調書及圖面ヲ前條ノ申請書ニ添附スヘシ
- 一 御料墓地及御料地
 - 二 國有地
 - 三 現ニ公用ニ供スル土地
 - 四 社寺境内地
 - 五 名所、舊跡及古墳墓
- 第二十二條 前二條ノ規定ハ森林法第四十條第一項但書ノ規定ニ依リ協議ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス
- 第二十三條 森林法第四十條第一項ノ規定ニ依リ許可ヲ得又ハ協議調ヒタル後同條同項ノ目的ニ土地ヲ使用スルコトヲ廢止シタル者ハ遲滯ナ

ク之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ但シ帝室林野管理局又ハ政府ニ在リテハ之ヲ地方長官ニ通知スヘシ

地方長官前項ノ届書又ハ通知書ヲ受ケタルトキハ之ヲ土地所有者及關係人ニ通知スヘシ

第二十四條 森林法第五十五條ノ規定ニ依リ地方森林會ノ裁決ヲ求メムトスル者ハ左ニ掲ケタル事項ヲ記載シタル申請書ヲ差出スヘシ

- 一 申請人及相手方ノ氏名、名稱、住所
- 二 使用又ハ收用スヘキ土地ノ所有者及關係人ノ氏名、名稱、住所
- 三 申請ノ目的及理由
- 四 立證方法

第二十五條 森林法第五十六條ノ規定ニ依リ土地收用法第六十七條ノ規定ヲ準用スル場合ニ於テ爲ス公告ハ其ノ地方ノ新聞紙ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第二十六條 第二十條乃至第二十五條ノ規定ハ森林法第五十七條ノ規定ニ依ル水ノ使用ニ關スル權利、其ノ他土地ニ關スル所有權以外ノ權利ノ使用又ハ收用ニ之ヲ準用ス

第二十七條 森林法第五十八條ノ規定ニ依リ工作物ノ使用、變更又ハ除却ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ申請書ニ事業計劃書及必要ノ圖面ヲ添付シ之ヲ地方長官ニ差出スヘシ

前項ノ申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 使用、變更又ハ除却スヘキ工作物ノ種類、所在、位置等
- 二 使用、變更又ハ除却スヘキ工作物ノ所有者及關係人ノ氏名、名稱、住所

三 使用、變更又ハ除却ノ時期及期間

四 使用、變更又ハ除却ノ目的

五 其ノ他工作物ノ使用、變更又ハ除却ニ關スル重要ノ事項

第二十八條 前條ノ規定ハ森林法第五十八條第一項但書ノ規定ニ依リ協議ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第二十九條 第二十三條ノ規定ハ工作物ヲ使用シ、變更シ又ハ除却スルコトヲ廢止シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十條 第二十四條ノ規定ハ森林法第五十八條第三項ノ規定ニ依リ地方森林會ノ裁決ヲ求ムル場合ニ之ヲ準用ス

第三十一條 地方森林會ノ裁決ハ會長ニ於テ其ノ謄本ヲ當事者ニ交付スヘシ

第三十二條 森林法第六十一條ノ規定ニ依リ他人ノ土地ニ立入り、目標ヲ設置シ又ハ支障木竹ヲ伐採セムトスル者ハ地方長官ノ許可證ヲ携帶スヘシ

第三十三條 森林法第六十七條但書ノ規定ニ基キ森林組合ニ加入ノ義務ナシト定メタル者ノ員數及其ノ所有ニ係ル森林面積ハ之ヲ同法第六十六條各號ノ計算ニ加ヘス

第三十四條 森林組合設立ノ同意ヲ求ムル場合ニ於テハ定款ヲ組合員タル資格ヲ有スル者ニ示シ期間ヲ指定シテ意見ヲ申出テシムヘシ
森林組合設立ノ際第三十六條第二項ノ規定ニ依リ加入義務ノ免除ヲ受ケムトスル者ハ前項ノ期間内ニ地方長官ニ申請スヘシ

第三十五條 森林組合設立ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ申請書ニ定款及前條第一項ノ規定ニ依ル意見書其ノ他森林法第六十六條ニ定メタル條件ヲ具備スルコトヲ證スル書面ヲ添附シ之ヲ地方長官ニ差出スヘシ

第三十六條 御料林又ハ國有林ニ付テハ帝室林野管理局又ハ政府ハ獨立

シテ經營スルヲ不便ナリトスル場合ヲ除クノ外森林組合ニ加入スルノ義務ナキモノトス

前項以外ノ森林ニシテ試験、演習等特種ノ目的ニ供セラレ若ハ面積廣大ニシテ獨立經營ノ方法確定シ其ノ他特別ノ事情アル場合ニ於テ地方長官之ヲ協同經營ニ屬セシムルノ必要ナシト認メタルモノニ付テハ其ノ森林所有者ハ森林組合ニ加入スルノ義務ナキモノトス

第三十七條 森林法第九條、第十條、第二十七條又ハ第百七條ノ規定ニ依リ處分ヲ受ケタル森林カ森林組合ノ經營ニ屬シタル場合ニ於テ其ノ處分ノ變更又ハ解除ヲ要スルモノアルトキハ森林組合ハ其ノ處分ヲ爲シタル官廳ニ對シ其ノ變更、解除ヲ申請スルコトヲ得

第三十八條 森林組合ニ於テ森林ノ施業案若ハ施業要領、造林計劃、林道若ハ河川ニ關スル工事、其ノ他事業ノ計劃設計ヲ定メムトスルトキハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

前項認可申請書ニハ其ノ費用及其ノ收支ニ關スル豫定ヲ記載シタル書類ヲ添附スヘシ

第三十九條 森林組合ニ於テ總代會ヲ設ケムトスルトキハ定款中ニ總代ノ選任解任ノ方法、員數及任期ニ關スル事項ヲ規定スヘシ

第四十條 森林組合合併ノ認可ヲ受ケムトスルトキハ申請書ニ理由書、總會ノ決議録、財産目錄、貸借對照表、合併契約書及合併後存續スル組合又ハ合併ニ因リテ設立スル組合ノ定款ヲ添附シ之ヲ地方長官ニ差出スヘシ

森林組合解散ノ認可ヲ受ケムトスルトキハ申請書ニ理由書及總會ノ決議録ヲ添附シ之ヲ地方長官ニ差出スヘシ

第四十一條 左ノ各號ノ場合ニ於テハ森林組合ハ遲滯ナク之ヲ地方長官ニ報告スヘシ

- 一 定款又ハ業務ノ執行ニ關スル規定ヲ設ケ又ハ之ヲ改廢シタルトキ
- 二 理事、監事ノ選任若ハ解任アリタルトキ又ハ其ノ缺ケタルトキ
- 三 森林組合令第十六條第一號第二號又ハ第五號ノ事項ヲ定メタルトキ
- 四 森林組合令第二十三條第二項ノ書類ニ付總會ノ調査ヲ經タルトキ

第四十二條 森林組合ヨリ書面ヲ農商務大臣ニ差出ストキハ地方長官ヲ經由スヘシ

第四十三條 森林法第七十八條第二項ノ規定ニ依リ火入ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ帝室林野管理局所管地ニ付テハ同局森林官吏、林區署所管地ニ付テハ同署森林官吏、其ノ他ノ土地ニ付テハ警察官吏ニ申請スヘシ

火入ヲ爲サムトスル土地カ他人ノ所有若ハ占有ニ屬スルトキハ所有者又ハ占有者ノ承諾ヲ證スル書面ヲ申請書ニ添附スヘシ但シ帝室林野管理局所管地及林區署所管地ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第四十四條 前條ノ申請ヲ許可シタルトキハ第九號様式ニ準シテ許可證ヲ作り之ヲ申請人ニ交付スヘシ

前項ノ許可證ハ火入者ニ於テ火入ノ際之ヲ携帯スヘシ

第四十五條 火入ニ付延燒其ノ他危害ノ虞アルトキハ森林官吏又ハ警察官吏ハ何時ニテモ火入ノ差止又ハ火入ノ方法若ハ期日ノ變更其ノ他相當ノ處置ヲ命スルコトヲ得

第四十六條 火入ヲ爲シタル者ハ火氣消滅シタル後ニ非サレハ其ノ場所ヲ立去ルコトヲ得

第四十七條 第十條ノ規定ハ森林法第七條ノ規定ニ依リ造林ヲ命シタルモノニ之ヲ準用ス

ルモノニ之ヲ準用ス

第四十八條 第四十五條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者又ハ許可ヲ得タル期日ニ違ヒテ火入ヲ爲シタル者ハ二十五圓以下ノ罰金ニ處ス第四十六條ニ違反シタル者亦同シ

第四十九條 第四條、第十條、第二十三條第一項、第二十六條、第二十九條、第四十七條及第五十條ノ規定ニ違反シテ届出ヲ怠リタル者又ハ第四十四條第二項ニ違反シタル者ハ科料ニ處ス

附則

第五十條 本則施行ノ際現ニ森林法第二條ノ規定ニ依リ保安林所有者タル者ハ本則施行ノ日ヨリ三箇月以内ニ其ノ土地ニ關スル權利ヲ證スル書類ヲ添附シ之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第五十一條 地方長官前條ノ届出ヲ受理シタル場合ニ於テ其ノ保安林カ舊森林法ノ規定ニ基キ土地所有者ニ對シ施業法要領ヲ通達シタルモノナルトキハ遲滯ナク更ニ森林所有者ニ對シ之ヲ通達スヘシ其ノ届出前前條ノ保安林所有者アルコトヲ知リタルトキ亦同シ

第五十二條 公共團體又ハ社寺ノ代表者ハ本則施行ノ際現ニ存在スル公有林又ハ社寺有林ニ付第十號様式ニ準シテ届書ヲ作り本則施行後遲滯

何町(村)長(何神社神職又ハ何寺住職)
(何々森林組合理事)

何 某

(氏子、檀徒又ハ信徒總代)

何 某

年 月 日

地方長官宛

第五號様式

管理方法届

所在及地目	町村、大字、字、地番「ノ内」
所有者	
面積	
現況	荒蕪地(草生地)

備考	管理方法	人工植栽(天然生ヲ補育ス)
	主ナル樹種	桐(杉)(扁柏)
植栽方法	期及期間	明治何年ヨリ同何年ニ至ル何箇年間

右及御届候也

何町(村)長(何神社神職又ハ何寺住職)

(何々森林組合理事)

何 某

(氏子、檀徒又ハ信徒總代)

何 某

年 月 日

地方長官宛

第六號様式

保安林編入(解除)申請書

注意

第八號様式

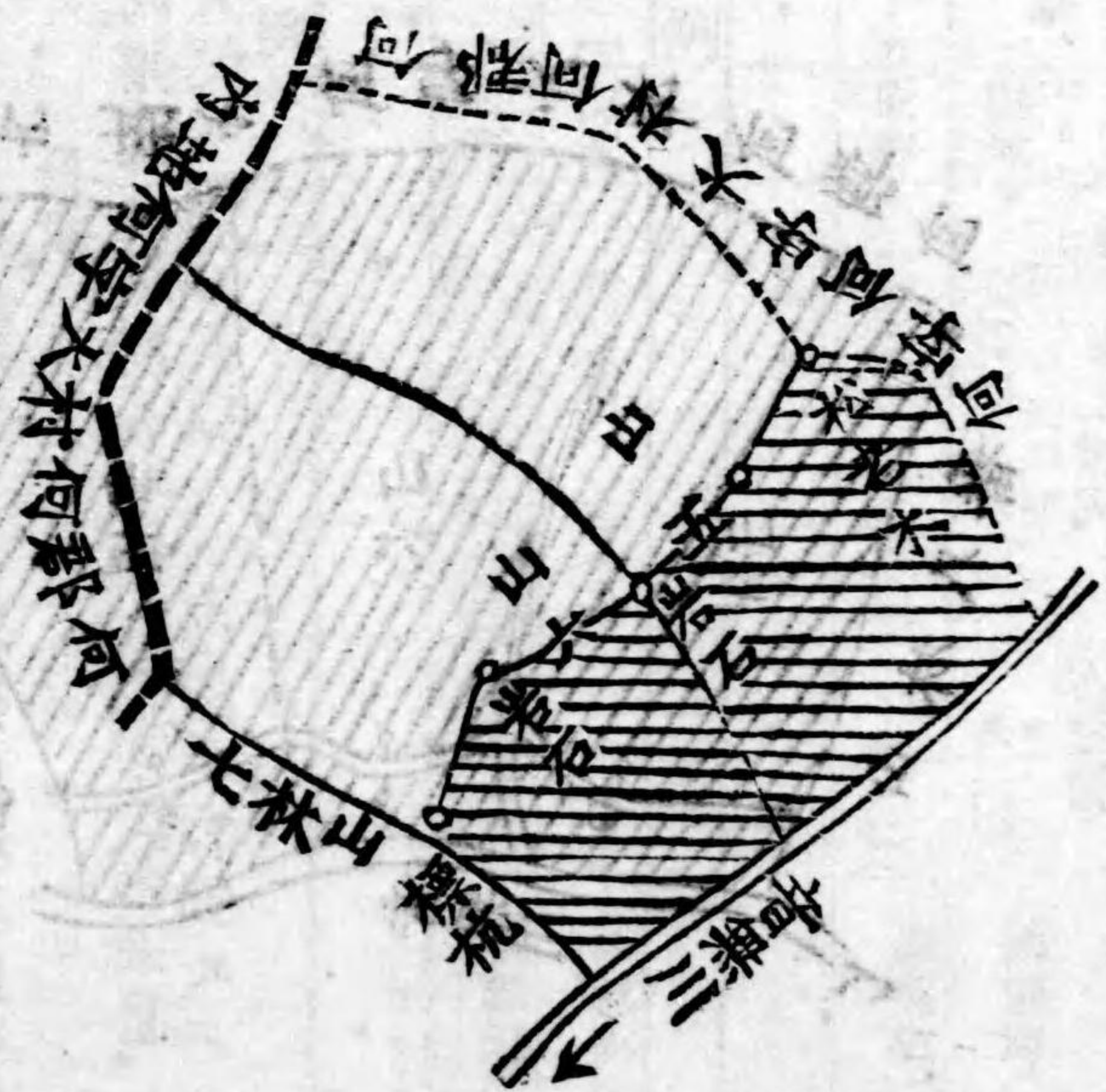
地番ノ一部ニ係ルトキハ編入スヘキ區域ノ境界ヲ判明ナラシムヘシ

五四

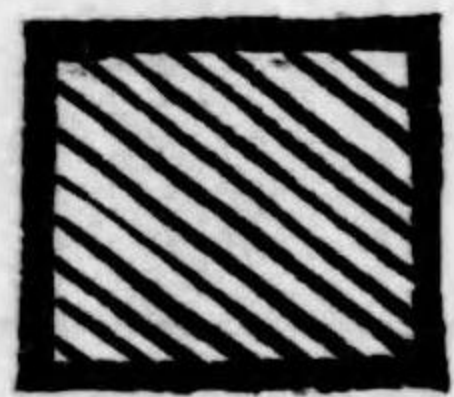
保安林解除圖

何國何郡何町(村)大字何字何番
又ハ何番乃至何番

縮尺何百一分



要解除地



注意

第九號様式

解除スヘキ區域ノ境界ヲ判明ナラシムヘシ

表

裏

森林火入許可證

許可年月日	火入箇所	火入期日
		火入者
官取吏扱		

火入者心得

- 一 火入者ハ火入ノ際此ノ證書ヲ携帯スヘシ
- 一 火入者ハ豫メ火入期日ヲ火入箇所ニ接近セル森林ノ所有者若ハ管理者ニ通知スヘシ
- 一 他ヘ延焼ノ虞アル箇所ハ相當ノ防火設備ヲ爲スヘシ
- 一 火入ニ關シ森林官吏又ハ警察官吏ノ指揮アリタルトキハ其ノ指揮ニ從フヘシ

五五

第十號様式

公有林(社寺有林)現在届

計	町村		地目	森林面積	所有者	備	考
	大字	字					
			町			何某所有地ニ明治何年何月ヨリ何年何月ニ至ル迄何十箇年間ノ地上權ヲ得タルモノナリ	
						何某所有地ニ明治何年何月ヨリ何年何月ニ至ル迄何十箇年間ノ賃借權ヲ得タルモノナリ	

右ハ森林法施行規則第五十二條ニ依リ此段及御届候也

何町(村)長(何神社神職又ハ何寺住職)

年 月 日

何 某

(氏子、檀徒又ハ信徒總代)

地方長官宛

○森林法第三十七條ノ二ニ依リ地方長官ニ

委任ノ件

明治四十四年七月
農商務省令第二十六號

森林法第三十七條ノ二ニ依リ左ニ掲クル事項ハ之ヲ地方長官ニ委任シ本令公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

- 一 保安林編入又ハ不編入ノ處分但シ御料地又ハ國有地ニ係ルモノ、森林法第二十一條ニ依ル意見書ノ提出アリタルモノ及地方森林會ノ決議ト地方長官ノ意見ト一致セサルモノニ關スル處分ハ此ノ限ニ在ラス
- 二 保安林ニ關スル森林法第二十七條ノ處分但シ御料及國有ノ保安林ニ關スル處分ハ此ノ限ニ在ラス
- 三 開墾ノ制限及禁止並其ノ解除ノ處分但シ御料地又ハ國有地ニ係ル

○管理方法届提出ノ件

明治四十三年七月
勅第七〇七三號通牒

森林法施行規則第三條ニ依リ社寺カ森林ヲ取得シ又ハ社寺ニ屬スル土地カ森林タルニ至リシトキノ管理方法届ハ右取得又ハ成立届後二十日以内ニ差出サシメラレ度候依命此段及通牒候也

○森林法施行細則

明治四十一年九月十一日縣令第八十八號
同四十五年六月十一日同第二十九號改正

第一條 郡市町村長ニ於テ森林法、森林法施行規則又ハ本則ニ依リ差出スヘキ書類ヲ受ケタルトキハ調査ノ上意見アルトキハ意見ヲ具シ速ニ之ヲ進達スヘシ

第二條 郡市長ハ保安林編入解除ノ申請ニ係ル土地ノ所在、地番、地目面積及所有者ヲ所轄稅務署備付ノ土地臺帳ニ照合シ尙其土地ニ就キ登記シタル權利ニ關スル事項ヲ所轄裁判所ニ就キ照查スヘシ

第三條 郡市長ニ於テ森林法第九條、第十條第一項第二項、第十一條、第十三條、第三十三條、第八十一條第一項又ハ第百七條ノ執行ヲ必要ト

認ムルトキハ知事ニ具申スヘシ

第四條 警察署長警察分署長ニ於テ森林法第七十六條又ハ第八十一條第一項ノ執行ヲ必要ト認ムルトキハ知事ニ具申スヘシ

第五條 保安林ノ編入解除ヲ申請スル者ハ其申請ヲ爲ス土地ニ就キ登記シタル權利ヲ有スル者アルトキハ其ノ種類及權利者ノ住所氏名ヲ記載シタル書面ヲ申請書ニ添付スヘシ

第六條 森林法施行規則第一條ノ届書ハ其ノ届出事實ノ確定シタル日ヨリ二十日以内ニ差出スヘシ

第七條 公有林ノ賣却、讓與、交換、貸付、地上權設定、質入又ハ共有ニ係ル公有林ノ分割ヲ爲サントスルトキハ豫メ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第八條 森林法施行規則第十條第一項ノ届書ハ其ノ届出事實ノ確定シタル日ヨリ十日以内ニ差出スヘシ同規則第四條及第四十七條ノ届書亦同シ

森林法施行規則第十條第一項各號ノ外面積ノ異動モ前項ニ依リ届出ツヘシ

第九條 森林法第二十六條ノ規定ニ依リ保安林ニ於テ作業ノ許可ヲ得ン

トスル者ハ第一號様式ニ依リ圖面ヲ添へ出願スヘシ

第十條 保安林ニ於テ森林法第二十七條ノ制限若ハ指定ニ基キテ施業ヲ爲サントスル者ハ第一號様式ニ依リ着手三ヶ月以前ニ届出ツヘシ但シ其ノ施業カ森林法第二十六條ノ作業ナルトキハ前條ニ依ル

第十一條 森林法第十條第三項、第二十五條第二項ノ規定ニ依リ木竹伐採ノ許可ヲ得ントスル者及森林法第二十條ノ規定ニ依リ保安林編入ニ關シ告示シタル森林ニ於テ作業ヲ爲サントスル者ニ就テハ第九條ヲ準用ス森林法第十三條及第三十二條ノ制限カ知事ノ許可ヲ要スルモノナルトキ亦同シ

第十二條 前三條ノ届出ヲ爲シ又ハ許可ヲ受ケタル後作業ノ方法若ハ期間ヲ變更セントスルトキハ更ニ届出ヲ爲シ又ハ出願許可ヲ受クヘシ前三條ノ作業ヲ中止若ハ廢止シタルトキハ二十日以内ニ届出ツヘシ

第十三條 保安林又ハ保安林編入ニ關シ告示シタル土地ノ開墾ハ其ノ開墾ノ爲森林タルヲ失ハサルモノノ外之ヲ許可セス

第十四條 保安林又ハ森林法第十三條ノ規定ニ依リ作業ヲ制限シタル森林若ハ森林法第二十條ノ規定ニ依リ保安林編入ニ關シ告示シタル森林

ニ於テ切芝ノ採取ヲ爲ストキハ其ノ幅ヲ一尺以内トシ幅二尺以上ノ間隔ヲ保タシムヘシ但シ傾斜地ニ在リテハ水平ニ採取スルコトヲ要ス

第十五條 保安林ニ於テハ一箇所(保安林臺帳ノ一筆ヲ一箇所トス)毎ニ施業ヲ爲スヘシ但シ保安林ノ目的ヲ害セサル場合ニ限り二箇所以上ヲ併合シテ一施業ヲ爲スコトヲ得

第十六條 保安林一箇年間ノ伐採面積ハ輪伐齡ヲ以テ立木地全面積ヲ除シタル商以内トシ隔年作業ニ在リテハ其ノ商ニ隔年ノ年數ヲ乗シタル積ヨリ大ナラシムルコトヲ得ス但シ擇伐作業ノ伐採區域ハ伐採面積ノ三倍以上ナルヲ要ス

第十七條 保安林ニ於テ保育ノ爲伐除ヲ要スル木竹又ハ枯木竹、損木竹、危険木竹若ハ支障木竹ハ木竹伐採禁止並施業方法ノ指定又ハ第十六條ノ規定ニ拘ハラヌ之ヲ伐採スルコトヲ得

第十八條 保安林ニシテ特ニ伐採法ヲ指定セラレサルモノハ擇伐法ニ依ルヘシ但シ保安林ノ目的ヲ害セサル程度ニ於テ林種ノ改良其ノ他必要ナル目的ノ爲皆伐ヲ爲スコトヲ得

第十九條 保安林ニ於テ一部分ノ皆伐ヲ爲ス場合ハ之ヲ數箇所ニ分割ス

第二十條 保安林ニシテ特ニ輪伐齡ヲ指定セラレサルモノハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ムヘシ

一 矮林ハ十年以上

二 喬林ハ三十年以上

三 竹林ハ三年以上

四 中林ノ下木ハ十年以上、上木ハ三十年以上

第二十一條 保安林内ニ樹苗ヲ植栽シタルトキハ其ノ樹種、本數、植栽面積(實測又ハ見込)ヲ具シ二十日以内ニ届出ツヘシ

第二十二條 保安林所有者ハ適宜ノ方法ヲ以テ保安林ノ境界ヲ明ニスヘシ

第二十三條 森林法第六十一條第一項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ左記ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ差出スヘシ

- 一 立入ルヘキ土地又ハ目標設置若ハ支障木竹伐採ヲ爲サントスル土地ノ所在、地番、地目、面積、所有權者及其ノ他ノ權利者ノ住所氏名

二 目標ノ種類及設置方法又ハ伐採スヘキ木竹ノ種類、數量

三 實地調査ノ目的、時期、期間

第二十四條 森林法施行規則第三十四條第二項ノ規定ニ依リ森林組合加入義務ノ免除ヲ受ケントスル者ハ左記ノ事項ヲ具シ申請スヘシ

一 所在、地番、地目、面積

二 免除ヲ受ケントスル事由

第二十五條 森林法施行規則第四十三條ノ規定ニ依リ火入ノ許可ヲ警察官吏ニ申請セントスル者ハ第二號様式ニ依リ申請書ヲ火入箇所所在地所轄ノ警察官署ニ差出スヘシ

森林官吏ノ許可ヲ得タルモノハ第二號様式ニ依リ森林官吏ノ官氏名、許可年月日ヲ附記シ火入前所轄警察官署へ届出ツヘシ

第二十六條 前條ノ申請ニ對シテハ左記各號ノ一ニ該當スル場合ニ限リ之ヲ許可ス

- 一 植栽ヲ爲サントスル土地ノ荊棘、雜草其ノ他障礙物ヲ除去スルノ必要アルトキ
- 二 開墾ヲ爲スニ當リ其ノ障礙物ヲ燒却スルノ必要アルトキ

- 三 耕地ニ接續セル場所又ハ牧場等ニ潜伏スル害虫ヲ驅除スルノ必要アルトキ
- 四 境界線ヲ判明ナラシムル爲荆棘、雜草其ノ他障礙物ヲ燒却スルノ必要アルトキ
- 五 常設防火線内ノ可燃物燒却ノ必要アルトキ
- 第二十七條 森林法第七十九條ニ依リ防火ノ設備ヲ爲ス者ハ區域外ニ延燒スル虞アル部分ニ於テ幅五間以上柴草其ノ他ノ可燃物ヲ除去スヘシ
- 第二十八條 森林法第七十九條ニ依ル通知ニハ左記ノ事項ヲ明瞭ナラシムヘシ
 - 一 火入箇所
 - 二 火入期日及時限
- 第二十九條 火入ハ日出前、日没後又ハ風勢穩ナラサルトキハ之ヲ爲スコトヲ得ス
- 第三十條 風雨其ノ他ソ支障ニ依リ許可ノ期日内ニ火入ヲ爲ス能ハサルトキハ順延施行スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ直ニ所轄警察官署ニ延期ヲ届出テ且接近セル森林ノ所有者又ハ管理者ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ

- 第三十一條 森林内ニ於テ木炭製造其ノ他燒灰等ノ目的ヲ以テ焚火ヲ爲サントスル者ハ相當防火設備ヲ爲シ豫メ森林所在地所轄ノ警察官署ニ届出ツヘシ
- 第三十二條 森林内ニ於テ已ムヲ得サル場合ニ焚火ヲ爲シタルモノハ火氣全ク消滅スルニアラサレハ其ノ場所ヲ立去ルコトヲ得ス
- 第三十三條 森林法第八十條第二項ノ規定ニ依リ他人ノ土地ニ立入り森林害虫ノ驅除豫防ヲ爲サントスルトキハ左記ノ事項ヲ具シ森林所在地所轄ノ警察官署ニ出願スヘシ
 - 一 害虫發生シ又ハ發生ノ虞アル森林ノ所在、地番、地目、面積
 - 二 驅除豫防ヲ爲サントスル土地ノ所在、地番、地目、面積、所有者住所氏名
 - 三 害虫種類、驅除豫防方法
- 第三十四條 森林ニ有害ナル動物又ハ黴菌ニシテ森林所有者ニ於テ之ヲ驅除豫防シ能ハサルトキハ森林所有者ハ速ニ其ノ實況ヲ所轄警察官署ニ申報スヘシ
- 第三十五條 第八條第二項、第十條、第十二條、第二十一條、第二十五

第六
條第二項、第三十條及第三十一條ノ届出、通知ヲ怠リ若ハ許可ヲ受ケ
ヌ又ハ第十四條及第三十二條ニ違反シタル者ハ科料ニ處ス
第三十六條 削除

附則

第三十七條 明治三十五年三重縣令第十四號森林法施行規程及明治三十
九年三重縣令第十七號森林火入及焚火取締規則ハ之ヲ廢止ス
第一號様式

保安林(施業方法指定林) (木竹伐採停止林) (作業制限林)
(保安林編入ニ關スル告示ノ森林) (開墾制限林) 作業願(施
業届)

所在地	郡(市)町(村)大字字地番地目
所有者	國郡(市)町(村)大字何某
全面積	何町何反歩
作(施)業面積	何反何畝歩(實測又ハ見込)(區域ハ別紙圖面ノ通)
現況	地勢、地況、林況(林木種、林齡、疎密)等

目的	主伐。間伐。枯木竹、損木竹、危險木竹、支障木竹ノ伐採。樹木傷害。落葉、 落枝、柴草ノ採取。開墾。土石、切芝、樹根、草根、埋木ノ採取若ハ採掘。放 牧等
期間	許可ノ日ヨリ何日間(何月何日ヨリ何月何日迄)
種類及數量	杉何本何尺ノ伐採。樺何本何棚伐採。枯木松何本伐採。松何本傷害。落 葉、落枝、柴、草、土、石、何々、何束但シ一束ハ何程、何(立坪、平坪、個、貫 目)牛何頭等
方法	擇伐法ニ依リ伐採箇所ハ何箇所ニ分割ス、傷害ノ方法ハ何々、採取又ハ 採掘ノ方法ハ何々、何々ニ開墾、放牧ヲナスニハ何々ノ設備ヲ爲ス又ハ 別紙設計書ノ設備ヲ爲ス等
跡地作業	一町歩何本ノ割合ヲ以テ何樹ヲ新植ス、一反歩何本ニ達スル迄何樹ヲ 補植ス、積苗工ヲ施シ一坪三本ノ割合ヲ以テ黒松ヲ新植ス、跡地作業ヲ 要セス等

右御許可被成下度別紙圖面(及何々)相添(此段相願候也)
(右及御届候也)

何郡(市)何町(村)大字何何番屋敷
作(施)業者 何 某(印)
(森林所有者) 何 某(印)

備考

知事宛

- 一 開墾作業願書ニハ「種類及數量」ノ欄ヲ要セス
- 二 開墾作業願書ノ現況欄ニハ地勢、地況、林況ノ外隣接地ノ狀況ヲモ記載スヘシ
- 三 伐採木ノ材積ヲ知り難キトキハ目通直徑又ハ目通周圍ヲ記スルモ妨ケナシ但シ此ノ場合ニハ目通周圍一尺以下何本二尺以下何本等ト記載スヘシ
- 四 圖面ニハ作業又ハ施業ヲ爲サントスル森林ノ全部ヲ顯ハシ之ニ作業又ハ施業ノ區域並ニ林内及近傍ニ存在スル道路、溪川等ヲ明示スヘシ但シ開墾ノ場合ニハ隣接地ノ地番地目ヲモ記載スルヲ要ス
- 五 他人ノ所有ニ屬スル森林ナルトキハ所有者連署ヲ要ス

火入許可申請書(届)

所在地	郡(市)町(村)大字字地番地目
所有者又ハ占有者	國郡(市)町(村)大字何某

全面積	何町何反歩
火入面積	何町步區域ハ別紙圖面ノ通
火入ノ目的	植栽ヲ爲サンカ爲雜草ヲ除去セントス
防火ノ設備	東方何某所有地ノ境界ニ長何百間ノ防火線ヲ設ク
火入ノ方法	何間毎ニ番人ヲ配置シ上部ヨリ點火ス
火入ノ期日及時限	何月何日午前第何時ヨリ午後第何時迄
番人ノ員數	何人

(許可森林官吏官氏名、明治何年何月何日許可)
 右御許可被成下度別紙圖面(及所有者又ハ占有者ノ承諾ヲ證スル書面)相添へ此段申請候也
 (右及御届候也)

何郡(市)何町(村)大字何何番屋敷
 年 月 日
 警察官吏宛

(備考)

一 圖面ニハ火入地ノ形狀ヲ書キ且接近地ノ地目、現況及所有者又ハ管理者ノ住所氏名ヲ記入スヘシ

○火入ニ關スル件

明治四十四年八月 縣告示第三三三號

明治四十一年九月三重縣令第八十八號森林法施行細則第二十六條火入ニ關スル規定ハ森林法第七十八條第一項ニ依リ更ニ主務大臣ノ認可ヲ得タリ

○森林警察主任設置規程

大正七年九月 廳訓第二七號

第一條 森林警察ニ關スル事務ノ爲メ必要ニ應シ警察部保安課、各警察署及警察分署ニ一名乃至數名ノ森林警察主任及專任森林警察官吏ヲ置

第二條 森林警察主任及森林警察官吏ハ警察官吏ノ内ヨリ警察部長之ヲ命免ス

第三條 森林警察主任ハ上官ノ指揮ヲ承ケ左ノ事務ニ從事シ部下ノ吏員

ヲ指揮監督ス

- 一 保安林ノ取締
 - 二 砂防指定地ノ取締
 - 三 林產物ノ取締
 - 四 許可作業ノ取締
 - 五 開墾ノ取締
 - 六 林野火入及焚火取締
 - 七 林野ノ火災、鳥獸、蟲害其他危害防止ニ關スル取締
 - 八 右ノ外森林、砂防ニ關スル一般取締
- 第四條 森林警察主任ニハ特ニ手當ヲ支給スルコトアルヘシ

(參照)

縣訓令乙第一六〇號 大正八年四月二日

專任森林警察官吏及森林警察主任事務取扱規定

第一條 專任森林警察官吏及森林警察主任ハ常ニ左ノ事項ニ注意スヘシ

一 保安林取締

森林法第二十條第二十五條第二十六條第二十七條ノ規定ニ違反スルモノナキヤ

二 砂防指定地ノ取締

明治三十七年三重縣令第五十三號砂防法施行ノ土地ニ對スル一定ノ行爲禁止若ハ制

- 三 限事項ニ違反スルモノナキヤ
林産物ノ取締
森林法第七十六條ノ規定ニ依リ命令若ハ處分ノ必要ナキヤ及命令若ハ處分後果シテ勵行セラレ居ルヤ
- 四 許可作業ノ取締
保安林及砂防指定地ニ於ケル許可作業其他森林法並附隨令達ニ依ル許可作業カ其實行不都合ナキヤ
- 五 開墾ノ取締
明治四十一年三重縣訓令甲第九號公有山林及社寺有山林開墾取扱規程ニ違反スルモノナキヤ
- 六 林野火入及焚火取締
森林法第七十八條第七十九條同施行規則第四十四條乃至第四十六條同施行規則第三十條乃至第三十二條ノ規定ニ違反スルモノナキヤ
- 七 林野ノ火災鳥獸虫害其他危害防止ニ關スル取締
林野ノ火災ヲ惹起スルカ如キ行為ナキヤ
林野ノ火災消防組織備ハリ居ルヤ
消防方法適當ナリヤ、森林法第八十一條ノ規定執行ノ必要ナキヤ及同條ノ規定執行後違反者ナキヤ
- 八 右ノ外森林、砂防ニ關スル一般取締
右ノ外森林法砂防法並ニ附隨令達ニ違反スルモノナキヤ

第二條 森林警察主任ハ毎年一月、七月ノ兩度ニ其月ノ十五日限り前六ヶ月間ノ事務取扱狀況ヲ警察部長ニ報告スヘシ

○森林法施行細則第七條ノ認可申請ニ關スル件

明治四十二年二月
勸第一七六九號通牒

森林法施行細則第七條ノ認可ヲ受ケントスルニ當リ往々認可前市町村會ニ於テ確定ノ決議ヲ經タル後認可申請ノ手續ヲ爲スモノ有之候得共右ハ市町村會付議前認可申請ノ手續ヲ爲スヘク若シ豫メ市町村會ノ意見ヲ確ムル必要アルモノハ認可ヲ受ケタル後確定ヲ爲スヘキ條件ヲ付シ決議ヲ經ル様御取計相成度依命此段及通牒候也

○保安林特別補償規則

明治四十五年七月二日
農商務省令第十七號

第一條 土砂ノ崩壊流出又ハ水害ノ防備ノ爲明治四十五年四月一日以後既墾地ヲ保安林ニ編入シタルトキハ編入當時ニ於ケル當該既墾地價格ト類地森林ノ素地價格トノ差額ノ範圍内ニ於テ其ノ損害ヲ補償ス

第二條 前條ノ保安林ニ於テ森林法第二十七條ノ規定ニ依リ造林又ハ地

- 五 府縣名譽職參事會員中ヨリ互選シタル者 二人
- 六 森林事業ニ經驗アル者
- 七 治水、土木、鑛山、農業又ハ水産事業ニ經驗アル者
- 前項ニ掲クル者ノ外御料地所在ノ府縣ニ在リテハ帝室林野管理局高等官ヲ議員ニ命スルコトヲ得
- 第四條 會長ハ會務ヲ統理シ會ヲ代表シ會議ノ議長ト爲ル
- 第五條 官吏ニシテ議員タル者ノ外議員ノ任期ハ二年トス但シ府縣名譽職參事會員ノ互選ニ係ル者ノ任期ハ府縣名譽職參事會員ノ任期ニ依ル
- 第五條ノ二 第三條第二項第六號又ハ第七號ニ該當スル爲議員ヲ命セラレタル者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農商務大臣其ノ職ヲ免スルコトヲ得
 - 一 禁治産又ハ準禁治産ノ宣告確定シタルトキ
 - 二 租稅滯納處分ヲ受ケタルトキ
 - 三 家資分散又ハ破産ノ宣告確定シタルトキ
 - 四 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ
 - 五 職務上ノ義務ニ違背シ又ハ職務ヲ怠リタルトキ

- 第六條 地方森林會ニ幹事一人書記若干人ヲ置ク幹事ハ府縣高等官中ヨリ書記ハ府縣判任官中ヨリ地方長官之ヲ命ス
- 第七條 幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理シ書記ハ會長又ハ幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス
- 第八條 地方森林會ノ審議スヘキ事項ニシテ其ノ利害關係ニ府縣以上ニ涉ルモノニ付關係地方長官中必要アリト認ムル者アルトキハ關係地方森林會聯合シテ開會スヘシ其ノ開會地及開會、閉會ノ期日並其ノ召集ニ關スル事項ハ關係地方長官之ヲ協定シ審議事項ト共ニ開會前之ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ
- 第九條 聯合地方森林會ハ關係地方森林會ノ議員ヲ以テ組織シ其ノ議長、幹事、書記ハ開會地ノ地方森林會ノ會長、幹事、書記ヲ以テ之ニ充テ其會務規則ハ開會地地方森林會ノ規則ニ依ル
- 聯合森林會ノ決議ハ關係地方森林會ノ決議ト看做ス
- 第十條 議員ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ其ノ事件ノ審議ニ參與スルコトヲ得ス
 - 一 保安林ノ編入解除ニ付テハ申請者、森林法第十八條ノ通知ヲ受ケ

タル者及之ニ屬スル既存ノ權利ヲ承繼シタル者
二 森林法ニ依ル裁決ニ付テハ當事者、土地所有者及同法第二十八條ノ關係人

議員前項各號ノ一ニ該當スル者ノ配偶者、四親等内ノ親族、戶主、家族代理人及輔佐人ナルトキ又ハ前項各號ノ一ニ該當スル市町村ノ市町村長、合名會社ノ社員、合資會社及株式合資會社ノ無限責任社員並法人ノ役員ナルトキ亦前項ニ同シ

第十一條 森林法ニ依リ地方森林會ノ裁決ヲ申請シタル者アルトキハ會長之ヲ相手方ニ通知スヘシ

第十二條 前條ノ通知ヲ受ケタル者ハ其ノ通知後二週間内ニ意見書ヲ地方森林會ニ提出スルコトヲ得

第十三條 地方森林會ハ前條ノ期間經過後ニ非サレハ裁決ノ申請ニ係ル事件ヲ審議スルコトヲ得ス

第十四條 裁決ハ其ノ當事者ノ申立テタル範圍ヲ超ユルコトヲ得ス
第十五條 裁決ハ文書ヲ以テ之ヲナシ其ノ理由ヲ附シ會長之ニ署名捺印スヘシ

裁決書ノ謄本ニハ地方森林會ノ印章ヲ押捺スヘシ

第十六條 地方森林會ニ於テ裁決ヲ爲ス爲必要アリト認ムルトキハ鑑定人ヲ選ヒ其ノ意見ヲ聽クコトヲ得

第十七條 地方森林會ニ於テ必要アリト認ムルトキハ當事者又ハ利害關係人ヲ呼出シ其ノ意見ヲ聽キ又ハ利害關係ヲ有セサル者ヲ呼出シ事實參考ノ爲其ノ供述ヲ聽クコトヲ得

第十八條 鑑定人及事實參考人ハ旅費及手當ヲ請求スルコトヲ得

第十九條 會長、官吏ニシテ議員タル者、幹事及書記ノ旅費ハ所屬官廳ノ經費ヲ以テ之ニ充ツ

第二十條 前條ノ費用ヲ除ク外鑑定人、事實參考人及議員ノ旅費、手當其ノ他地方森林會ノ費用ハ府縣ノ負擔トス但シ聯合地方森林會ニ付テハ議員ノ旅費手當ヲ除ク外開會地府縣ノ負擔トス

第二十一條 地方森林會ニ於テ裁決ニ關シ要スル費用中左ニ掲クルモノハ府縣ニ於テ起業者ヨリ之ヲ徵收ス

一 鑑定人及事實參考人ノ旅費及手當

三 裁決書謄本ノ調製費

三 郵便及電信料

四 備人料

五 其ノ他農商務大臣ノ指定シタルモノ

第二十二條 前條ノ規定ハ第二十三條ノ規定ニ依リ地方森林會ノ裁決ヲ

取消シタル場合ニ於テ更ニ開クヘキ地方森林會ニ要スル費用ニ付之ヲ

適用セス

第二十三條 地方森林會カ其ノ權限ヲ超エ又ハ法令ノ規定ニ違反シテ爲

シタル決議及裁決ハ農商務大臣之ヲ取消スコトヲ得

第二十四條 地方森林會ハ會務處理ノ爲必要ナル規則ヲ議定シ農商務大

臣ニ報告スヘシ

前項ノ規則ニ對シ農商務大臣ハ更正ヲ命スルコトヲ得

第二十五條 故ナク鑑定人タルコトヲ拒ミタル者又ハ鑑定人カ故ナク鑑

定ヲ爲スコトヲ拒ミタルトキハ四十圓以下ノ罰金又ハ二圓以上ノ科料

ニ處ス

第二十六條 鑑定人トシテ地方森林會ニ呼出サレタル者詐僞ノ陳述ヲ爲

シタルトキハ一年以下ノ懲役ニ處ス賄賂其ノ他ノ方法ヲ以テ人ニ囑託

シテ詐僞ノ鑑定ヲ爲サシメタル者亦同シ

第二十七條 鑑定人又ハ事實參考人故ナク出頭セザルトキハ二圓以上ノ

科料ニ處ス

附 則

本令ハ森林法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ地方森林會議員タル者ハ本令ニ依リ各其ノ職ヲ命セラ

レタルモノト看做ス但シ其ノ任期ハ前後通算ス

(參 照)

三重地方森林會會議規則

第一條 議員開會期日ニ出席スルコト能ハサルトキハ其旨議長ニ届出ツヘシ

第二條 會議ハ午前九時ニ始マリ午後三時ニ終ル但シ時宜ニ依リ議長之ヲ伸縮スルコト

ヲ得

第三條 議員ノ席次ハ開會毎ニ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 地方森林會規則第十條ニ該當スル議員ハ其ノ旨議長ニ届出ツヘシ

第五條 會議ハ議員ノ半數以上出席スルニアラサレハ開クコトヲ得ス

第六條 議事ハ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第七條 發言セントスルモノハ議長ノ許可ヲ受クヘシ
 第八條 議事録ニハ議事ノ要項ヲ掲ケ議長及議員一名署名スヘシ其ノ議員ハ會議ノ始ニ於テ議長之ヲ指命ス

○地方森林會ニ於テ裁決ニ關シ要スル

費用算定規程

明治四十一年九月
 縣令第八十七號

第一條 鑑定人及事實參考人ノ旅費ハ左ノ額ニ依ル但シ官職アルモノハ其ノ官職相當ノ旅費額トス

瀛車賃	船賃	車馬賃	宿泊料	日當	食卓料
一哩ニ付	一海里ニ付	一里ニ付	一夜ニ付	一日ニ付	一日ニ付
四錢	四錢	拾五錢	壹圓	五拾錢	七拾錢

第二條 鑑定人及事實參考人ノ手當ハ一日五圓以內ニ於テ知事ノ定ムル所ニ依ル

第三條 裁決書謄本ノ調製費ハ一通ニ付金參拾錢トス

第四條 郵便料、電信料、傭人料及其他農商務大臣ノ指定セラレタルモノノ費用ハ其ノ實費ニ依ル

○立木ニ關スル法律

明治四十二年四月
 法律第二十二號

第一條 本法ニ於テ立木ト稱スルハ一筆ノ土地又ハ一筆ノ土地ノ一部分ニ植栽ニ依リ生立セシメタル樹木ノ集團ニシテ其ノ所有者カ本法ニ依リ所有權保存ノ登記ヲ受ケタルモノヲ謂フ

第二條 立木ハ之ヲ不動産ト看做ス

立木ノ所有者ハ土地ト分離シテ立木ヲ讓渡シ又ハ之ヲ以テ抵當權ノ目的ト爲スコトヲ得

土地所有權又ハ地上權ノ處分ノ効力ハ立木ニ及ハス

第三條 立木ノ所有者ハ立木カ抵當權ノ目的タル場合ニ於テモ當事者ノ協定シタル施業方法ニ依リ其ノ樹木ヲ採取スルコトヲ妨ケス

第四條 立木ヲ目的トスル抵當權ハ前條ノ規定ニ依ル採取ノ場合ヲ除クノ外其ノ樹木カ土地ヨリ分離シタル後ト雖其ノ樹木ニ付之ヲ行フコトヲ得

抵當權者ハ債權ノ期限ノ到來前ト雖前項ノ樹木ヲ競賣スルコトヲ得但シ其ノ競賣代金ハ之ヲ供託スヘシ

樹木ノ所有者ハ競賣ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ相當ノ擔保ヲ供託シテ競賣ノ免除ヲ申出ツルコトヲ得
 樹木ノ所有者ハ抵當權者ニ對シテ一箇月以上ノ期間ヲ定メ競賣ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スルコトヲ得若シ抵當權者カ其ノ期間内ニ競賣ヲ爲ササルトキハ其ノ樹木ニ付抵當權ヲ行フコトヲ得ス
 第一項ノ規定ハ民法第百九十二條乃至第百九十四條ノ規定ノ適用ヲ妨ケス

(參照)

民法

第百九十二條 平穩且公然ニ動産ノ占有ヲ始メタル者カ善意ニシテ且過失ナキトキハ即時ニ其ノ動産ノ上ニ行使スル權利ヲ取得ス

第百九十三條 前條ノ場合ニ於テ占有物カ盜品又ハ遺失物ナルトキハ被害者又ハ遺失主ハ盜難又ハ遺失ノ時ヨリ二年間占有者ニ對シテ其物ノ回復ヲ請求スルコトヲ得

第百九十四條 占有者カ盜品又ハ遺失物ヲ競賣若クハ公ノ市場ニ於テ又ハ其物ト同種ノ物ヲ販賣スル商人ヨリ善意ニテ買受ケタルトキハ被害者又ハ遺失主ハ占有者カ拂ヒタル代價ヲ辨償スルニ非サレハ其物ヲ回復スルコトヲ得ス

第五條 立木カ土地ノ所有者ニ屬スル場合ニ於テ其ノ土地又ハ立木ノミ

カ抵當權ノ目的タルトキハ抵當權設定者ハ競賣ノ場合ニ付地上權ヲ設定シタルモノト看做ス但シ其ノ存續期間及地代ハ當事者ノ請求ニ依リ地方ノ慣習ヲ斟酌シテ裁判所之ヲ定ム

第六條 立木カ地上權者ニ屬スル場合ニ於テ其ノ地上權又ハ立木ノミカ抵當權ノ目的タルトキハ抵當權設定者ハ競賣ノ場合ニ付地上權ノ存續期間内ニ於テ其ノ土地ノ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス但シ其ノ存續期間及借貸ニ付テハ前條但書ノ規定ヲ準用ス
 前項ノ場合ニ於テ地上權ノ存續期間ノ定ナキトキハ其ノ期間ハ當事者又ハ賃借人ノ請求ニ依リ地方ノ慣習ヲ斟酌シテ裁判所之ヲ定ム
 民法第百四條及第百十二條ノ規定ハ第一項ノ賃貸借ニ之ヲ適用セ

(參照)

民法

第六百四條 賃貸借ノ存續期間ハ二十年ヲ超ユルコトヲ得ス若シ之ヨリ長キ期間ヲ以テ賃貸借ヲ爲シタルトキハ其ノ期間ハ之ヲ二十年ニ短縮ス

前項ノ期間ハ之ヲ更新スルコトヲ得但更新ノ時ヨリ二十年ヲ超ユルコトヲ得ス
 第六百十二條 賃借人ハ賃貸人ノ承諾アルニ非サレハ其權利ヲ讓渡シ又ハ賃貸物ヲ轉貸

スルコトヲ得ス
賃借人カ前項ノ規定ニ反シ第三者ヲシテ賃借物ノ使用又ハ收益ヲ爲サシメタルトキハ
賃借人ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

第七條 前條ノ規定ハ轉貸ヲ爲スコトヲ得ル土地ノ賃借人ニ屬スル立木
カ抵當權ノ目的タル場合ニ之ヲ準用ス

第八條 地上權者又ハ土地ノ賃借人ニ屬スル立木カ抵當權ノ目的タル場
合ニ於テハ地上權者又ハ賃借人ハ抵當權者ノ承諾アルニ非サレハ其ノ
權利ヲ拋棄シ又ハ契約ヲ解除スルコトヲ得ス

第九條 立木カ抵當權ノ目的タル場合ニ於テ其ノ所有者カ樹木ノ運搬ノ
爲土地ヲ使用スル權利ヲ有スルトキハ立木ノ競落人ハ其ノ權利ヲ行使
スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ相當ノ對價ヲ支拂フヘシ

第十條 第二條第三項及第三條乃至第九條ノ規定ハ先取特權ニ之ヲ準用
ス

第十一條 土地又ハ地上權カ質權ノ目的タル場合ニ於テハ其ノ土地ニ生
立スル樹木ニ付所有權保存ノ登記ヲ爲スコトヲ得ス

第十二條 各登記所ニ立木登記簿ヲ備フ

不動産登記法第十四條第二項及第十九條ノ規定ハ前項ノ登記簿ニ之ヲ
準用ス

(參照)

不動産登記法

第十四條 登記簿ハ土地登記簿及建物登記簿ノ二種トス

各種ノ登記簿ハ市ニ付テハ從前ノ區劃ニ從ヒ別冊ト爲シ町村ニ付テハ町村毎ニ別冊ト
爲ス但登記事件夥多ナル町村ニ付テハ大字其他從前ノ區劃ニ從ヒ別冊ト爲スコトヲ得

第十九條 土地登記簿及建物登記簿ニ付各其見出帳ヲ設ク

第十三條 立木登記簿ハ一個ノ立木ニ付一用紙ヲ備フ

第十四條 立木登記簿ハ其ノ一用紙ヲ登記番號欄、表題部及甲乙ノ二區
ニ分チ表題部ニ表示欄、表示番號欄ヲ設ケ各區ニ事項欄、順位番號欄
ヲ設ク

登記番號欄ニハ各立木ニ付登記簿ニ始テ登記ヲ爲シタル順序ヲ記載ス
表示欄ニハ立木ノ表示ヲ爲シ及其ノ變更ニ關スル事項ヲ記載シ表示番
號欄ニハ表示欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス
甲區事項欄ニハ所有權ニ關スル事項ヲ記載ス

九〇
乙區事項欄ニハ先取特權及抵當權ニ關スル事項ヲ記載ス
順位番號欄ニハ事項欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス
第十五條 登記ノ申請書ニハ不動産登記法第三十六條ニ掲ケタル事項ノ
外左ノ事項ヲ記載スヘシ

(參照)

不動産登記法

第三十六條 申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申請人之ニ署名、捺印スルコトヲ要ス

- 一 不動産所在ノ郡、市、區、町、村字及土地ノ番號
- 二 地目及ヒ段別又ハ坪數
- 三 申請人ノ氏名、住所若シ申請人カ法人ナルトキハ其名稱及事務所
- 四 代理人ニ依リテ登記ヲ申請スルトキハ其氏名、住所
- 五 登記原因及其ノ日附
- 六 登記ノ目的
- 七 登記所ノ表示
- 八 年月日

一 樹木カ一筆ノ土地ノ一部分ニ生立スル場合ニ於テハ其ノ部分ノ位
置及段別、其ノ部分ヲ表示スヘキ名稱又ハ番號アルトキハ其ノ名
稱又ハ番號

二 樹種、數量及樹齡

第十六條 不動産登記法第六條及第七條ノ規定ハ所有權保存ノ登記
ニ之ヲ準用ス

(參照)

不動産登記法

第六條 未登記ノ建物所有權ノ登記ハ左ニ掲ケタル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

- 一 建物ノ敷地ノ所有者又ハ地上權者トシテ登記簿ニ記載セラレタル者
 - 二 土地臺帳謄本ニ依リ自己又ハ被相續人カ土地臺帳ニ敷地ノ所有者トシテ登録セラ
レタルコトヲ證スル者
 - 三 既登記ノ敷地ノ所有者又ハ地上權者ノ證明書ニ依リ自己ノ所有權ヲ證スル者
 - 四 判決其他官廳又ハ公署ノ書面ニ依リ自己ノ所有權ヲ證スル者
- 第七條 前二條ノ規定ニ從ヒテ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ第一百五條第何號
又ハ前條第何號ニ依リテ登記ヲ申請スル旨ヲ記載シ必要ナル證明書類ヲ添附シ前條ノ
規定ニ依ル申請ニ付テハ圖面ヲ添付スルコトヲ要ス但登記原因及其日附ヲ記載シ又ハ
第三十五條第二號乃至第四號ニ掲ケタル書面ヲ添付スルコトヲ要セス

第十七條 所有權保存ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ其ノ保存登記ニ付土
地ノ登記簿上利害ノ關係ヲ有スル第三者アルトキハ申請書ニ其ノ承諾
書又ハ之ニ代ルヘキ裁判ノ謄本ヲ添付スヘシ

第十八條 既登記ノ土地ニ生立スル樹木ニ付所有權保存ノ登記ノ申請アリタル場合ニ於テ土地ノ登記用紙中土地又ハ地上權ヲ目的トスル先取特權又ハ抵當權ノ登記アルトキハ立木登記簿ニ其ノ登記ヲ轉寫スヘシ但シ其ノ登記ニ抵當權カ樹木ニ及ハサル旨ノ記載アルトキハ此ノ限ニ在ラス

不動産登記法第八十三條第一項及第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

(參照)

不動産登記法

第八十三條 前條第一項ノ場合ニ於テハ乙地ノ登記用紙中相當區事項欄ニ甲地ノ登記用紙ヨリ所有權其他ノ權利ニ關スル登記ヲ轉寫シ且所有權以外ノ權利ニ關スル登記中ニ甲地ト共ニ其權利ノ目的タル旨、申請書受附ノ年月日及受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

甲地ノ登記用紙ヨリ乙地ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利ニ關スル登記ヲ轉寫シタルトキハ甲地ノ登記用紙中其權利ニ關スル登記ニ乙地ト共ニ其權利ノ目的タル旨ヲ附記スルコトヲ要ス

第十九條 既登記ノ土地ニ生立スル樹木ニ付所有權保存ノ登記ヲ爲シタルトキハ土地ノ登記用紙中表示欄ニ立木ノ登記番號ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ立木ノ區分ノ登記ヲ爲シタルトキ又ハ立木ノ存スル土地ニ付所有權保存ノ登記ヲ爲シタルトキ亦同シ

立木ノ登記用紙ヲ閉鎖シタルトキハ前項ノ規定ニ依リ記載シタル登記番號ヲ朱抹シ登記官吏捺印スヘシ

第二十條 立木ノ分合若ハ滅失アリタルトキ又ハ第十五條第一號及第二號ニ掲ケタル事項ニ變更アリタルトキハ所有權ノ登記名義人ハ遲滯ナク其ノ登記ヲ申請スヘシ但シ樹木ノ發生若ハ成長又ハ第三條ノ施業方法ニ依ル變更ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

立木ノ存スル土地ノ地目、字、番號又ハ段別ニ變更アリタルトキ亦前項ニ同シ
不動産登記法中建物ノ滅失及其ノ表示ノ變更ノ登記ニ關スル規定ハ前二項ノ登記ニ之ヲ準用ス

第二十一條 立木ヲ目的トスル抵當權設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ不動産登記法第十七條ニ掲ケタル事項ノ外施業方法ヲ記載スヘシ

(參照)

不購產登記簿

第三百七條 抵當權ノ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權額ヲ記載シ若シ登記原因ニ辨濟期ノ定アルトキ、利息ニ關スル定アルトキ、其發生期若ハ支拂時期ノ定アルトキ、債權ニ條件ヲ附シタルトキ又ハ民法第三百七十條但書ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(明治四十三年五月勅令第二百二十一號) (ヲ以テ本法ハ同年五月二十日ヨリ施行)

○立木ノ先取特權ニ關スル法律

明治四十三年四月 法律第五十六號

他人ノ土地ノ上ニ立木ヲ有スル者カ土地ノ所有者ニ對シ樹木伐採ノ時期ニ於テ其ノ樹木ノ價格ニ對スル一定ノ割合ノ地代ヲ支拂フヘキ契約ヲ爲シタルトキハ土地ノ所有者ハ地代ニ付其ノ立木ノ上ニ先取特權ヲ有ス
前項ノ先取特權ハ他ノ權利ニ對シテ優先ノ効力ヲ有ス但シ民法第三百二十九條第二項但書ノ適用ヲ妨ケス
(參照)

民法

第三百二十九條 一般ノ先取特權カ互ニ競合スル場合ニ於テハ其優先權ノ順位ハ第三百六條ニ掲ケタル順序ニ從フ

一般ノ先取特權ト特別ノ先取特權ト競合スル場合ニ於テハ特別ノ先取特權ハ一般ノ先取特權ニ先ツ但共益費用ノ先取特權ハ其ノ利益ヲ受ケタル總債權者ニ對シテ優先ノ効力ヲ有ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(明治四十三年五月勅令第二百二十二號) (ヲ以テ本法ハ同年五月二十日ヨリ施行)

○立木登記規則

明治四十三年四月二十六日司法省令第五號 改正大正元年八月同第一號

第一條 明治四十二年法律第二十二號ニ依ル立木ノ登記ニ付テハ本令ニ別段ノ定アルモノヲ除クノ外不動産登記法施行細則ノ規定ニ依ル
第二條 立木登記簿ハ附錄第一號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第三條 立木共同人名簿ハ附錄第二號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ
第四條 立木登記見出帳ハ附錄第三號雛形ニ依リテ之ヲ調製スヘシ

第五條 立木登記見出帳ニハ豫メ一ノ部ヨリ九ノ部マテヲ設ケ置キ登記用紙ニ登記番號ヲ記載スル毎ニ立木ノ存スル土地ノ番號ノ頭字ニ依リ相當ノ部ニ其ノ土地ノ番號、登記用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及登記番號ヲ記入シ若樹木ノ生立スル部分ヲ表示スヘキ名稱又ハ番號アルトキハ其ノ名稱又ハ番號ヲモ記入スヘシ但シ立木ノ存スル土地カ二箇以上ノ番號ヲ有スルトキハ其ノ少ナキ番號ノ部ニノミ記入スヘシ既登記ノ地上權者ノ申請ニ因リ立木ニ付所有權保存ノ登記ヲ爲シタル場合ニ於テハ前項ノ外其ノ地上權ノ順位番號ヲモ記入スヘシ

第六條 第四條ニ定メタル雛形ノ見出帳ヲ使用スルヲ不便トスル地方ニ在リテハ地方裁判所長ハ特別ノ見出帳ヲ調製セシムルコトヲ得前項ノ見出帳ノ雛形、之ヲ用ウヘキ登記所及其ノ記入手續ニ付テハ豫メ司法大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第七條 不動産登記法施行細則第三十條及第三十一條ノ規定ハ立木登記簿ノ謄本若ハ抄本ノ交付又ハ立木登記簿若ハ附屬書類ノ閱覽ノ請求ニ之ヲ準用ス但シ樹木ノ生立スル部分ヲ表示スヘキ名稱又ハ番號アルトキハ申請書ニ其ノ名稱又ハ番號ヲモ記載スヘシ

第八條 樹木ノ數量ハ材積及本數ヲ記載スヘシ但シ三十年生以下ノ樹木ニ在リテハ本數ヲ記載スルヲ以テ足ル材積ノ單位、呼稱及測定方法ハ各地方ノ慣習ニ從フ

第九條 一集團ニ二種以上ノ樹木生立スル場合ニ於テハ各種毎ニ材積及本數ヲ記載スヘシ

第十條 樹齡ハ一集團ニ年齡ノ異ナル樹木ノ生立スル場合ニ於テハ何年生以上何年生以下ト記載スルヲ以テ足ル

第十一條 樹種、數量及樹齡ヲ申請書ニ記載スル場合ニ於テハ之ヲ調査シタル年度ヲ記載スヘシ

第十二條 既登記ノ地上權者カ立木ニ付所有權保存ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ地上權ノ順位番號ヲ記載スヘシ

第十三條 登記ノ申請書ニ添附スヘキ圖面ハ附録第四號雛形ニ準シテ調製シ之ニ左ノ事項ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ

- 一 立木所在ノ郡、市、區、町村、字及土地ノ番號
- 二 地目及段別
- 三 樹木カ一筆ノ土地ノ一部分ニ生立スル場合ニ於テハ其ノ部分ノ位

置及段別、其ノ部分ヲ表示スヘキ名稱又ハ番號アルトキハ其ノ名稱又ハ番號

四 立木ノ存スル土地又ハ土地ノ部分ノ境界ニ道路、河川、湖海、沼池其ノ他境界ノ目標タルヘキモノアルトキハ其ノ名稱及位置

五 隣接地ノ番號並地目及其ノ所有者ノ氏名

六 立木カ一筆ノ土地ノ一部分ニ存スル場合ニ於テハ其ノ部分ニ隣接スル他ノ部分ノ表示

七 隣接スル土地又ハ土地ノ部分ニ生立スル樹木ノ所有者カ土地ノ所有者ト異ナルトキハ其ノ樹木ノ所有者ノ氏名

第十四條 市區町村ニ地方長官ノ認可ヲ得テ作製シタル立木ニ關スル實測圖面及公簿ノ備アルトキハ登記ノ申請書ニ其ノ圖面及公簿ノ謄本ヲ添附スヘシ但シ此ノ圖面ハ前條ニ掲ケタル事項ヲ具備スルコトヲ要ス

第十四條ノ二 登記所カ市區町村ヨリ實測圖面ノ謄本ノ送付ヲ受ケタルトキハ便宜整理シ永久ニ之ヲ保存スヘシ

第十五條 抵當權設定ノ登記ノ申請書ニ記載スヘキ施業方法カ詳密ニ涉ルトキハ申請書ノ記載ニ代ヘ其ノ方法ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第十六條 前條ノ添附書面ニハ申請人之ニ署名捺印シ且其ノ書面カ數葉ニ涉ルトキハ每葉ノ綴目ニ契印スヘシ但シ登記權利者又ハ登記義務者カ多數ナルトキハ其ノ一人ノ署名捺印又ハ契印ヲ以テ足ル

第十七條 第十五條ノ添附書面ハ受附番號ノ順序ニ依リテ之ヲ編綴シ且之ニ丁數ヲ附スヘシ

第十八條 第十五條ノ場合ニ於テ登記官吏カ乙區事項欄ニ抵當權設定ノ登記ヲ爲ストキハ施業方法ヲ記載シタル添附書面ノ提出アリタル旨ヲ記載シ登記ノ末尾ニ其ノ書面ノ綴込帳ノ冊數及丁數ヲ記載シ且添附書面ニ申請書受附ノ年月日、受附番號、登記番號及順位番號ヲ記載スヘシ

前項ノ記載ヲ爲シタルトキハ添附書面ニ掲ケタル施業方法ハ乙區事項欄ニ記載セラレタルモノト看做ス

第十九條 添附書面ニ掲ケタル施業方法ノ變更ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ變更ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第二十條 第十六條乃至第十八條ノ規定ハ前條ノ登記ニ之ヲ準用ス

第二十一條 登記官吏カ添附書面ニ掲ケタル施業方法ノ變更ノ登記ヲ爲

番號		立木共同人名簿										番號			
申請人、氏名		持分		申請人、氏名		持分		申請人、氏名		持分		申請人、氏名		持分	
豫備															
豫備															

立木共同人名簿

丁

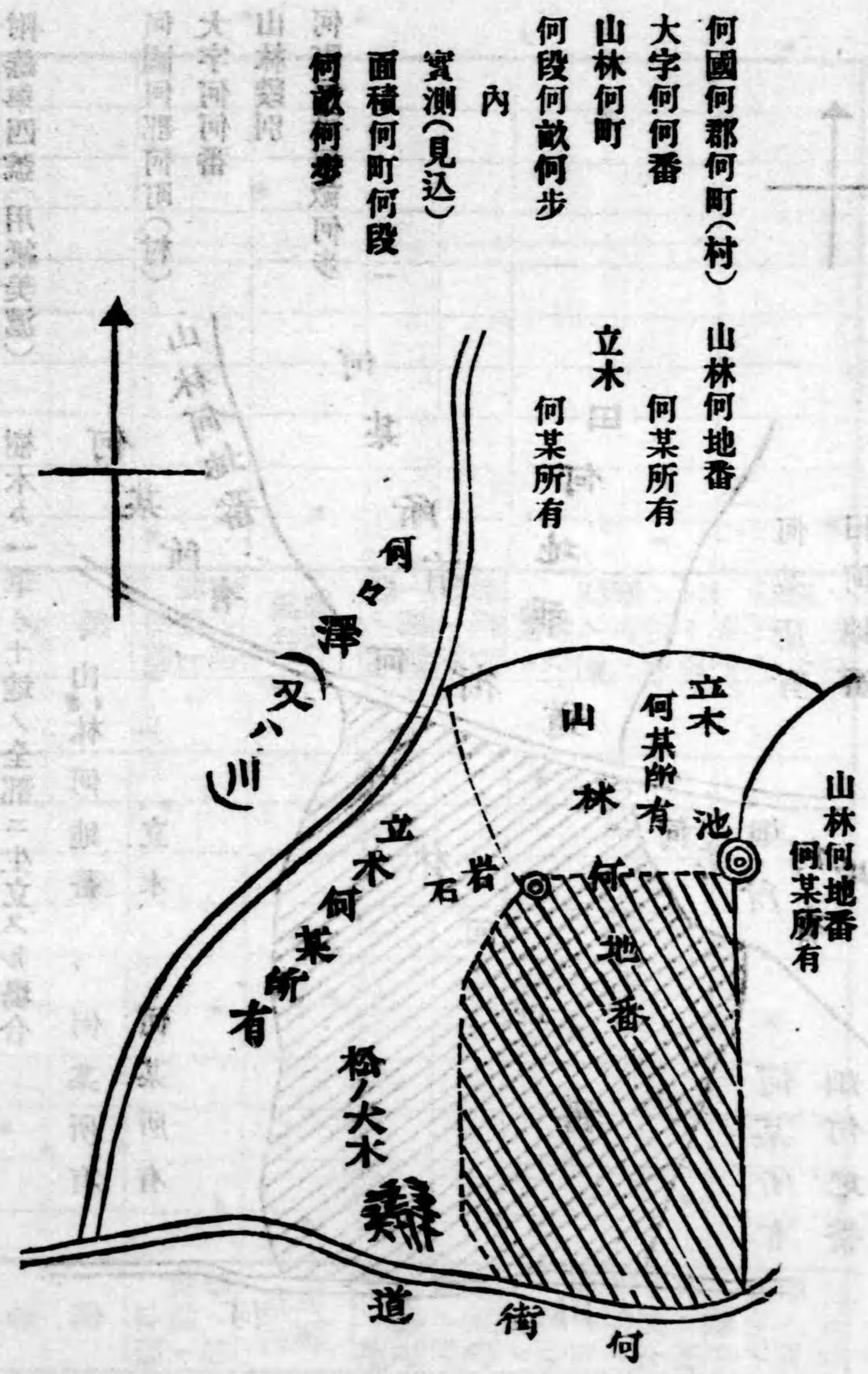
附錄第三號		立木登記見出帳										區裁判所	
豫備													
豫備													

附錄第三號

立木登記見出帳

區裁判所

樹木カ一筆ノ土地ノ一部分ニ生立スル場合 (實測ナレハ縮尺何分ノ一)



○森林組合令

明治四十年十二月
勅令第三百四十八號

第一條 本令ニ於テ組合ト稱スルハ森林法第五章ニ依リ設立スル森林組合ヲ謂フ

第二條 組合ハ其ノ名稱中ニ森林組合ナル文字ヲ用ウヘシ

第三條 組合ノ住所ハ其ノ主タル事務所ノ所在地ニ在ルモノトス

第四條 組合ノ定款ニハ森林法及本令ニ規定アルモノノ外左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 役員ニ關スル規定
- 二 會議ニ關スル規定
- 三 組合員ノ議決權ニ關スル規定
- 四 財産ノ管理又ハ處分ノ方法ヲ定メタルトキハ其ノ方法
- 五 組合員ノ義務ニ違反セル場合ニ於ケル違約金ニ關スル規定ヲ定メタルトキハ其ノ規定
- 六 森林ノ主伐收益ヲ爲ス組合ニ在リテハ立竹木ノ權利及產物ノ處分並収益分配ニ關スル規定

第五條 定款ノ變更ハ總會ノ決議ニ依ルヘシ
前項ノ總會ニハ總組合員ノ三分ノ二以上ニシテ總議決權ノ三分ノ二以上ニ當ル組合員ノ出席アルコトヲ要ス

第六條 組合設立ノ登記ハ其ノ設立ノ日ヨリ二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ之ヲ爲スヘシ

登記スヘキ事項左ノ如シ
一 森林法第六十八條第一項ニ掲クル事項
二 設立許可ノ年月日

三 理事及監事ノ氏名、住所

前項ニ掲クル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ二週間内ニ其ノ登記ヲ爲スヘシ登記前ニ在リテハ其ノ變更ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第七條 民法第四十五條第三項及第四十八條ノ規定ハ之ヲ組合ニ準用ス但シ同規定中一週間ノ期間ハ之ヲ二週間トス

(參照)

民法

第四十五條第三項 法人設立ノ後新ニ事務所ヲ設ケタルトキハ一週間内ニ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第四十八條 法人カ其事務所ヲ移轉シタルトキハ舊所在地ニ於テハ一週間内ニ移轉ノ登記ヲ爲シ新所在地ニ於テハ同期間内ニ第四十六條第一項ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ要ス

同一ノ登記所ノ管轄區域内ニ於テ事務所ヲ移轉シタルトキハ其移轉ノミノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第八條 前二條ニ依リ登記スヘキ事項ニシテ官廳ノ許可又ハ認可ヲ要スルモノニ付テハ其ノ許可書又ハ認可書ノ到達シタル時ヨリ登記ノ期間ヲ起算ス

第九條 森林法又ハ之ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ組合員タル森林所有者ニ於テ又ハ之ニ對シテ爲スヘキ手續其ノ他ノ行爲ニシテ其ノ組合ノ事業ニ關スルモノニ付テハ其ノ組合ハ組合員ヲ代表ス

第十條 森林所有者ノ承繼人ハ其ノ承繼シタル權利ノ限度ニ於テ被承繼人カ組合員トシテ有スル權利義務ヲ承繼ス

前項ノ規定ハ新ニ森林法第二條ニ依リ森林所有者ト爲リタル者又ハ其ノ權利消滅ニ因リテ森林所有者タルモノニ之ヲ準用ス
前二項ノ場合ニ於テハ組合ニ通知ヲ爲スニ非サレハ權利義務ノ承繼ヲ以テ組合ニ對抗スルコトヲ得ス

第一項及第二項ノ規定ニ依リ利益ヲ受ケタル者ハ損失ヲ受ケタル者ニ對シ其ノ利益ノ限度ニ於テ之ヲ補償スヘシ

第十一條 組合員ニ於テ地區内ノ森林ヲ森林以外ノ土地ト爲シタルトキ又ハ地區内ニ於ケル森林以外ノ土地ヲ新ニ森林ト爲シタルトキハ組合員ニ之ヲ通知スヘシ

第十二條 組合員カ地區内ノ森林ヲ森林以外ノ土地ト爲シタルトキニ於テ組合員ト該組合員トノ間ノ計算ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム
地區ヲ減少セル場合ニ於テ其ノ減少セル區域内ノ森林ノ屬スル組合員ト組合員トノ間ノ計算ニ付テモ亦前項ニ同シ

第十三條 組合員ハ定款及總會ノ決議録ヲ各事務所ニ備置クヘシ
組合員ハ組合員名簿、財産目錄、事業報告書及決算書ヲ主タル事務所ニ備置クヘシ
事業ノ計劃書、設計書、貸借對照表、事業成績書又ハ損益分配計算書ヲ作成シタル場合ニ於テハ其ノ書類ニ付亦前項ニ同シ
前三項ノ書類ノ記載事項ニ變更アリタルトキハ遲滯ナク之ヲ訂正スヘシ

第十四條 組合員ハ組合員ヨリ前條ノ書類ノ閲覧ヲ求メタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス組合員ノ債權者其ノ他利害關係ヲ有スル者事業計劃書、設計書及事業成績書ヲ除クノ外前條ノ書類ノ閲覧ヲ求メタルトキ亦同シ

第十五條 組合員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 組合員ノ氏名又ハ名稱及住所
- 二 組合員ニ屬スル森林ノ所在、地番及面積
- 三 森林法第二條ニ依ル森林所有者ニ付テハ其ノ權利ノ種類及存續期間

- 四 組合員ノ出資又ハ費用分擔ノ割合
- 五 森林ノ主伐收益ヲ爲ス組合員ニ在リテハ組合員ニ對スル收益分配ノ割合

第十六條 左ニ掲クル事項ハ總會ノ決議ヲ經ヘシ但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

- 一 經費ノ收支豫算
- 二 起債
- 三 重要ナル權利ノ處分

四 事業ノ計劃、設計

五 每事業年度ニ於ケル事業ノ豫定

第十七條 組合ニハ理事及監事ヲ置クヘシ

理事及監事ハ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス但シ組合設立當時ノ

理事及監事ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム

監事ハ理事又ハ事務員ト相兼スルコトヲ得ス

民法施行法第二十七條ノ規定ハ組合ノ理事及監事ニ之ヲ準用ス

(參照)

民法施行法

第二十七條 剝奪公權者及ヒ停止公權者ハ法人ノ理事、監事又ハ清算人タルコトヲ得ス

第十八條 理事ノ任期ハ三年以内ニ於テ監事ノ任期ハ一年以内ニ於テ定

款ヲ以テ之ヲ定ム但シ任期満了ノ時ニ於テ再選ヲ妨ケス

第十九條 理事及監事ハ何時ニテモ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ解任スルコト

ヲ得

第二十條 第五條第二項ノ規定ハ理事及監事ノ選任ノ場合並解任ノ決議

ニ之ヲ準用ス

第二十一條 民法第四十四條第一項ノ規定ハ組合ニ、同法第五十二條第
二項、第五十三條乃至第五十五條ノ規定ハ組合ノ理事ニ、同法第五十
九條ノ規定ハ組合ノ監事ニ之ヲ準用ス

(參照)

民法

第四十四條 法人ハ理事其他ノ代理人カ其職務ヲ行フニ付キ他人ニ加ヘタル損害ヲ賠
償スル責ニ任ス

(第二項略ス)

第五十二條第二項 理事數人アル場合ニ於テ定款又ハ寄附行爲ニ別段ノ定ナキトキハ

法人ノ事務ハ理事ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第五十三條 理事ハ總會ヲ法人ノ事務ニ付キ法人ヲ代表ス但定款ノ規定又ハ寄附行爲ノ

趣旨ニ違反スルコトヲ得ス又社團法人ニ在リテハ總會ノ決議ニ從フコトヲ要ス

第五十四條 理事ノ代理權ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ
得ス

第五十五條 理事ハ定款、寄附行爲又ハ總會ノ決議ニ依リテ禁止セラレサルトキニ限
リ特定ノ行爲ノ代理ヲ他人ニ委任スルコトヲ得

第五十九條 監事ノ職務左ノ如シ

- 一 法人ノ財産ノ状況ヲ監査スルコト
- 二 理事ノ業務執行ノ状況ヲ監査スルコト
- 三 財産ノ状況又ハ業務ノ執行ニ付キ不整ノ廉アルコトヲ發見シタルトキハ之ヲ總會又ハ主務官廳ニ報告スルコト
- 四 前號ノ報告ヲ爲ス爲メ必要アルトキハ總會ヲ招集スルコト

第二十二條 組合ト理事トノ利益相反スル事項ニ付テハ監事組合ヲ代表ス

理事缺ケタルトキ又ハ其ノ職務ヲ行フコト能ハサルトキハ監事其ノ職務ヲ行フ但シ其ノ期間ハ三月ヲ超ユルコトヲ得ス

前項ノ規定ニ依リ理事ノ職務ヲ行フ者ナキトキハ地方長官ハ組合員中ヨリ假理事ヲ選任シ理事ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

第二十三條 組合ハ少クトモ毎事業年度一回組合員ノ通常總會ヲ開クヘシ臨時總會ハ何時ニテモ之ヲ招集スルコトヲ得

通常總會ハ財産目錄、事業報告書及決算書ヲ調査ス貸借對照表及事業成績書ヲ作成スル組合ニ在リテハ其ノ書類ニ付亦同シ

前項ノ書類ハ通常總會ノ日ヨリ一週間前監事ニ提出スヘシ

第二十四條 總組合員ノ五分ノ一以上ニシテ總議決權ノ五分ノ一以上ニ

當ル組合員カ會議ノ目的タル事項ヲ示シ總會ノ招集ヲ請求シタルトキハ組合ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第二十五條 民法第六十二條、第六十四條及第六十六條ノ規定ハ組合ノ總會ニ之ヲ準用ス

(參照)
民法

第六十二條 總會ノ招集ハ少クトモ五日前ニ其ノ會議ノ目的タル事項ヲ示シ定款ニ定メタル方法ニ從ヒテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第六十四條 總會ニ於テハ第六十二條ノ規定ニ依リテ豫メ通知ヲ爲シタル事項ニ付テノミ決議ヲ爲スコトヲ得但定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十六條 社團法人ト或社員トノ關係ニ付キ議決ヲ爲ス場合ニ於テハ其社員ハ表決權ヲ有セス

第二十六條 總會ノ決議ハ本令又ハ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席シタル組合員ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス

各組合員ノ議決權ハ一箇以上トス但シ議決權總數ノ五分ノ二ヲ超ユルコトヲ得ス

第二十七條 組合員ハ書面又ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ

場合ニ於テハ之ヲ出席ト看做ス

代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ差出スヘシ

第一項ノ規定ハ定款ニ別段ノ定アル場合ニ之ヲ適用セス

第二十八條 組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總會ニ代ルヘキ總會ヲ設ク

ルコトヲ得

各總代ノ議決權ハ其ノ代表セル組合員ノ有スル議決權ノ數ニ依ル

總會ニ關スル規定ハ前項ノ總代會ニ之ヲ準用ス但シ總會ニ於テハ解

散又ハ合併ノ決議ヲ爲スコトヲ得ス

第二十九條 組合ノ事業年度ハ一年トス但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ

此ノ限ニ在ラス

第三十條 組合ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス

一 定款ニ定メタル事由ノ發生

二 總會ノ決議

三 合併

四 破産

五 監督官廳ノ處分

第三十一條 合併及解散ノ決議ハ總會ニ於テ總組合員ノ三分ノ二以上出

席シ總議決權ノ三分ノ二以上ノ同意アルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得

ス

合併及解散ノ決議ハ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其効力ヲ生セ

ス

第三十二條 組合カ合併ノ決議ヲ爲シタルトキハ其ノ決議ノ日ヨリ二週

間内ニ財産目録及貸借對照表ヲ作ルヘシ

組合ハ前項ノ期間内ニ其ノ債權者ニ對シ異議アラハ一定ノ期間内ニ之

ヲ述フヘキ旨ヲ公告シ且知レタル債權者ニハ各別ニ之ヲ催告スヘシ但

シ其ノ期間ハ二月ヲ下ルコトヲ得ス

第三十三條 債權者ハ前條第二項ノ期間内ニ合併ニ對シテ異議ヲ述ヘサ

リシトキハ之ヲ承認シタルモノト看做ス

債權者カ異議ヲ述ヘタルトキハ組合ハ之ニ辨濟ヲ爲シ又ハ相當ノ擔保

ヲ供スルニ非サレハ合併ヲ爲スコトヲ得ス

第三十四條 組合カ解散シタルトキハ組合ハ合併及破産ノ場合ヲ除クノ

外二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ清算人ノ氏名、住所及解散ノ原

因、年月日ノ登記ヲ爲シ且合併ノ場合ヲ除クノ外之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

清算中ニ就職シタル清算人アルトキハ組合ハ其ノ就職後二週間内ニ其ノ氏名、住所ノ登記ヲ爲シ且之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

前二項ニ依リ登記シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ組合ハ二週間内ニ其ノ登記ヲ爲シ且之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第三十五條 組合カ合併ヲ爲シタルトキハ二週間内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ合併後存続スル組合ニ付テハ變更ノ登記ヲ爲シ、合併ニ因リテ消滅シタル組合ニ付テハ解散ノ登記ヲ爲シ、合併ニ因リテ設立シタル組合ニ付テハ設立ノ登記ヲ爲スヘシ

合併後存続スル組合又ハ合併ニ因リテ設立シタル組合ハ合併ニ因リテ消滅シタル組合ノ權利義務ヲ承継ス

第三十六條 組合カ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサルニ至リタルトキハ裁判所ハ組合若ハ債權者ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破産ノ宣告ヲ爲ス

前項ノ場合ニ於テ組合ハ直ニ破産宣告ノ請求ヲ爲スヘシ

第三十七條 清算人ハ就職後遲滞ナク財産ノ現況ヲ調査シ財産目録及貸借對照表ヲ作り財産處分ノ方法ヲ定メ之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ受クヘシ

第三十八條 清算中ノ組合ハ組合ノ債務ヲ辨濟シ又ハ辨濟ニ必要ナル金額ヲ供託スルニ非サレハ組合財産ヲ分配スルコトヲ得ス

第三十九條 清算事務終リタルトキハ清算人ハ遲滞ナク決算報告書ヲ作り總會ノ承認ヲ受クヘシ

第四十條 清算中ノ組合ハ清算人就職ノ日ヨリ二月内ニ少クトモ三回ノ公告ヲ以テ債權者ニ對シテ一定ノ期間内ニ其ノ請求ノ申出ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スヘシ但シ其ノ期間ハ二月ヲ下ルコトヲ得ス

前項ノ公告ニハ債權者カ期間内ニ申出ヲ爲ササルトキハ其ノ債權ハ清算ヨリ除外セラルヘキ旨ヲ附記スヘシ但シ組合ハ知レタル債權者ヲ除外スルコトヲ得ス

組合ハ知レタル債權者ニハ各別ニ其ノ申出ヲ催告スヘシ

第四十一條 前條ノ期間後ニ申出ヲタル債權者ハ組合ノ債務完済ノ後未タ歸屬權利者ニ引渡ササル財産ニ對シテノミ請求ヲ爲スコトヲ得

第四十二條 清算中ノ組合ノ財産カ其ノ債務ヲ完済スルニ不足ナルコト
分明ナルニ至リタルトキハ組合ハ直ニ破産宣告ノ請求ヲ爲シテ其ノ旨
ヲ公告スヘシ

清算人カ破産管財人ニ其ノ事務ヲ引渡シタルトキハ其ノ任ヲ終リタル
モノトス

本條ノ場合ニ於テ既ニ債權者ニ支拂ヒ又ハ歸屬權利者ニ引渡シタルモ
ノアルトキハ破産管財人ハ之ヲ取戻スコトヲ得

第四十三條 組合カ前條第一項、第三十二條第二項及第四十條ノ規定ニ
依リ爲スヘキ公告ハ裁判所カ爲スヘキ登記事項ノ公告ト同一ノ方法ヲ
以テ之ヲ爲スヘシ

第四十四條 民法第七十三條乃至第七十六條、第七十八條、第八十二條
及第八十三條ノ規定ハ組合ノ清算ニ之ヲ準用ス

(參照)

民法

第七十三條 解散シタル法人ハ清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ其清算ノ終了ニ至ルマテ
尙ホ存續スルモノト看做ス

第七十四條 法人カ解散シタルトキハ破産ノ場合ヲ除ク外理事其清算人ト爲ル但定款

若クハ寄附行爲ニ別段ノ定アルトキ又ハ總會ニ於テ他人ヲ選任シタルトキハ此限ニ
在ラス

第七十五條 前條ノ規定ニ依リテ清算人タル者ナキトキ又ハ清算人ノ缺ケタル爲メ損
害ヲ生スル虞アルトキハ裁判所ハ利害關係人若クハ檢事ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以
テ清算人ヲ選任スルコトヲ得

第七十六條 重要ナル事由アルトキハ裁判所ハ利害關係人若クハ檢事ノ請求ニ因リ又
ハ職權ヲ以テ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第七十八條 清算人ノ職務左ノ如シ

- 一 現務ノ終了
- 二 債權ノ取立及ヒ債務ノ辨濟
- 三 殘餘財産ノ引渡

清算人ハ前項ノ職務ヲ行フ爲メニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲スコトヲ得

第八十二條 法人ノ解散及ヒ清算ハ裁判所ノ監督ニ屬ス

裁判所ハ何時ニテモ職權ヲ以テ前項ノ監督ニ必要ナル検査ヲ爲スコトヲ得

第八十三條 清算カ終了シタルトキハ清算人ハ之ヲ主務官廳ニ届出ツルコトヲ要ス

第四十五條 民法施行法第二條、第二十五條及非訟事件手續法第三十五
條第二項、第三十六條、第三百二十六條乃至第三百二十八條ノ規定ハ組合
ニ之ヲ準用ス

(參照)

民法施行法

第二條 民法ニ於テ破産ト稱スルハ民事ニ付テハ家資分散ヲ謂フ
第二十五條 主務官廳カ正當ノ理由ナクシテ法人ノ設立許可ヲ取消シ又ハ其解散ヲ命
シタルトキハ其法人ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
非訟事件手續法

第三十五條第二項 法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ハ其主タル事務所所在地ノ區裁判所ノ
管轄トス

第三十六條 裁判所ハ特ニ選任シタル者ヲシテ法人ノ監督ニ必要ナル検査ヲ爲サシム
ルコトヲ得

第三十七條 清算人ノ選任又ハ解任ニ關スル事件ハ會社ノ本店所在地ノ區裁判所ノ
管轄トス

第三十八條 清算人ノ選任又ハ解任ノ裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス
左ニ掲ケタル者ハ清算人トシテ之ヲ選任スルコトヲ得ス

- 一 未成年者
- 二 禁治産者及ヒ準禁治産者
- 三 剝奪公權者及ヒ停止公權者
- 四 裁判所ニ於テ解任セラレタル清算人
- 五 破産者

第四十六條 左ノ場合ニ於テ組合ハ命令ノ規定ニ違反シタルモノト看做

ス

一 官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

二 第十三條ノ書類ニ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ

三 監督官廳ノ徵スル報告ヲ差出サス、其ノ検査ヲ拒ミ其ノ他監督官
廳ノ命令又ハ處分ニ從ハサルトキ

四 第三十二條、第四十條又ハ第四十二條ニ依ル公告ニ不正ノ記載ヲ
爲シタルトキ

五 第四十條ノ期間内ニ債權者ニ辨濟ヲ爲シタルトキ

第四十七條 組合ノ登記ニ付テハ其ノ事務所所在地ノ區裁判所又ハ其ノ
出張所ヲ以テ管轄登記所トス

第四十八條 各登記所ニ森林組合登記簿ヲ備フ

第四十九條 組合設立ノ登記ハ理事及監事ノ全員ノ申請ニ依リテ之ヲ爲
ス

申請書ニハ定款及地方長官ノ設立許可書若ハ合併認可書又ハ其ノ認證
アル謄本ヲ添附スヘシ

第五十條 事務所新設及移轉其ノ他登記事項ノ變更ノ登記ハ理事若ハ其

ノ職務ヲ行フ者又ハ清算人ノ申請ニ依リテ之ヲ爲ス
申請書ニハ登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附シ且地方長官ノ認可ヲ
要スルモノニ付テハ其ノ認可書又ハ其ノ認證アル謄本ヲ添附スヘシ
假理事カ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ申請書ニ其ノ資格ヲ證スル書面ヲ添
附スヘシ但シ前ニ登記ノ申請ヲ爲シタル假理事カ同一登記所ニ第一項
ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第五十一條 組合解散ノ登記ハ理事及監事ノ全員ノ申請ニ依リテ之ヲ爲
ス

前項登記ノ申請書ニハ解散ノ事由ヲ記載シ且組合カ總會ノ決議又ハ合
併ニ依リテ解散シタルトキハ地方長官ノ認可書又ハ其ノ認證アル謄本
ヲ添附スヘシ

第五十二條 合併ニ依ル解散ノ登記ノ申請書ニハ第三十二條第二項ニ依
ル催告ヲ爲シタルコト、若シ異議ヲ述ヘタル債權者アルトキハ之ニ對
シ辨濟ヲ爲シ又ハ擔保ヲ供シタルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ
組合カ監督官廳ノ處分ニ依リテ解散シタルトキハ登記所ハ該官廳ノ囑
託ニ依リテ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第五十三條 第四十九條第一項ノ規定ハ組合ノ合併ニ依ル變更ノ登記ニ
之ヲ準用ス

第五十四條 本令ノ規定ニ依リ登記シタル事項ハ裁判所ニ於テ遲滯ナク
之ヲ公告スヘシ

第五十五條 非訟事件手續法第四百十一條乃至第五百十一條、第五百十
四條乃至第五百五十七條及第七十五條乃至第七十七條ノ規定ハ組合
ノ登記ニ之ヲ準用ス

(參照)

非訟事件手續法

第四百十一條 各登記所ニ各商業登記簿ノ見出帳ヲ備フ

第四百十二條 登記所ハ何人ニモ登記簿ノ閱覽ヲ許シ又ハ手数料ヲ納付スルトキハ之
ニ其謄本若クハ抄本ヲ交付スヘシ

登記所ハ登記上利害ノ關係ヲ疏明シテ申請ヲ爲シタル者ニハ其關係アル部分ニ限リ
登記簿ノ附屬書類ノ閱覽ヲ許スヘシ

郵送料ヲ納付シテ登記簿ノ謄本又ハ抄本ヲ請フトキハ登記所ハ之ヲ送付スヘシ

第四百十三條 登記所ハ申請ニ因リ登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナキコ
トノ證明ヲ爲スヘシ

第四百十四條 登記シタル事項ノ公告ハ官報及新聞紙上ニ少クモ一回之ヲ爲スコトヲ

要ス
公告ハ之ヲ掲載シタル最終ノ官報及新聞紙發行ノ日ノ翌日之ヲ爲シタルモノト看做ス

第四百十五條 區裁判所ハ毎年十二月ニ翌年登記事項ノ公告ヲ掲載セシムヘキ新聞紙ヲ選定シ官報及ヒ新聞紙ヲ以テ之ヲ公告スヘシ

公告ヲ掲載セシムヘキ新聞紙カ休刊又ハ廢刊ヲ爲ストキハ更ニ他ノ新聞紙ヲ選定シ前項ト同一ノ方法ヲ以テ之ヲ公告スヘシ

第四百十六條 區裁判所ハ其管轄内ニ公告ヲ爲サシムルニ適當ナル新聞紙ナシト認ムルトキハ新聞紙上ノ公告ニ代ヘ登記所及其管轄内ノ市町村役場ノ揭示場ニ公告ヲ爲スコトヲ得

第四百十七條 登記スヘキ事項ノ登記、其變更又ハ消滅ノ登記ハ本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外當事者ノ申請アルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百十八條 當事者ハ登記ヲ受ケタル後其登記ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ管轄登記所ニ其更正ヲ申請スルコトヲ得

第四百十九條 登記ノ申請ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申請人又ハ其代理人之ニ署名、捺印スヘシ

一 申請人ノ氏名、住所、會社カ申請人ナルトキハ其商號及ヒ本店又ハ支店

二 代理人ニ依リテ申請ヲ爲ストキハ其氏名、住所

三 登記ノ目的及事由

四 年月日

五 登記所ノ表示

第五百十條 本章ノ規定ニ依リ連署ヲ以テ申請ヲ爲スヘキ場合ニ於テ正當ノ事由ニ因リ連署スルコト能ハサル者アルトキハ其他ノ者ノミニテ申請ヲ爲スコトヲ得

連署ヲナスコト能ハサル事由ハ之ヲ證明スルコトヲ要ス

第五百十一條 登記所ハ登記ノ申請カ商法又ハ本章ノ規定ニ適セサルトキハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ之ヲ却下スヘシ此決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

前項ノ決定ハ民事訴訟法ノ規定ニ從ヒテ之ヲ申請人ニ送達スルコトヲ要ス

第五百十四條 商業登記簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタル場合ニ於テハ司法大臣ハ一定ノ期間ヲ定メテ登記ノ回復ニ必要ナル處分ヲ命スルコトヲ得

第五百十五條 司法大臣ハ數個ノ登記所ノ管轄ニ屬スヘキ商業登記ノ事務ヲ其一登記所ニ委任スルコトヲ得

第五百十六條 登記簿ノ調製其他登記ニ關スル施行細則ハ司法大臣之ヲ定ム

第五百十七條 不動産登記法第十條、第十三條、第十八條、第二十條、第二十二條、

第二十四條及ヒ第五十九條ノ規定ハ商業登記ニ之ヲ準用ス

第五百七十五條 清算人ニ關スル登記ハ清算ヲ爲スヘキ會社ノ登記所ノ管轄トス

前項ノ登記ハ會社ノ登記ニ記載シテ之ヲ爲ス

第五百七十六條 清算人ノ選任ノ登記ノ申請書ニハ其選任及ヒ商法第九十條第二號並ニ

第三號ニ掲ケタル事項ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第五百七十七條 商法第九十條ニ掲ケタル事項ノ變更ノ登記ハ會社ヲ代表スヘキ現任清

算人ノ申請ニヨリテ之ヲ爲ス

申請書ニハ變更ノ事由ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

附則

本令ハ森林法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○森林組合設立獎勵規則

明治四十四年四月四日
農商務省令第十五號

第一條 森林法第六十二條第一號ノ目的ヲ有スル森林組合ノ設立ヲ獎勵スル爲メ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ本則ノ定ムル所ニ依リ獎勵金ヲ交附ス

第二條 獎勵金ハ森林組合ノ設立費ニ對シ一町步ニ付金五十錢以内トス前項ノ設立費ハ施業、工事其ノ他ノ事業ノ計劃ニ關スル調査設計ノ費用ニ限ル

第三條 獎勵金ヲ受ケムトスル森林組合ハ申請書ニ左ノ書類ヲ添へ地方長官ニ差出スヘシ

- 一 獎勵金交付申請ニ關スル總會ノ決議錄寫
- 二 地區實況圖 第一號様式
- 三 施業、工事其ノ他ノ事業計劃ノ調査及設計ニ關スル説明書

第二號様式

四 前號ニ關スル總會ノ決議錄寫

五 前各號ニ掲クルモノノ外地方長官ニ於テ必要ト認ムル書類

第四條 前條ノ申請アリタルトキハ地方長官ハ組合ノ目的、事業ノ性質其ノ他必要ノ事項ヲ調査シ適當ト認メタルトキハ獎勵金交付ノ指令ヲ爲スヘシ

地方長官ハ前項ノ指令ヲ爲スニ際シ必要ノ事項ヲ指定スルコトヲ得

第五條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル組合調査設計ヲ完了シタルトキハ獎勵金交付ノ請求書ニ第三號様式ノ調査設計費精算書ヲ添へ地方長官ニ差出スヘシ

調査設計完了ノ後三箇月以内ニ前項ノ請求ヲ爲ササルトキハ第四條第一項ノ指令ハ其ノ効力ヲ失フ

第六條 前條第一項ノ請求アリタルトキハ地方長官ハ必要ナル調査ヲ爲シタル後獎勵金ヲ交付スヘシ

第四條第二項ノ指定ニ違反シタルトキハ地方長官ハ獎勵金交付ノ指令ヲ取消シ又ハ變更スルコトヲ得

調査設計ノ費用カ豫算總額ヲ要セサリシトキハ地方長官ハ其ノ指令シタル獎勵金ヲ減額シテ交付スルコトヲ得

第七條 本則ニ依リ獎勵金ヲ受ケタル事業ニ付テハ其ノ着手ノ時期及着手後ニ於ケル施行ノ順序ヲ定メ獎勵金交付ノ日ヨリ二箇月以内ニ森林法施行規則第三十八條ノ認可ヲ申請スヘシ

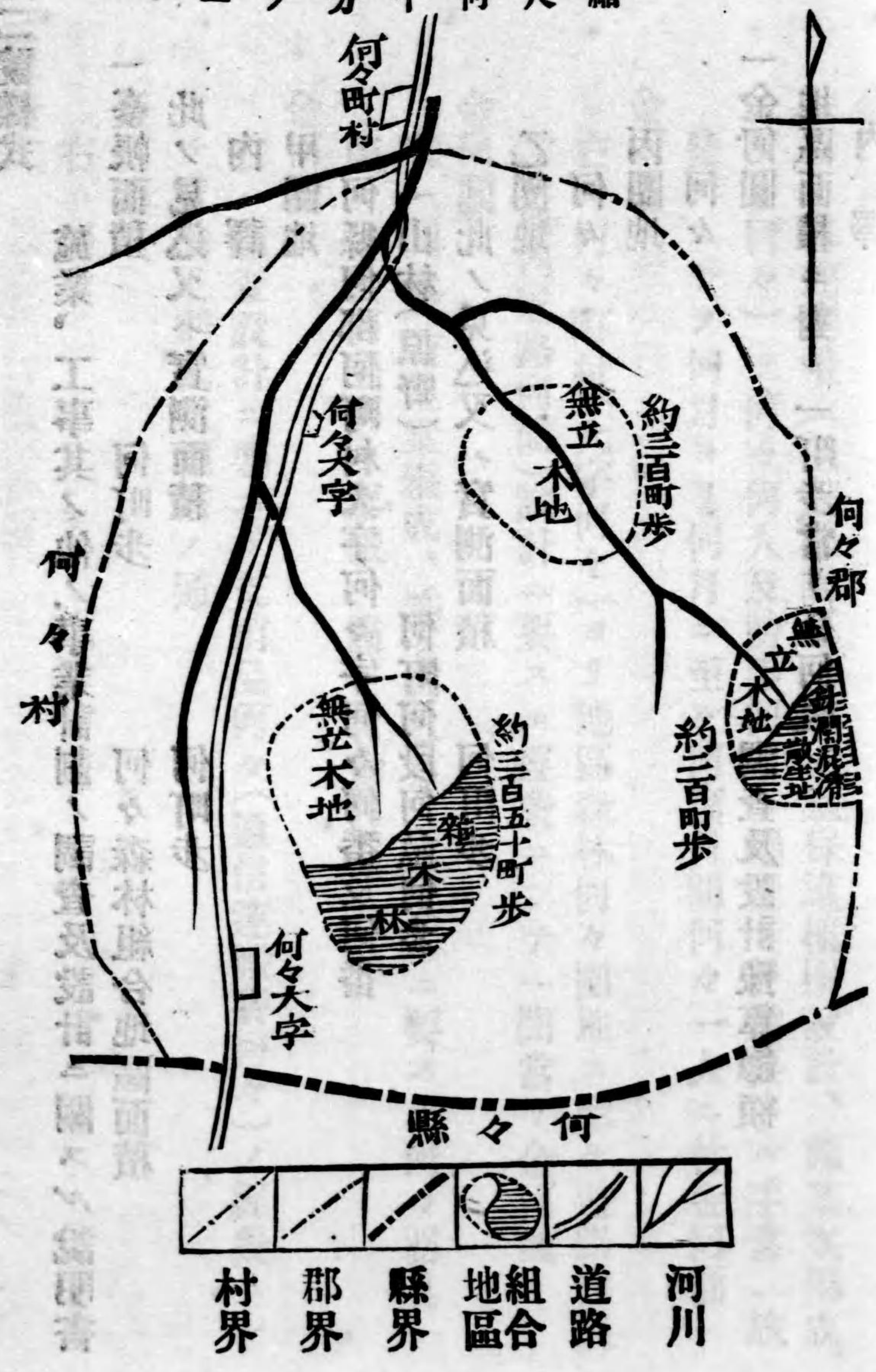
前項ノ規定若ハ前項ニ依リ認可アリタル事項ニ違反シタルトキハ地方長官ハ交付シタル獎勵金ノ全部又ハ一部ノ返還ヲ命スルコトヲ得

第八條 本則ノ規定ハ森林組合カ新ニ森林法第六十二條第一號ノ目的ヲ施行スルニ至リタル場合及本則ニ依リ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル組合カ森林法第六十二條第一號ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業ニ著シキ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ準用ス

附則

本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
第一號様式

何々々森林組合地區實況圖
縮尺何千分一



第二號樣式

一三四

施業、工事其ノ他ノ事業計劃ノ調査及設計ニ關スル説明書

一 臺帳面積 何町步

何々森林組合地區面積

此ノ見込又ハ實測面積

何町步

内 譯

甲團地

何縣何郡何町村大字何々字何々何番及何番

一 山林(原野) 何町何段何畝何步

此ノ見込又ハ實測面積 何町步

乙團地

何々

丙團地

何々

一金何圓

地區面積ニ對シ一町步當リ金何錢

調査及設計豫算總額

内 譯

金何圓

右ハ林地測量(地盤保護工事、地盤保護植樹設計、施業案編成又ハ何々)ヲ何々何人及助手何人ニ囑託スル爲要スル手當(旅費)ニシテ何月ヨリ何月ニ至ル何箇月間何々一人ニ付金何圓

金何圓

右ハ何々町村(大字何々)ヨリ地區森林何々團地ニ至ル道路何間(林地内道路何間)設計ニ要スル經費ニシテ一間當リ金何錢

金何圓

右ハ測量(施業案編成、築道設計又ハ何々)ニ要スル何々器具一箇ニ付金何圓何々器械一箇ニ付金何圓

金何圓

右ハ調査設計ニ要スル支消品何々(通信運搬費何々)ノ經費ニシテ單價ハ別紙明細書ノ通

金何圓

右ハ何々

第三號樣式

一三五

調査設計費精算書

一三六

調査設計費總額		豫算額	精算額	差	引
内	獎勵金				
組合負擔額					

附、調査設計費精算明細書

一金何圓

調査設計費精算額

内譯

金何圓

右ハ林地測量（地盤保護工事設計、地盤保護植樹設計、施業案編成又ハ何々）ニ付何月何日ヨリ何月何日ニ至ル何日間ノ囑託手當ニシテ何々一人ニ付金何圓何人分助手一人ニ付金何圓何人分ノ合計金額

金何圓

右ハ何月何日着手何月何日竣功セル何々町村（大字何々）ヨリ地區森林（何々團地）ニ至ル道路何間（林地内道路何百間）設計ニ要セシ經費ニシテ一間當リ金何錢

金何圓

右ハ測量（施業案編成、築道設計又ハ何々）ニ要セシ何々器具何箇、何々器械何箇購入ノ經費ニシテ何々器具一箇ニ付金何圓何箇分何々器械一箇ニ付金何圓何箇分合計金額

金何圓

右ハ調査設計ニ要セシ支消品何々（通信運搬費何々何圓）ノ合計金額

金何圓

右ハ何々

○森林組合設立獎勵ニ關スル件

明治四十四年六月 勳第三六九五號ノ一通牒

本年四月農商務省令第十五號ヲ以テ森林組合設立獎勵規則發布相成候處之カ取扱方ニ付テハ左記ノ通御了知相成度依命此段及通牒候也

一三七

規則ニ依リ獎勵金ヲ交付スヘキ調査設計費ハ森林法第六十二條第

一號ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業ニシテ且治水ニ關スルモノニ
限ル但シ同條第二號以下ノ目的ヲ兼スルハ差支ナキモ全然治水ニ
關係ナキモノニ付テハ獎勵金ヲ交付セス

二 規則第二條ノ調査設計費ハ左ニ掲クルモノニ限ル

一 技術員給與及旅費

二 人夫賃

三 雜費(器具機械、支消品、通信運搬)

規則第三條ノ申請アリタルトキハ事實ヲ調査シ意見アルトキハ副
申セラレタシ

四 獎勵金ヲ交付スヘキ森林組合ハ左記河川流域ニ於ケルモノニ重キ
ヲ置キ指導獎勵スルモノトス

淀川、木曾川

以上

○森林組合登記取扱手續

明治四十一年二月
司法省令 第一號

第一條 森林組合登記簿ハ附錄第一號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ
調製スヘシ

第二條 森林組合登記見出帳ハ附錄第二號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第三條 登記所ニハ登記簿、見出帳及受附帳ノ外左ノ帳簿ヲ備フ

一 謄本抄本證明書交付帳

二 申請書囑託書附屬書類綴込帳

三 受領證原符元帳

四 決定原本綴込帳

五 登記簿謄本綴込帳

六 登記濟證交付帳

七 抗告書類綴込帳

八 印鑑簿

第四條 前條第一號乃至第七號ノ帳簿ハ一箇年毎ニ別冊ト爲スヘシ

第五條 組合カ其ノ事務所ヲ移轉シタル場合ニ於テ森林組合令第七條ノ

規定ニ依リ同令第六條第二項ニ定メタル登記ヲ爲シタルトキ又ハ同令第三十五條第一項ノ規定ニ依リ設立ノ登記ヲ爲シタルトキハ登記用紙中豫備欄ニ其ノ事由ヲ記載スヘシ

第六條 森林組合ニ關スル登記ノ事務ハ商業登記ヲ取扱フ登記所ニ於テノミ之ヲ取扱フ

第七條 不動産登記法施行細則第四條、第五條、第十二條、第十三條、第二十條乃至第二十四條、第二十七條、第三十三條乃至第三十七條、第三十八條、第三十九條、第四十七條、第五十一條及ヒ商業登記取扱手續第五條乃至第七條、第九條乃至第二十條、第二十三條乃至第三十二條、第四十六條ノ規定ハ森林組合ノ登記ニ之ヲ準用ス

附錄第一號

森林組合登記簿

區裁判所

紙數表紙ヲ除キ

地方裁判所長

○森林組合登記簿ノ謄本抄本手數料ノ件

明治四十一年一月
司法省令 第二號

森林組合登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ノ請求等ニ關スル手數料ニ就テハ、
明治三十二年司法省令第十四號第一條及第三條乃至第六條ノ規定ヲ準用
ス

○公有林野造林補助規則

明治四十三年六月 改正 明治四十四年六月 大正三年六月
縣令 第四十八號 縣令 第四十一號 縣令 第二十七號

大正三年 八月 大正七年 五月 大正八年 六月
縣令 第二十八號 縣令 第二十九號 縣令 第四十六號

第一條 市町村、市町村組合又ハ町村組合ノ事業トシテ左記各號ノ土地
ニ對シ植樹シタルトキハ本則ノ定ムル所ニ依リ豫算ノ範圍内ニ於テ補
助金ヲ交付ス

- 一 大字其ノ他部落ノ所有タリシ土地ヲ明治四十三年四月以後新ニ市
町村ノ所有ニ移シタルモノ
- 二 市町村ノ所有ニ屬スルモノ

第二條 本則ニ依リ補助金ヲ交付スヘキ造林面積ハ三町歩以上ニシテ左

ノ樹種及苗數ヲ植栽シタルモノトス

杉	一町歩ニ付	四千五百本以上
扁柏	同	四千五百本以上
松	同	三千本以上
樟	同	三千本以上
櫟	同	二千本以上
樺	同	二千本以上

各樹種混植ノ苗數ハ前項ノ割合ニ依ル

第三條 補助金ハ左記ノ標準ニ依リ事業ノ難易成績ノ良否ヲ斟酌シテ之
ヲ定ム

- 一 第一條第一號ノ土地ニ植栽シタルモノニ對シ無立木地ニ在リテハ
造林費ノ三分ノ二以内、伐採跡地ニ在リテハ造林費ノ二分ノ一以内
- 二 第一條第二號ノ土地ニ植栽シタルモノニ對シ無立木地ニ在リテハ
造林費ノ二分ノ一以内、伐採跡地ニ在リテハ造林費ノ五分ノ二以内

第四條 第一條第二號ニ該當スルモノノ中明治三十八年一月三重縣訓令

甲第二號公有林野整理規則ニ依リ認可ヲ受ケ大字其ノ他ノ部落有林野ヲ市町村ノ所有ニ移シタルモノニ對シテハ特ニ第一條第一號ニ對スル補助ト同額ノ補助金ヲ交付スルコトアルヘシ

第五條 市町村、市町村組合又ハ町村組合ニシテ第一條各號ノ土地ニ防火線ヲ設ケタルトキハ其ノ費用ノ二分ノ一以内ノ補助金ヲ交付スルコトアルヘシ

第六條 補助金ノ交付ヲ受ケムトスルモノハ別記様式ノ申請書ニ實測圖面ヲ添附シ毎年十月三十日迄ニ知事ニ差出スヘシ

第七條 補助金交付ノ許可ヲ受ケタル事業完了シタルトキハ別記様式ノ經費明細書ヲ添付シ直ニ其ノ旨届出ツヘシ但シ施業面積其ノ豫定ト相違セルトキハ其ノ旨同時ニ届出ツヘシ

補助金ハ前項ノ届出ヲ受ケタル後検査ノ上之ヲ交付ス
經費明細書中不相當ト認ムル金額ニ對シテハ査定スルコトアルヘシ

第八條 植樹ノ成績不良ニシテ成林ノ見込ナキモノ又ハ工事不良ニシテ効果ナシト認ムルトキハ補助金ヲ交付セス
第九條 補助ヲ受ケタル植栽地ハ植栽後一箇年以内ニ枯損シタル樹苗ヲ

補植シ仍五箇年間引續キ毎年一回以上手入ヲ行フヘシ
手入ニ關シ特ニ指定ヲ受ケタルトキハ之ヲ施行スヘシ
第十條 補助ヲ受ケタル後ト雖申請書ニ虛偽ノ記載ヲ爲シ其ノ他不正ノ行爲アリタルコトヲ發見シ又ハ本則第九條ニ違背シタルトキハ交付シタル補助金ノ全部若ハ一部ヲ返還セシメ仍將來補助金ヲ交付セサルコトアルヘシ

別記様式
公有林野植樹(防火線)補助金下付申請

施業地		何町何反何畝歩(別紙實測圖ノ通)	
山林(原野)		何町何反何畝歩	
無立木地(伐採跡地)		面積何百何十町歩	
面積	何町何反何畝歩	樹種	杉何千何百本、扁柏何千何百本、何何千本(一町歩何千本植)
樹種	杉何千何百本、扁柏何千何百本、何何千本(一町歩何千本植)	經費	金何百何十圓 但シ一町歩ニ付金何程
經費	金何百何十圓 但シ一町歩ニ付金何程	施業期間	大正何年何月何日着手何年何月何日結了
施業期間	大正何年何月何日着手何年何月何日結了	延長幅員	延長何百何十間 幅何間
延長幅員	延長何百何十間 幅何間	坪數	何千何百坪
坪數	何千何百坪		

備考	設置費	金何百圓	但シ一坪ニ付金何程
	施業期間	大正何年何月何日着手何年何月何日竣工	

右ハ元本(何)村(町)大字何々ノ所有地ニ候處明治何年何月何日公有林野整理規則ニ依リ認可ヲ受ケ本(何)村(町)有ニ移シ(何年何月何日所有權移轉ヲ登記シ)タルモノニ有之今回(別紙契約書ノ通本村(町)ニ於テ地上權ヲ設定シ)前記ノ事業實行可致ニ付相當補助相成度明治四十三年縣令第四十八號ニ依リ申請候也

大正何年何月何日

何郡何村(町)長 何 某 印

知事宛

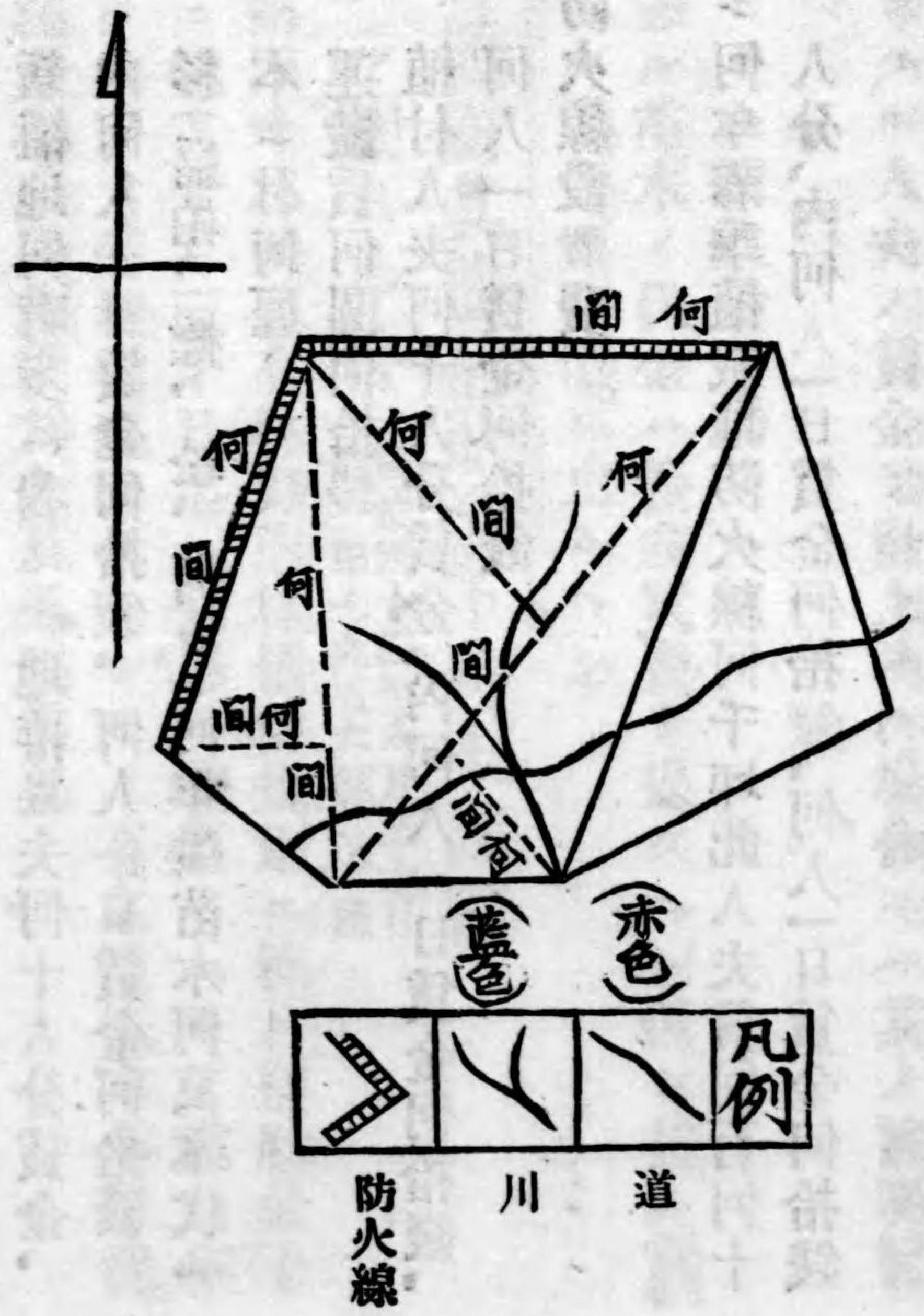
注意

申請書ハ施業地毎ニ作製スヘシ
從來ヨリ町村有ニ屬スルモノ及公有林野整理規則ニ依ラスシテ部落有林野ヲ町村有ニ移シタルモノハ申請書主文前段ヲ左ノ如ク改ムヘシ

右ハ本(何)村(町)ノ所有地ニ候處今回(以下同シ)

- 何都市町村大字何字何
- 何番山林(原野)(ノ内)
- 施業地實測(見込)面積
- 何町何反歩
- 内造林地實測面積
- 何町何反歩

申請縮尺何分 實測圖



注意 實測要點ハ地物又ハ標杭ヲ以テ其ノ位置ヲ明ニスヘシ
經費明細書
一金何百何拾圓
事業費總額

内譯

金何百何拾圓

造林費

内

金何拾圓

金何拾圓

新植地何町步ニ對スル地拵人夫何十人分賃金、
内何人一日賃金何拾錢、何人一日賃金何拾錢
杉(扁柏、櫟、松、何々)何年生苗木何萬本代一
本ニ付何厘

運搬賃何圓何拾錢

金何拾圓

植付人夫何十人分賃金、内何人一日賃金何拾錢、
何人一日賃金何拾錢

金何拾圓

防火線設置費

内

金何拾圓

何年春季植栽地防火線何千坪此人夫賃何百何十
人分、内何人一日賃金何拾錢、何人一日賃金何拾錢

注意

一 事業地數箇所ニ分ルルモ無立木地、伐採跡地別ニ一市町村各一葉

トスヘシ

一 賦役トシテ使用シタル人夫ノ賃金ヲ計上スル場合ニハ其ノ旨明記
スヘシ

一 請負作業ニ係ルモノハ請負金ヲ掲クヘシ

一 市町村ノ養成ニ係ル苗木ノ代金ハ養成實費ヲ掲クヘシ但シ其ノ實
費カ時價ヲ超過スル場合ハ時價ニ止ムヘシ

○公有林野植樹其他補助金下付申請書

提出期限ニ關スル件

明治四十四年八月三十日
勅 第七九五六號 通牒

明治四十三年六月縣令第四十八號公有林野造林補助規則ニ依ル補助金下
付申請書ハ同則第六條ニ依リ十月三十日迄ニ知事ニ差出スヘキノ處前年
ニ於テハ右期限ヲ過キタルタメ受理相成ラサリシモノ有之候條本年以後
右様ノ義無之様充分御注意相成度此段爲念及通牒候也

○公有林野造林補助取扱ニ關スル件

大正元年九月二十四日
林 第九七號 通牒

二五五

公有林野造林補助取扱規程別紙ノ通(左記ニ掲ク)被相定候條爲御心得及通知「候間御部内町村ヘモ御指示相成度此段及通牒」候也 (市長宛ニハ「内削」)

公有林野造林補助取扱規程

第一條 申請書ハ十月三十日迄ニ差出シタルモノニアラサレハ受理セサルモノトス

第二條 申請書ニ添付ノ圖面ハ正確ナル方法ニ依リタル實測圖ニ限ルモノトス

第三條 申請書ヲ受理シタルトキハ實地ニ就キ面積、地況、林況、造林方法、經費、既成造林地ノ成績(防火線、地盤保護工事ニアリテハ設計)其ノ他參考トナルヘキ事項ヲ調査シ其ノ許可ヲ決定スルモノトス
第四條 申請地區域内ニ除地ヲ包含スルトキハ認定ニヨリ其ノ面積ヲ控除スルモノトス

第五條 許可ノ決定ハ之ヲ申請者ニ通達スルモノトス

第六條 事業完了ノ届出アリタルトキハ更ニ實地ヲ調査シ交付金額ヲ定ムルモノトス

第七條 申請ノ土地ニ造林セサリシトキハ許可ハ其ノ効力ヲ失フモノトス

第八條 申請地ノ幾部ニ造林シ其ノ面積三町歩ニ達セサル場合ニ於テモ申請地以外ニ造林シタル面積ヲ合セテ三町歩ニ達スルトキハ申請地内ノ造林面積ニ對シ補助金ヲ交付スルコトアルヘシ

○荒廢地復舊費補助金交付規程

明治四十四年六月 改正 大正元年九月 大正三年六月 大正六年十二月 大正七年五月
縣令 第四十號 縣令 第三號 縣令 第二十六號 縣令 第三十八號 縣令 第二十八號

第一條 治水上重要ノ關係アル公有、社寺有及私有ニ係ル保安林又ハ森林法第七條ニ依リ造林ヲ命シタル土地ノ荒廢復舊ニ必要ナル地盤保護植樹費、地盤保護工事費ニ對シ補助金ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ此ノ規程ニ依ルヘシ

第二條 補助金ハ地盤保護ノ爲命セラレタル植樹又ハ工事ニ對シ之ヲ交付ス

但シ森林法第二十八條ニ依リ補償ヲ受クヘキ造林ニ付テハ此ノ限リニ在ラス

第三條 地盤保護工事ハ植樹地保護ノ爲必要ナルモノニ限ル

第四條 補助金ハ豫算ノ範圍内ニ於テ左記ノ標準ニ依リ事業ノ難易費用ノ多寡成績ノ良否ヲ斟酌シテ之ヲ定ム

- 一 地盤保護植樹ハ其費用ノ三分ノ一以内
- 二 地盤保護工事ハ其費用ノ六分ノ五以内

第五條 補助金ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ別記様式ノ申請書ニ實測圖面、工事設計書ヲ添付シ前年度二月末日迄ニ知事ニ差出スヘシ

第六條 補助金交付ノ許可ヲ受ケタル事業完了シタルトキハ直ニ其旨届出ツヘシ

補助金ハ前項ノ届出ヲ受ケタル後検査ノ上之ヲ交付ス

第七條 申請者ハ事業費支出ニ關スル書類ヲ整理シ前條検査ノ節之ヲ提示スヘシ

第八條 植樹又ハ工事ノ成績不良ニシテ地盤保護ノ效果ナシト認めルトキハ補助金ヲ交付セス

第九條 補助金ノ交付ヲ受ケタル事業ハ爾後三箇年間補植又ハ修繕ヲ行フヘシ

第十條 補助金ノ交付ヲ受ケタル後ト雖申請書ニ虚偽ノ記載ヲ爲シ其他不正ノ行爲アリタルコトヲ發見シ又ハ前條ニ違背シタルトキハ交付シタル補助金ノ全部若ハ一部ヲ返還セシメ尙將來補助金ヲ交付セサルコトアルヘシ

第十一條 補助金交付ノ許可ヲ受ケタル事業ハ其年度内ニ完了セシムヘシ

附 則

第五條ノ差出期限ハ大正三年度ニ限り同年六月末日迄トス

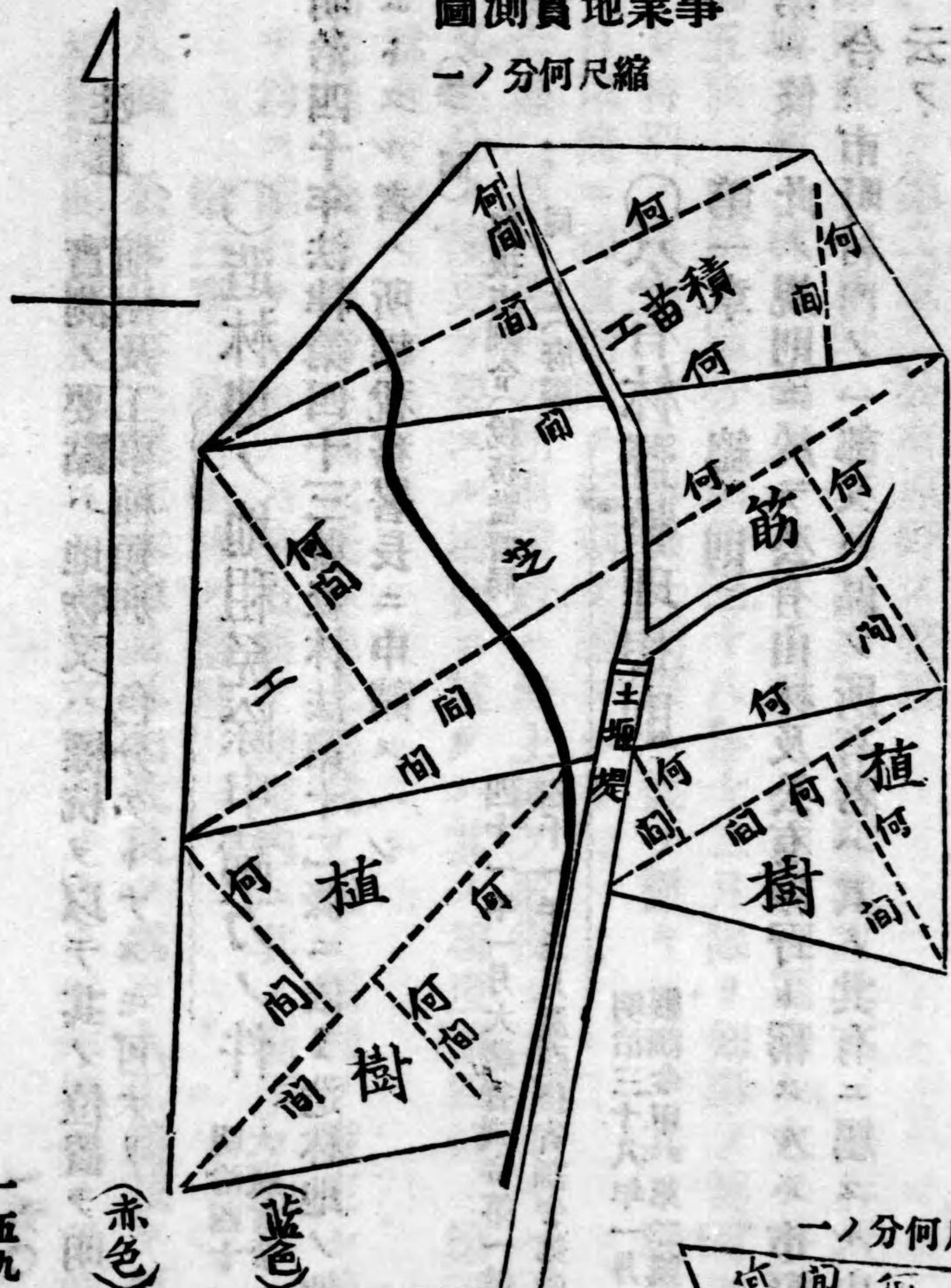
別記様式

荒廢地復舊費補助金交付申請書

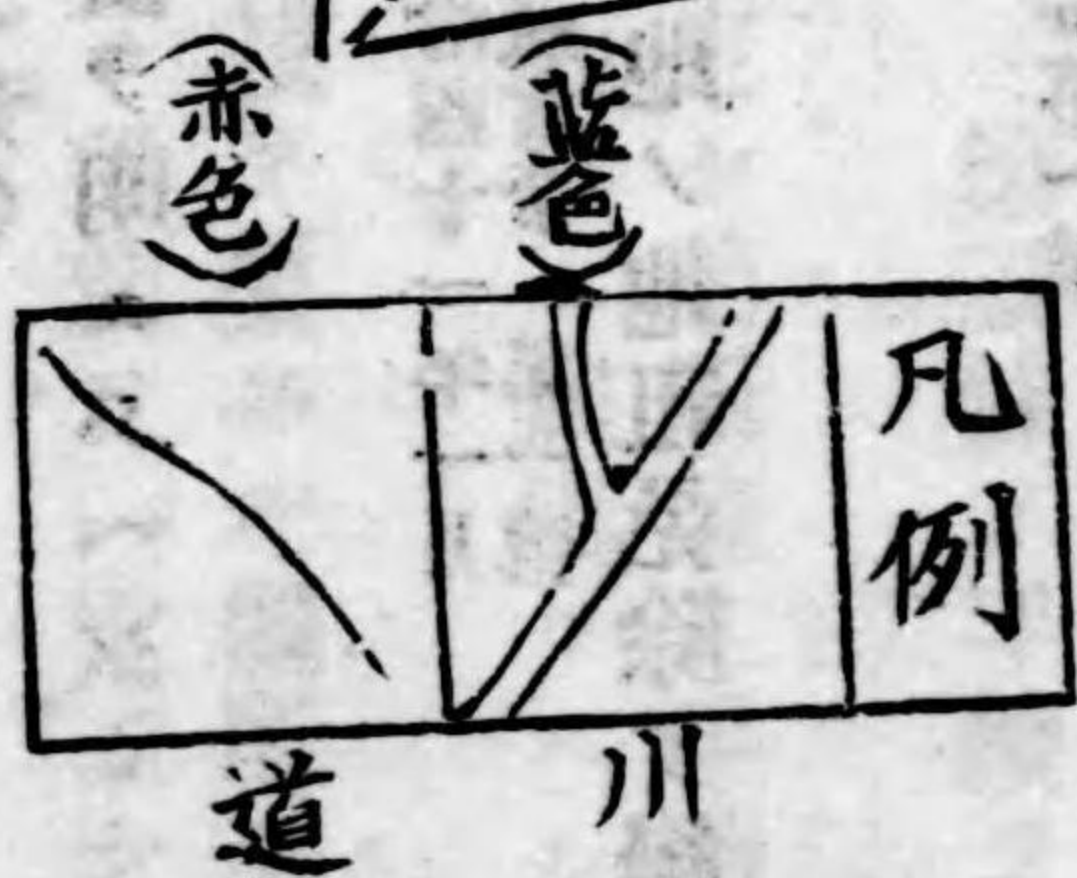
事 業 地	何郡市何町村大字何字何番
	保安林(又ハ森林法第七條ニ依リ造林ヲ命セラレタル土地)面積 町何反何畝歩
保 護 種	何町何反何畝歩
植 種 及 本 數	黒松何本山楡何本計何本(一反歩何本植)
費 用	金何圓 但シ一反歩ニ付金何程
施 業 期 間	明治何年何月何日着手何年何月何日完了

事業地實測圖

縮尺何分一ノ



一五九



何郡市何村(町)大字何字何番

保安林(又ハ森林法第七條ニ依リ造林ヲ命セラ

レタル土地)面積何町何反何畝歩(ノ内)

右ハ明治何年何月何日付ヲ以テ命セラレタル事業ニ有之今回前記ノ通實行可致ニ付相當補助金交付相成度明治四十四年縣令第四十號ニ依リ申請候也

保工護事	
工事種類及坪數	費用
積苗工何坪、筋芝工何坪、土堰堤何坪、何工何坪	積苗工金何圓但シ一坪ニ付金何程何工金何圓但シ一坪ニ付金何程計金何圓
施業期間	明治何年何月何日着手何年何月何日竣工

一五八

注意

知事宛

申請書ハ施業地毎ニ作製スヘシ

何郡市何村(町)長 何 某印

(又ハ)何郡市何村(町)

何神社々掌(何寺住職)何某印

(氏子又ハ檀家總代)

(又ハ)

何 某印

注意 實測ノ要點ハ地物又ハ標杭ヲ以テ其ノ位置ヲ明ニスヘシ
植樹及工事種類別ハ色分ケトナスモ可ナリ

○造林地ノ地租免除申請方ノ件 明治四十一年一月
大藏省令 第一號

明治四十年法律第四十三號森林法第十二條ニ依リ造林地ノ地租免除ヲ得
ムトスル者ハ所轄稅務署長ニ申請スヘシ

(參照)

- 一 取扱方訓令(稅務監督局) 四十一年一月大藏省訓令第一號
- 一 同上(府廳) 四十一年三月農商務省訓令第四號

○公有林野整理規則

第一章 總則

第一條 此ノ規則ニ於テ公有山林及公有原野ト稱スルハ市町村、町村組
合、市町村内ノ一部又ハ區ノ所有若ハ其ノ共有ニ屬スル山林及原野ヲ
云フ

第二條 市町村、町村組合、市町村内ノ一部又ハ區ニシテ地上權ヲ有ス
ル山林及原野ハ前條ノ山林及原野ト看做シ此ノ規則ヲ適用ス

第三條 森林法ニ依リ營林ノ指定若ハ造林ノ命令ヲ受ケタル山林原野及
保安林ニハ此ノ規則ヲ適用セス

第二章 公有原野ノ整理

第四條 公有原野ハ秣草地牧場地及開墾豫定地其ノ他存置ヲ要スヘキ區
域ト新ニ林地ニ編入スヘキ區域トヲ適當ニ區分シ之ヲ整理スヘシ

第五條 前條ノ區分ハ明治三十八年十二月限リ知事ノ認可ヲ請フヘシ但
シ特別ノ事情アリテ本條ノ期限ニ據リ難キモノハ其ノ理由ヲ具シ三箇
月以前ニ相當期間ノ延期ヲ請フヘシ

第六條 新ニ原野ノ所有權若ハ地上權ヲ取得シタルトキハ三箇月以内ニ
又區分ノ變更ヲ要スル場合ニ於テハ其ノ都度第四條、第五條ノ手續ヲ
爲スヘシ

第七條 公有原野ニ關シ既ニ地上權其ノ他ノ權利ヲ設定シ第四條ノ手續
ヲ爲ス能ハサルモノハ第五條ノ期限内ニ其ノ箇所ヲ知事ニ届出ツヘシ

第三章 公有山林ノ整理

第八條 公有山林ハ無立木地及林相改良ノ爲ニ人工植栽ヲ要スル箇所ヲ
相當期間ニ植栽ヲ爲スヘキ豫定計劃ヲ立テ毎年植栽ノ段別ヲ一定シ之

ヲ整理スヘシ
 第九條 前條ノ豫定計劃ハ明治三十八年十二月限り知事ノ認可ヲ請フヘシ但シ特別ノ事情アリテ本條ノ期限ニ據リ難キモノハ其ノ理由ヲ具シ三箇月以前ニ相當期間ノ延期ヲ請フヘシ
 第十條 新ニ山林ノ所有權若ハ地上權ヲ取得シタルトキハ三箇月以内ニ又豫定計劃ニ變更ヲ要スル場合ハ其ノ都度第八條、第九條ノ手續ヲ爲スヘシ
 第十一條 公有山林ニ關シ既ニ地上權其ノ他ノ權利ヲ設定シ第八條ノ手續ヲ爲ス能ハサルモノハ第九條ノ期限内ニ其ノ個所ヲ知事ニ届出ツヘシ
 第十二條 第四條ノ整理ニ依リ林地ニ編入スヘキ個所ハ第八條、第九條ノ手續ヲ爲スヘシ

○公有山林整理認可申請書書式

明治四十一年二月十八日
 縣訓令 甲 第十號

明治三十八年訓令甲第二號公有林野整理規則第九條ニ依リ差出スヘキ申請書ニシテ未ダ差出ササルモノハ第一號書式ニ準シ書面ヲ作製シ(植栽

計劃外ノ個所アルトキハ第二號書式ニ依リタル整理區分書ヲ添附シ)明治四十一年八月三十一日限り之ヲ差出スヘシ
 第一號書式 公有山林整理認可申請書

別紙計劃書ノ通公有山林整理致シ度候條御認可相成度公有林野整理規則第九條ニ依リ町村會(又ハ區會)ノ決議ヲ經圖面相添此段申請候也

年月日

何郡何町村長 氏名

知事宛

備考

添附ノ圖面ハ可成一町村又ハ一大字ノ全形圖ヲ作り公有山林ノ位置ヲ標示スヘシ

整理區分書ヲ添附スルトキハ圖中ニ整理區分ヲ標示スヘシ

植栽計劃書

所在地	何郡何町村大字何字何番山林 何郡何町村大字何字何番山林 何郡何町村大字何字何番山林
所有者	何郡何町村(大字何何)

林況	全面積四分ノ三ハ十數年前ノ伐採跡地ニシテ柴草小笹ヲ存シ四分ノ一ハ十五年生前後ノ雜木密生ス
植栽スヘキ全面積	實測(又ハ見込)面積二百町歩
植栽豫定期間	十箇年
主要樹種	松、杉、扁柏
一箇年植栽面積	二十町歩
各樹種ノ毎年植栽面積	初年ヨリ松十町歩、杉五町歩、扁柏混植五町歩、六年目ヨリ松二十町歩、五箇年間
一町歩植込苗數	松三千本、杉四千五百本、扁柏混植四千五百本(杉六分、扁柏四分)
備考	現在雜木ノ存スル部分ハ溪間ノ附近ニシテ其ノ地味肥沃ナルニヨリ林相改良ノ爲メ漸次雜木ヲ伐採シ其ノ跡地ニ杉、扁柏ヲ植栽スル見込又柴草ノ存スル部分ハ高燥ニシテ杉、扁柏等ノ植栽ニ適セサルヲ以テ松ノ純林トナス見込ナリ 右大体ノ區域ハ添附圖面中ニ色分ケテ以テ示シ置キタリ

備考

所在地ノ欄ニ全部記入シ難キトキハ別ニ調書ヲ作り添附スヘシ
各欄記載ノ事項ニシテ特ニ説明ヲ要スルモノ又ハ参考上必要ナル事項アルトキハ備考欄ニ記載スヘシ

第二號書式ノ整理區分書ヲ添附スルトキハ所在地ノ欄記入ヲ省略スルコトヲ得

第二號書式

整理區分書

所在者	何郡何町村(大字何々)
所在地區	別紙整理區分調書ノ通
總面積	五百町歩
整理區分	(一) 植栽豫定地 二百町歩 (二) 天然更新地 百町歩 (三) 既植栽地 百町歩 (四) 開墾豫定地 五十町歩 (五) 貸付豫定地 四十町歩 (六) 既貸付地 五十町歩 (七) 除外地 五十町歩

分	(八) 何々
計	五百町歩

右整理區分説明

- (一) 植栽計劃書ノ通實行セントス
- (二) 伐採後五箇年前後ニ屬スル雜木ノ萌芽セルモノ多ク一反歩平均四百株以上ヲ存シ薪炭林ヲ造成スルニ適スルヲ以テ現在ノ天然生ヲ補育シ將來萌芽ニ依リ更新ヲ計ラントス
- (三) 明治何年ヨリ何年迄ノ間ニ於テ杉、扁柏植栽濟
- (四) 地味耕地ニ適シ且之レヲ開墾スルモ他ニ支障ヲ及ホス虞ナキニヨリ將來耕地ニ開墾シ村民ニ貸付セントス
- (五) 何々ノ理由ニ依リ將來造林地トシテ貸付セントス
- (六) 何年前ヨリ地上權ヲ設定シ貸渡シアリ
- (七) 耕地ニ介在シ營林ニ適セス將來秣草採取地ニ供セントス
- (八) 何々
- 備考 舊大ノ整理區分書ニ添テハイキハ五箇ノ整理區分ニ合テス

(別紙)

公有山林整理區分調書

本表ノ面積ハ別紙調書ノ實測又ハ見込面積ト一致スルヲ要ス
整理區分ノ説明ハ可成詳細ニ記述スヘシ

大字	字	地番	地目	臺帳面積	實測又ハ見込面積	整理區分
						植栽豫定地
						同上
						内何程植栽豫定地 内何程開墾豫定地
						天然更新地
						同上
						貸付豫定地
						同上
						何々
計						

業案ヲ定メ知事ノ認可ヲ請フヘシ

○公有林施業案編成ノ件

大正七年九月

本日甲第四十號ヲ以テ公有林施業案編成方訓令相成候處右ニ就テハ本年一月十一日付林第二十一號通牒ノ通り能フ限リ當廳技術者ヲシテ援助セシムヘク候間御了承相成度此段爲念及通牒候也

(參照)

大正七年一月林第二十一號通牒

公有林施業案編成ノ義ニ就テハ大正五年二月一日付林第百十八號ヲ以テ及通牒置候處大正七年度ニ於テ右専務吏員二名ヲ新設シ町村ノ要求ニ應スヘク尙直接測量ニ要スル人夫賃(測線伐開ニ要スル人夫賃及雜費ヲ除ク)モ當廳ニ於テ支辨可致候間同年度ニ於テ吏員派遣希望町村名御取調各町村見込面積共本月末迄ニ御回報相成度此段及照會候也

追テ希望町村多クシテ經費ノ許ササル場合ハ取捨ノ上其旨通知可致此段申添候也

大正五年二月林第百十八號通牒

公有林野ノ整理ハ林野經營上大体ノ區分ヲ定ムルニ止マリ未タ以テ完全ナル施業方法ヲ定メタルモノニ無之故ニ適切ナル施業經營ヲ行ハムトセハ更ニ進ンテ其面積ヲ測定シ施業案編成ノ必要有之森林法第九條ノ規定ハ營林ノ監督上地方長官ニ施業案編成ノ命令權ヲ附與セラレ居候モ右ハ相當技術上ノ智識ヲ要スルノミナラス若干經費ヲ要シ

候義ニ付縣下町村ノ現況ニ鑑ミ之レヲ強行スルノ時機ニ達セサルモノト認メ未タ何等命令シタル處無之唯町村力進ンテ之レヲ編成センコトヲ希望致居候次第有之就テハ相當面積ノ公有林野(小面積ノ場合ハ同條規定ノ施業要領ニテ可ナリ)ヲ有シ既ニ整理ノ認可ヲ得タル町村ニ對シ宜敷施業案ノ編成方御勸誘相成度右ニ就テハ町村ニ於テ測量人夫賃、消耗品費及雜費ヲ負擔スレハ縣經濟ノ許ス限リ當廳技術員派遣測量調査ニ從事セシムヘク候依命此段及通牒候也

追テ施業案編成上測量人夫賃最モ多額ヲ要シ其費額ハ實地ノ狀況ニ依リ差異有之候ハ共度會郡瀧原村ノ例ニ依レハ總面積二千五百十町步ニシテ延千五百八十六人七百八十圓九十錢ヲ要シ候趣ニ付爲御參考申添候也

○公有林野測量及設計ニ關シ技術員派遣ノ件

明治四十二年一月十二日 勸 第四百七號

公有林野整理ノ結果事業ノ設計及林野ノ測量區劃ヲ要スルモノニ對シテハ差繰リ得ル限リ力メテ當廳技術員派遣可相成候條必要ニ應シ豫メ請求相成度尤モ毎年三月中ハ縣設模範林新植事業ノ爲メ差支候右御了知相成度依命此段及通牒候也

追テ技術員ニ關スル費用ハ當廳ニ於テ支辨可致其ノ他ノ費用ハ町村ノ

負擔ニ有之候將又面積百町歩ノ土地ニ對シ内外部ノ測量約十日間人夫凡八十人内外ヲ要スヘク尤モ面積ノ増加ニ伴ヒ比較的遞減スヘク殊ニ草山ノ如キハ測量線ノ切明ケ容易ナレハ隨テ人夫ヲ減シ可得候爲念申添候也

○公有林野整理規則ニ依リ認可ヲ受ケタル

土地ノ處分ニ關スル件

明治四十一年十二月一日
勸第四四四五號通牒

明治三十八年一月本縣訓令甲第二號公有林野整理規則ニ依リ認可ヲ受ケタル公有林ノ賣却、讓與、貸付豫定地ヲ各豫定ノ通處分セントスル場合ニハ明治四十一年九月本縣令第八十八號森林法施行細則第七條ノ手續ヲ要セサル義ト御了知相成度依命此段及通牒候也

○公有山林及社寺有山林開墾取扱規程

明治四十一年二月
縣訓令甲第九號

第一條 本規程ニ於テ開墾ト稱スルハ地租條例ニ規定スルモノノ外燒畑切替畑、地目變換其ノ他土地ノ形質ヲ變更スル行爲ヲ謂フ

第二條 公有山林中明治三十八年一月三重縣訓令甲第二號公有林野整理

規則ニ依リ認可ヲ受ケタル開墾豫定地以外ノ土地ヲ開墾セムトスルト

キハ第一號様式ニ依リ圖面ヲ添附シテ知事ノ認可ヲ請フヘシ

前項ノ開墾豫定地ヲ開墾セムトスルトキハ同様式ニ依リ圖面ヲ添附シ

テ知事ニ届出ツヘシ

社寺有山林ヲ開墾セムトスルモノニハ同様式ニ依リ圖面ヲ添附シテ知

事ノ認可ヲ請ハシムヘシ

第三條 前條ノ申請書又ハ届書ハ着手セムトスルトキヨリ三箇月以前ニ

差出スコトヲ要ス

第四條 左ニ該當スル個所ニシテ危害ノ虞アルモノハ之ヲ防禦スルニ足

ルヘキ相當ノ設備ヲ爲スヘク申請書又ハ届書ニ之レカ設計書ヲ添附ス

ルヲ要ス

一 谿川ノ崖岸ニ係ルモノ

二 強度ノ傾斜(二十度以上)アルモノ

三 鐵道線路、道路、用惡水路及他人ノ家屋ニ接近シ傾斜アルモノ

第五條 開墾ノ認可ヲ受ケタル後其ノ目的又ハ事業ノ方法ヲ變更セムト

スルトキハ更ニ認可ヲ受クルコトヲ要ス其ノ届出ニ係ルモノハ更ニ届出ツヘシ

第六條 開墾並危害防禦設備成功シタルトキ又ハ廢止シタルトキハ二十日以内ニ届出テシムヘシ

第七條 郡市長ニ於テ申請書又ハ届書ヲ受理シタルトキハ速ニ之ヲ調査シ第二號様式ニ依リ意見書ヲ添附進達スヘシ

第一號様式

公有山林(社寺有山林)開墾認可申請書(届)

何郡(市)何町(村)大字何字何番

一山林反別何程

作業期間明治何年何月何日ヨリ何日間

右之地所今般何々(開墾目的地目ヲ記スヘシ)ニ開墾致度候間御認可相成度此段申請候也(此段及御届候也)

年 月 日

所有者

何

々

(右管理者何郡市町村長
神職又ハ住職)

何

某印

(氏子又ハ檀家總代)

何

某印

何

某印

何

某印

何

某印

知事宛

備考

一 同一申請者又ハ届出者カ同一日付ヲ以テニケ所以上ノ土地開墾ヲ申請シ又ハ届出テムトスルトキハ申請書又ハ届書一通内ニ列記スヘシ

二 一筆ノ内幾分ヲ開墾セムトスルトキハ全筆ノ反別ヲ記載スヘシ

三 圖面ハ左記各項ニ準據シテ調製スヘシ

一 土地ノ正北ヲ用紙ノ上方ニ向ハシムヘシ但シ止ムヲ得スシテ此規定ニ反スルトキハ必ス方位ヲ示スヘシ

一 圖面内ニ於テハ同一ノ縮尺ヲ用ヒテ開墾地ノ境界及隣接地ノ形狀ヲ畫示スヘシ但シ隣接地ノ幅員狭小ニシテ開墾地幅員ノ半ニ滿タサルトキハ更ニ其ノ隣接地ヲモ畫示スヘシ

- 一 土地ノ傾斜ハ矢標ヲ以テ其ノ方向ヲ示スヘシ
- 一 地目ノ異ナルニ從ヒ各異リタル彩色ヲ施シ又ハ一々地目ヲ記入スヘシ保安林ナルトキハ其ノ名稱(土砂打止林又ハ魚附林等)ヲモ記入スヘシ但シ開墾地ニハ彩色ヲ施サス特ニ開墾地ト記入スヘシ
- 一 開墾地及隣接地ニハ地番號ヲ記入スヘシ
- 一 用紙ノ餘白ニ開墾地ノ地籍縮尺比例及各彩色ニ對スル地目ノ凡例ヲ掲クヘシ
- 一 一筆ノ内幾分開墾ノモノハ點線ヲ以テ開墾區域ヲ書示スヘシ

第二號様式

意見書

所在地 何郡何村大字何字何番
 所有者 何村大字何(何神社、何寺)
 申請者又ハ届出者 何村長何某(社掌又ハ住職何某)
 全別 何程
 開墾反別 何程

地現

勢況 北方ニ傾斜シ平均凡何度周圍耕地

土

性 壤土、植實壤土等

附近ノ河海並距離 何川ノ支流何川ヲ距ル何町

砂防指定區域ノ關係 關係ナシ

附近保安林ノ有無 何町ヲ距テ風致保安林アリ

危害防禦設計ノ適否 稍適當スルモ尙何々ヲ設ケハ一層可ナリ

國土保安上ノ關係及 耕地中ニ介在セル土地ニシテ國土保安上直接ノ

公益上支障ノ有無 關係ナク且ツ公益上何等支障ナシ(開墾豫定地ニシテ何等支障ナシ)

右山林開墾認可申請(届出)ニ付意見添申候也

年月日

郡市長

知事宛

備考

一 河海ノ距離トハ申請地ヨリ雨水ノ流入スル河又ハ海迄ノ距離ヲ云フ

○社寺有林除外申請ノ件

明治四十一年七月
縣訓令甲第四十一號

森林法施行規則第五十二條ニ該當シ同規則第三條ノ手續ヲ爲スヘキ土地ニシテ將來森林トシテ管理セサルモノハ左ノ除外申請書ヲ差出シ本官ノ認可ヲ請ハシムヘシ

除外申請書

町村	大字	字	地番	地目	森林全面積		除外面積	除外事由
					積	積		
				山林	10000	2000		耕地ニ適スルヲ以テ現在ノ樹木ヲ伐採シ跡地開墾ノ豫定
				原野	1000	1000		經濟上ノ都合ニ依リ土地賣却ノ見込
計								

右森林法施行規則第三條ノ手續除外認可ヲ申請ス

年月日

右森林所有者

何郡何町村

何 何

右代表者

神職又ハ住職 氏名

氏子、檀徒又ハ信徒總代連署

注意

- 一 地番ノ全部カ森林ニアラサルトキハ何番ノ内ト記載スヘシ
- 一 森林ノ一部ヲ除外セムトスルモノハ圖面ヲ添附シ其ノ位置ヲ示スヘシ
- 一 面積ハ實測又ハ見込ヲ記載シ段別ノ上ニ實測又ハ見込ノ文字ヲ附記スヘシ

○除外ノ認可ヲ受ケタル社寺有山林ノ

開墾ニ關スル件

明治四十一年十二月二日
勅令第四四四六號

明治四十一年七月本縣訓令甲第四十一號ニ依リ開墾ノ豫定ヲ以テ除外ノ認可ヲ受ケタル社寺有山林ノ開墾ハ明治四十一年二月本縣訓令甲第九號公有山林及社寺有山林開墾取扱規程第二條第三項ノ手續ヲ要セス但同條

第二項及第三條ニヨリ届書ヲ差出サシメラレ度候依命此段及通牒候也

○公有林野整理並ニ部落有財産統一ニ付督勵

並ニ進行狀況報告ニ關スル件 明治四十四年十一月七日 勸第九三五六號通牒

公有林野整理並ニ部落有財産統一未済ノ町村ニ付爾後四、七、十、一ノ各月十日限リ其前三ヶ月間ノ督勵並ニ進行狀況町村別ニ御報告相成度依命此段及通牒候也 (北牟婁郡ヲ除ク)

○公有林立木賣却處分ニ關スル件

明治四十二年七月三十一日 勸第六五九二號通牒

公有林立木賣却處分ニ付郡參事會ノ許可ヲ申請セルモノアルトキハ郡參事會付議前詳細事情ヲ具シ左記ノ書類ヲ添付シ一應經伺ノ上處分相成度依命此段及通牒候也

記

- 一 伐採個所ノ林相、樹種、樹齡
- 一 材積調書

- 一 伐採區域圖
- 一 豫定價額

○公有林立木賣却處分ニ關スル件

明治四十四年十二月二十八日 勸第一一四七七號通牒

明治四十二年七月三十一日付勸第六五九二號通牒公有林立木賣却處分取扱方ノ義町村制改正ノ結果郡參事會ノ許可トアルハ郡長ノ許可、郡參事會付議前トアルハ郡長許可前ト變更候モノト御了知相成度依命此段及通牒候也

追テ本件ノ義往々其ノ手續ヲ怠レル向モ有之哉ニ及聞候處爾後嚴重勵行相成度此段爲念申添候也

○森林被害報告ニ關スル件

大正四年八月縣訓令甲第十八號 勸業統計様式第一〇四號表

森林火災(蟲害、風害、雪害、潮害、山崩等)

(報告期 町村被害後三日以内 郡市同 五日以内)

郡市(町村)名

事記	被害ノ原因 及狀況	被害年月日	被害價額	被害數量	被害面積	樹種	被害地		公		私		社		寺		有		
							大字	字	筆數	大字	字	筆數	大字	字	筆數	大字	字	筆數	

(注意)

○公立木質貯蔵所ニ關スル事

第一四四号 第一二二二八日

一 被害欄

同一ノ原因ニシテ同時ノ被害箇所ハ列記スヘシ筆數ハ土地臺帳ノ筆數ヲ記スヘシ

一 樹種欄

杉林、扁柏林、赤松林、黒松林、樟林、樺林、榊林、雜木林等主要ノ樹種ヲ記スヘシ二種以上混淆セル箇所ハ何々混淆林ト記スヘシ且新植地ニアリテハ何年植栽ト記スヘシ

一 被害數量欄

用材林ニアリテハ平均何年生ノモノ何本此材積何石ト記スヘシ薪炭林ニアリテハ何棚ト記スヘシ正確ナル數量不明ノ者ハ見積リテ以テ記スヘシ

一 被害價額欄

右材積ノ計算ハ勸業統計様式第五十九表ニ準據スヘシ前欄數量ノ見積價額ヲ記入スヘシ即チ用材林ハ石ノ平均價格ニヨリ薪炭林ハ一棚平均價格ニヨリ何レモ山元價格ヲ以テ計算スヘシ新植地ニシテ植栽ノ樹木尙幼稚ニ屬シ材積見積リ難キモノハ其ノ被害價格ハ植栽費ヲ掲ケ其ノ旨附記スヘシ

一 被害年月日欄

火災數日ニ涉リタルモノハ何月何日ヨリ何日迄何日間ト記スヘシ蟲害ノ如キハ何月何日發見ト記スヘシ

一 被害ノ原因及狀況欄

火災ハ發火ノ原因ヲ記スヘシ蟲害ハ特發、傳染、前年發生等ノ原因ヲ記スヘシ尙現在枯損ノ狀況及蔓延ノ狀況ヲ詳記スヘシ風、雪、潮等ノ被害ハ現在折傷損ノ狀況ヲ記スヘシ

○林業講習報告ノ件

大正四年八月縣訓令甲第十八號 勸業統計様式第一號表

林業講習

大正何年

(報告期) 町村翌年一月十日 郡市同 一月十五日

郡市(町村)名

考 備	計	團體	市町村	郡	費用			講習科目
					郡費	市町村費	其ノ他	
一、	講習ノ成績				円	円	円	

(注意)

- 一 講習ノ成績ハ講習ヲ卒ヘタル者ノ就業ノ實況及講習ノ爲生シタル林業發達ノ事項ヲ簡明ニ記載スヘシ
- 一 講習費用ハ主催者ノ費用ノ外補助費ヲモ掲クルヲ要ス例ヘハ郡主催ノ講習ニ對シ市町村費ヲ以テ講習生ノ食費若ハ旅費等ヲ補助シタルトキハ其ノ金額ヲ市町村費ノ欄ニ掲クヘシ町村以下主

- 一 催ノ講習ニ對シ郡費ヲ以テ補助シタルトキ亦同シ
- 一 講師ニシテ本俸アル縣技師又ハ巡回教師ナルトキハ其ノ俸給旅費ハ之ヲ除キ單ニ講習費ヨリ支出セシ報酬手當ノミヲ算入シ特ニ招聘シタル講師ト雖同時ニ他ノ講習ヲ兼ネタルトキハ其ノ報酬旅費ハ分割計算スヘシ
- 一 講師ノ資格及氏名ヲ備考欄ニ掲記スヘシ

○森林臺帳規程

明治四十一年七月 縣訓令甲第四十二號

- 第一條 郡市役所及町村役場ハ左記臺帳ヲ備フヘシ
 - 一 保安林臺帳(第一號様式)
 - 二 保安林ニ關スル事項ヲ登錄スルモノトス
 - 三 公有林臺帳(第二號様式)
 - 四 公有林ニ關スル事項ヲ登錄スルモノトス
 - 五 社寺有林臺帳(同上)
 - 六 社寺有林ニ關スル事項ヲ登錄スルモノトス
 - 七 森林組合臺帳(第三號様式)

- 四 森林組合ニ關スル事項ヲ登録スルモノトス
- 五 森林作業禁止制限臺帳 (様式適宜)
- 三 森林法第十三條ノ規定ニ依ル禁止制限ニ關スル事項ヲ登録スルモノトス
- 六 森林開墾禁止制限臺帳 (同上)
- 森林法第三十二條ノ規定ニ依ル禁止及制限ニ關スル事項ヲ登録スルモノトス
- 七 施業方法指定臺帳 (同上)
- 森林法第十條ノ規定ニ依ル施業方法指定ニ關スル事項ヲ登録スルモノトス
- 八 造林命令臺帳 (同上)
- 森林法第七條ノ規定ニ依ル造林命令ニ關スル事項ヲ登録スルモノトス
- 第二條 臺帳ニ記載シタル事項ニ付キ利害關係ヲ有スル者ノ請求アリタルトキハ其ノ臺帳ノ閱覽ヲ許可スヘシ
- 第一號様式

備考	編入年月日及圖面番號	保安林種類	編入面積	全面積		所有者	所在地
				實測又ハ見込	臺帳		
	明治	何々林	何町歩	何町何反歩	何町何反歩	何某 (何々森林組合地區内)	町 大字 地番 地目
			何町歩				

注意

一 用紙ハ美濃紙トス第二號第三號様式亦同シ

二 幾分編入ニ係ル保安林ニ對シテハ圖面ヲ備ヘ各葉ニ番號ヲ附シ其

- 一 ノ番號ヲ臺帳ノ圖面番號欄ニ記載スヘシ
- 二 備考欄ニハ參考トナルヘキ事項ヲ記載スヘシ 第二號第三號樣式亦同シ
- 三 第二號樣式

町村	大字	字	地番	面	積	所有者	何々々
						施業案又ハ施業要領認可年月日	備考
						植栽豫定地、天然更新地、何々	

注意

- 一 所有者別ニ整理スヘシ
 - 二 面積欄ニハ實測又ハ見込ノ別ヲモ記載スヘシ
 - 三 町村役場ニ於テハ町村欄ヲ省略スルモ妨ナシ
- 第三號樣式

名稱	事務所	設立許可指令番號及年月日

事業	存立時期又ハ解散事由	理事及監事ノ氏名	備考
地			
區			

○樹苗養成補助規則

大正八年七月 縣令第五二號

- 第一條 樹苗ノ養成ヲ獎勵スル爲本則ノ定ムル所ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付ス
- 第二條 補助金ヲ交付スヘキ樹種ハ左ノ十四種トス
 - 一 くす、けやき、かし、くるみ、うるし、すぎ
 - 二 くり、ほのき、くぬぎ、はげしばり、はせ、ひのき